

JP1 Version 11

JP1/Operations Analytics  
REST API リファレンス

3021-3-B94-10

## 前書き

### ■ 対象製品

P-2A2C-DCBL JP1/Operations Analytics 11-50 (適用 OS : Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2016 )

### ■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

### ■ 商標類

HITACHI , JP1 は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

IBM, AIX は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SAP, および本文書に記載されたその他の SAP 製品, サービス, ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

JP1/Operations Analytics は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE(R)ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <[rse@engelschall.com](mailto:rse@engelschall.com)> for use in the mod\_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

**HITACHI**  
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



## ■ 発行

2017年11月 3021-3-B94-10

## ■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2017, Hitachi, Ltd.

## 変更内容

### 変更内容 (3021-3-B94-10) JP1/Operations Analytics 11-50

追加・変更内容	変更箇所
探索範囲 (IPAddrRange リソース) のメンバーに deviceClassificationLabel を追加した。	1.3.1, 1.8.2
コレクター (Collectors リソース) のメンバーに productName, providerName および refreshDateForApp を追加した。	1.3.3
ホスト (Hosts リソース) のメンバーに deviceClassificationLabel を追加した。	1.3.13
アプリケーション (Applications リソース) のメンバーについて、次のとおり追加または削除した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• applicationDetailType および applicationHosts を追加した。</li><li>• resourceID および resourceType を削除した。</li></ul>	1.3.18
アプリケーションのリソース情報 (ApplicationHost リソース) のメンバーについての説明を追加した。	1.3.19
列挙型一覧に CUSTOM および APPLICATION_CUSTOM を追加した。	1.6
次に示す API の IPAddrRange (Type: IPAddrRange)オブジェクトに deviceClassificationLabel 属性を追加した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 探索範囲の一覧の取得</li><li>• 探索範囲の情報取得</li><li>• 探索範囲の作成</li><li>• 探索範囲の更新</li></ul>	2.2.1, 2.2.2, 2.2.3, 2.2.4
次に示す API のステータスコード 400 についての説明を変更した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コレクターの作成</li><li>• コレクターの更新</li></ul>	2.3.3, 2.3.4
次に示す API にステータスコード 400 を追加した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コレクターの削除</li></ul>	2.3.5
次に示す API の Application (Type: Application)オブジェクトに applicationDetailType 属性を追加した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アプリケーションの一覧の取得</li></ul>	2.7.1
次に示す API の Host (Type: Host)オブジェクトに deviceClassificationLabel 属性を追加した。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ホストの一覧の取得</li></ul>	2.10.1

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

## はじめに

このマニュアルは、JP1/Operations Analytics の API について説明したものです。

### ■ 対象読者

このマニュアルは、次の方を対象としています。

- JP1/Operations Analytics を導入および運用するシステム管理者。

### ■ マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

#### 第1章 概要

API の概要について説明しています。

#### 第2章 API 一覧

JP1/OA で提供する API を利用するために必要な API リファレンスについて説明しています。

#### 付録 A 各バージョンの変更内容

各バージョンの変更内容について説明しています。

### ■ マイクロソフト製品の表記

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	正式名称
Hyper-V	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Hyper-V(R)
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Hyper-V(R)
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Hyper-V(R)
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Hyper-V(R)
Windows Server 2008 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard
Windows Server 2012	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard
Windows Server 2012 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter

表記	正式名称
Windows Server 2012 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard
Windows Server 2016	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard

Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, および Windows Server 2008 R2 を総称して Windows と表記することがあります。

## ■ 製品名の表記

このマニュアルでは、製品の名称を次のように表記しています。

このマニュアルでの表記	正式名称
ESX	VMware vSphere(R) ESXi(TM)
JP1/AJS3	JP1/Automatic Job Management System 3
JP1/IM	JP1/Integrated Management
JP1/OA	JP1/Operations Analytics
JP1/PFM	JP1/Performance Management
Linux	JP1/OA が監視をサポートしている CentOS, Oracle Linux(R), Red Hat Enterprise Linux(R)および SUSE Linux(R)の総称です。
UNIX	UNIX(R)
vCenter Server または vCenter	VMware vCenter Server(R)
VMware	VMware(R)

## ■ 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	正式名称
FC	Fibre Channel
SMI-S	Storage Management Initiative - Specification
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SSH	Secure Shell
SSL	Secure Sockets Layer

英略語	正式名称
VM	Virtual Machine
WBEM	Web-Based Enterprise Management
WMI	Windows Management Instrumentation

## ■ KB (キロバイト) などの単位表記

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ  $1,024$  バイト,  $1,024^2$  バイト,  $1,024^3$  バイト,  $1,024^4$  バイトです。

# 目次

前書き	2
変更内容	4
はじめに	5

<b>1</b>	<b>概要</b>	<b>13</b>
1.1	API の概要	14
1.2	API の共通仕様	15
1.2.1	通信方式	15
1.2.2	セキュリティと認証	15
1.2.3	入出力形式	16
1.2.4	リクエスト形式	17
1.2.5	レスポンス形式	19
1.2.6	ステータスコード	20
1.2.7	エラー情報	22
1.2.8	クエリパラメータ	22
1.2.9	HQL 規格の使用	24
1.2.10	ドメインオブジェクトの形式	26
1.3	リソースのメンバー	28
1.3.1	探索範囲のメンバー	28
1.3.2	認証情報のメンバー	29
1.3.3	コレクターのメンバー	32
1.3.4	コレクターで使用する認証情報のメンバー	34
1.3.5	ユーザープロファイルのメンバー	35
1.3.6	ユーザープロファイルのしきい値のメンバー	36
1.3.7	システムプロファイルのメンバー	37
1.3.8	システムプロファイルのしきい値のメンバー	37
1.3.9	コンシューマーのメンバー	38
1.3.10	グレードのメンバー	39
1.3.11	仮想マシンのメンバー	40
1.3.12	ハイパーバイザーのメンバー	41
1.3.13	ホストのメンバー	43
1.3.14	IP スイッチのメンバー	44
1.3.15	FC スイッチのメンバー	45
1.3.16	ストレージシステムのメンバー	46
1.3.17	ボリュームのメンバー	47

1.3.18	アプリケーションのメンバー	47
1.3.19	アプリケーションのリソース情報のメンバー	49
1.3.20	リソース一覧取得時のリストのメンバー	49
1.4	JP1/OA の API で操作できるリソース	50
1.5	JP1/OA の API を使って発行できるリクエスト	51
1.6	列挙型一覧	58
1.7	API の記述形式	64
1.8	API による JP1/OA の操作	65
1.8.1	認証情報を作成する	65
1.8.2	探索範囲を作成する	66
1.8.3	コレクターを作成する	67
1.8.4	ユーザープロファイルを作成する	69
1.8.5	システムプロファイルを作成する	70
1.8.6	コンシューマーを作成する	71
1.8.7	ユーザープロファイルを割り当てる	72
1.8.8	システムプロファイルを割り当てる	73
1.8.9	イベント情報を CSV 形式で取得する	74
1.8.10	リソースの基本情報および性能情報を CSV 形式で取得する	75

## 2 API 一覧 79

2.1	認証情報に関する API 一覧	80
2.1.1	認証情報の一覧の取得	80
2.1.2	認証情報の情報取得	85
2.1.3	認証情報の作成	88
2.1.4	認証情報の更新	95
2.1.5	認証情報の削除	101
2.2	管理対象探索に関する API 一覧	104
2.2.1	探索範囲の一覧の取得	104
2.2.2	探索範囲の情報取得	109
2.2.3	探索範囲の作成	113
2.2.4	探索範囲の更新	121
2.2.5	探索範囲の削除	129
2.3	コレクターに関する API 一覧	131
2.3.1	コレクターの一覧の取得	131
2.3.2	コレクターの情報取得	136
2.3.3	コレクターの作成	141
2.3.4	コレクターの更新	147
2.3.5	コレクターの削除	153
2.4	ユーザープロファイルに関する API 一覧	156

2.4.1	ユーザープロファイルの一覧の取得	156
2.4.2	ユーザープロファイルの情報取得	160
2.4.3	ユーザープロファイルの作成	164
2.4.4	ユーザープロファイルの更新	170
2.4.5	ユーザープロファイルの削除	177
2.4.6	ユーザープロファイルに対する操作一覧の取得	178
2.4.7	ユーザープロファイルの割り当てに必要な情報の取得	181
2.4.8	ユーザープロファイルの割り当て	183
2.5	システムプロファイルに関する API 一覧	187
2.5.1	システムプロファイルの一覧の取得	187
2.5.2	システムプロファイルの情報取得	191
2.5.3	システムプロファイルの作成	195
2.5.4	システムプロファイルの更新	200
2.5.5	システムプロファイルの削除	206
2.5.6	システムプロファイルに対する操作一覧の取得	207
2.5.7	システムプロファイルの割り当てに必要な情報の取得	210
2.5.8	システムプロファイルの割り当て	212
2.6	コンシューマーに関する API 一覧	217
2.6.1	コンシューマーの一覧の取得	217
2.6.2	コンシューマーの情報取得	221
2.6.3	グレードの一覧の取得	224
2.6.4	コンシューマーの作成	227
2.6.5	コンシューマーの更新	231
2.6.6	コンシューマーの削除	236
2.6.7	コンシューマーに対する操作一覧の取得	237
2.6.8	コンシューマーの割り当てに必要な情報の取得	240
2.6.9	コンシューマーの割り当て	243
2.6.10	リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当てに必要な情報の取得	246
2.6.11	リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当て	250
2.7	アプリケーションに関する API 一覧	256
2.7.1	アプリケーションの一覧の取得	256
2.8	仮想マシンに関する API 一覧	262
2.8.1	仮想マシンの一覧の取得	262
2.8.2	仮想マシンに対する操作一覧の取得	267
2.8.3	仮想マシンの監視状態変更に必要な情報の取得	269
2.8.4	仮想マシンの監視状態の変更	272
2.9	ハイパーバイザーに関する API 一覧	276
2.9.1	ハイパーバイザーの一覧の取得	276
2.9.2	ハイパーバイザーに対する操作一覧の取得	280

2.9.3	ハイパーバイザーの監視状態変更に必要な情報の取得	283
2.9.4	ハイパーバイザーの監視状態の変更	285
2.10	ホストに関する API 一覧	290
2.10.1	ホストの一覧の取得	290
2.10.2	ホストに対する操作一覧の取得	294
2.10.3	ホストの監視状態変更に必要な情報の取得	296
2.10.4	ホストの監視状態の変更	299
2.11	IP スイッチに関する API 一覧	303
2.11.1	IP スイッチの一覧の取得	303
2.11.2	IP スイッチに対する操作一覧の取得	306
2.11.3	IP スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得	309
2.11.4	IP スイッチの監視状態の変更	312
2.12	FC スイッチに関する API 一覧	316
2.12.1	FC スイッチの一覧の取得	316
2.12.2	FC スイッチに対する操作一覧の取得	319
2.12.3	FC スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得	322
2.12.4	FC スイッチの監視状態の変更	324
2.13	ストレージシステムに関する API 一覧	329
2.13.1	ストレージシステムの一覧の取得	329
2.13.2	ストレージシステムに対する操作一覧の取得	332
2.13.3	ストレージシステムの監視状態変更に必要な情報の取得	335
2.13.4	ストレージシステムの監視状態の変更	337
2.14	ボリュームに関する API 一覧	342
2.14.1	ボリュームの一覧の取得	342
2.15	イベント情報に関する API 一覧	346
2.15.1	イベントの一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得	346
2.15.2	イベントの一覧を CSV で取得	348
2.16	[E2E ビュー] 画面に関する API 一覧	353
2.16.1	指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得	353
2.16.2	指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得	356
2.17	性能情報に関する API 一覧	360
2.17.1	指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得するために必要な情報の取得	360
2.17.2	指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得	362
2.17.3	指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得するために必要な情報の取得	366
2.17.4	指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得	369
2.18	情報管理に関する API 一覧	373
2.18.1	バージョン情報の取得	373

## 付録 375

付録 A 各バージョンの変更内容 376

付録 A.1 11-50 の変更内容 376

## 索引 377

# 1

## 概要

この章では、JP1/OA が提供している API について、概要を説明します。

## 1.1 API の概要

---

JP1/OA が収集した監視対象の情報などを、API を利用して http(s) 経由で取得できます。

JP1/OA の API は、REST (Representational State Transfer) アーキテクチャスタイルに従います。

REST アーキテクチャスタイルに従った API には次のような利点があります。

- プラットフォーム、および言語に依存しない。
- HTTP の標準インターフェースに従う。(GET/PUT/POST/DELETE メソッドを利用可能)
- HTTP 向けのセキュリティ対策ツールを利用できる。
- 標準の HTTP のステータスコードが戻るのでエラー時の対処がしやすい。
- リソースごとに URI (Uniform Resource Identifier) を持ち、リソースにアクセスしやすい。またリソース間の関連を理解しやすい。

## 1.2 APIの共通仕様

---

JP1/OA が提供している API に共通する仕様を次に示します。

### 1.2.1 通信方式

API が使用する通信プロトコルおよびポート番号について、次に示します。

- 通信プロトコル

API では、http プロトコルおよび https プロトコルをサポートしています。API は、JP1/OA が Web ブラウザーとの通信で使用するプロトコルを使用します。バージョンは、1.1 をサポートしています。通信プロトコルの詳細な仕様については、次の規定を参照してください。

- http プロトコルの場合：

RFC2616

- https プロトコルの場合：

RFC2818

- ポート番号

ポート番号のデフォルトの設定は、通信プロトコルにより異なります。

- 通信プロトコルが http の場合：

22015

- 通信プロトコルが https の場合：

22016

なお、ポート番号を変更したい場合は、マニュアル「*JP1/Operations Analytics 構築・運用ガイド*」の JP1/OA と Web ブラウザー間のポート番号を変更する方法について説明している箇所を参照してください。

### 1.2.2 セキュリティと認証

API のリクエストを送信してレスポンスを取得するには、ユーザー認証を受ける必要があります。JP1/OA の API は、Basic 認証 (Basic Access Authentication) または HSSO トークンによる認証を利用します。HSSO トークンは、シングルサインオンに必要なトークンです。HSSO トークンは、発行されて 1,000 秒でタイムアウトします。

ユーザー認証を受けるためには、使用する認証情報をリクエストヘッダーで指定してください。認証情報を指定する場合のリクエストヘッダーの指定例を次に示します。

Basic 認証の例

```
Authorization: Basic△c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
```

(凡例) △：半角空白

Basic 認証では、Authorization ヘッダーに、認証方式"Basic"に続けて、ユーザー名とパスワードを":" (ASCII:0x3A)で連結した文字列を Base64 エンコードしたもの (basic token と呼びます) を指定します。

HSSO トークンによる認証の例

```
Authorization:HSSO△32bd25936120d68dceabcb49493079f8ef82a4_V0300
```

(凡例) △：半角空白

HSSO トークンによる認証では、Authorization ヘッダーに、認証方式"HSSO"に続けて、HSSO トークンを指定します。

JP1/OA サーバは、権限のないリクエストが発行された場合、レスポンスとして、ステータスコード「401」を返却します。

## メモ

Basic 認証または HSSO トークンによる認証で JP1/OA サーバに接続した場合、レスポンスヘッダーとして「WWW-Authenticate: HSSO *hssso token*」が返却されます。再度、同じセッションで JP1/OA に接続して API を発行したい場合は、リクエストヘッダーを次のように指定してください。

```
Authorization:HSSO△hssso token
```

(凡例) △：半角空白

JP1/OA サーバは、権限のないリクエストが発行された場合、レスポンスとして、ステータスコード「401」を返却するとともに、ユーザー認証をリクエストします。

## 1.2.3 入出力形式

API のリクエストおよびレスポンスのデータ形式として、JSON 形式を利用できます。データ形式は、リクエストヘッダーで指定してください。入出力形式の文字コードは、UTF-8 を使用します。

指定例

```
Accept:application/json  
Content-Type:application/json
```

## 1.2.4 リクエスト形式

API で JP1/OA が提供する機能を利用するためのリクエスト形式を次に示します。リクエスト形式は URI, メソッド, リクエストライン, リクエストヘッダーから構成されます。

### (1) URI

API にリソースを指定するには、URI を使用します。次に示す URI の形式の<schema>から<version>までが基底 URI となり、<domain>以下が、相対 URI となります。リソースは<domain>以下の相対 URI に指定します。

URI の形式

```
<scheme>://<host>:<port>/<application>/<version>/<domain>/<object-type>[?<query-string>]
```

または

```
<scheme>://<host>:<port>/<application>/<version>/<domain>/<object-type>/actions/[<action-identifier>[/invoke]]
```

URI の構成内容について、次の表で説明します。

表 1-1 URI の構成要素

項目	説明	参照先
<scheme>	プロトコルを指定します。HTTP の場合は「http」、HTTPS の場合は「https」を指定します。	—
<host>	API クライアントからアクセスする JP1/OA のホスト名または IP アドレスを指定します。	—
<port>	API クライアントからアクセスする JP1/OA のポート番号を指定します。デフォルトでは HTTP の場合は 22015、HTTPS の場合は 22016 です。	—
<application>	API を提供するアプリケーション名です。固定値として「Analytics」を指定します。	—
<version>	使用する API のバージョンを指定します。	各 API の「API のバージョン」を参照してください。
<domain>	API に指定するリソースのカテゴリを指定します。	[1.4 JP1/OA の API で操作できるリソース]
<object-type>	リソースまたはサービスの種類を表します。	
<query-string>	クエリパラメータ。<object-type>を絞り込んだり、ソートする条件を指定したりします。リソースごとに指定できるクエリパラメータは異	[1.2.9 HQL 規格の使用]

項目	説明	参照先
<query-string>	なります。クエリパラメータ同士の順序は問いません。	[1.2.9 HQL 規格の使用]
<action-identifier>	リソースに対するアクションを表します。	—

(凡例)

—：該当しません。

URI の構成内容や詳細は、API ごとに異なるため、各 API の説明を参照してください。

## (2) サポートする HTTP メソッド

HTTP が定義する操作メソッドのうち、GET メソッド、POST メソッド、PUT メソッドおよび DELETE メソッドをサポートしています。

扱うリソースによって、使用できるメソッドは異なります。使用できるメソッドについては、各 API の説明を参照してください。

## (3) リクエストライン

リクエストラインは次の項目から構成されます。

リクエストラインの形式

```
メソッド△リクエストパス(URI)△クエリ△HTTPバージョン
```

(凡例) △：半角空白

項目	説明	例
メソッド	リクエストのメソッド	GET
リクエストパス(URI)	リソースを示すパス	/Analytics/v1/objects/ Credentials
クエリ	リクエストに含めるクエリパラメータ	?\$query=instanceId+eq+50
HTTP バージョン	HTTP のバージョンを示す文字列	HTTP/1.1

なお、リクエストラインの最大長は 8,190 バイトです。最大長を超えてリクエストラインを指定した場合、ステータスコード 414 (Request-URI Too Long) が返されます。

## (4) リクエストヘッダー

リクエストヘッダーには、レスポンスのデータ形式およびレスポンスの言語コードなどを指定します。

表 1-2 指定可能なリクエストヘッダー

ヘッダー	説明	指定できる値	指定の要否
Host	ホストの情報として次の項目を指定します。 ホスト名または IP アドレス：JP1/OA サーバのホスト名または IP アドレスです。 ポート番号：API が JP1/OA に接続する際に、利用するポート番号です。	ユーザーの環境を確認して指定する。	任意
Accept	レスポンスデータに指定したいデータ形式を指定します。	application/json	必須
Accept-Language	レスポンスに指定したい言語の言語形式を指定します。 GET メソッド、POST メソッドまたは PUT メソッドを指定する場合に指定します。	ja:日本語 en:英語	必須
Content-Type	リクエストボディの形式を指定します。 POST メソッドまたは PUT メソッドを指定する場合に指定します。	application/json	必須
Authorization	認証情報を指定します。	Basic 認証の場合 ユーザー情報 HSSO トークンの場合 hssso token	必須
Content-Length	リクエストボディのサイズを 10 進数で指定します。 POST メソッドまたは PUT メソッドを指定する場合に指定します。	リクエストボディのサイズ(単位：バイト)	必須

## 1.2.5 レスポンス形式

リクエストに対するレスポンス形式は、ステータスライン、レスポンスヘッダー、レスポンスボディで構成されます。

### (1) ステータスライン

ステータスラインを構成する要素を次の表に示します。

項目	説明	参照先
プロトコル	API が利用する通信プロトコルが表示されます。	—
プロトコルのバージョン	API が利用する通信プロトコルのバージョンが表示されます。	—

項目	説明	参照先
ステータスコード	リクエストの実行結果がステータスコードとして返却されます。	各 API の「ステータスコード」を参照してください。 API を実行する前にエラーとなった場合のステータスコードは「 <a href="#">1.2.6 ステータスコード</a> 」を参照してください。
メッセージ	ステータスコードの内容が表示されます。	

(凡例) - : 該当しません。

## (2) レスポンスヘッダー

JP1/OA で制御可能なヘッダーを次の表に示します。

表 1-3 JP1/OA で制御可能なヘッダー

ヘッダー	説明
Cache-Control	GET メソッドを指定した API のレスポンス情報をキャッシュ制御します。
Content-Type	レスポンスデータのデータ形式です。
Language	レスポンスデータの言語コードです。
WWW-Authenticate	認証された HSSO トークンを出力します。
Warning	API は成功したがサーバの状態に問題がある場合に、その情報を英語で説明する(http 標準仕様で英語のみ許可される)

## (3) レスポンスボディ

API が呼び出された際に返却されるレスポンスデータが含まれます。レスポンスデータのデータ形式は、リクエストヘッダーに指定されたデータ形式に従います。レスポンスデータの形式は API ごとに異なります。各 API の説明を参照してください。

### 1.2.6 ステータスコード

API 実行によるレスポンスメッセージのステータスコードを次の表に示します。

表 1-4 ステータスコード

ステータスコード	名前	説明
200	OK	リクエストが適切に処理された場合。
201	Created	リソース作成処理が成功した場合、200 の代わりにこちらを返却する。
204	No Content	リクエストは成功したが、返すべきレスポンスが存在しない場合、200 の代わりにこちらを返却する。

ステータスコード	名前	説明
303	See Other	要求を別の URI を用いて処理させる場合、200 の代わりにこちらを返却する。
400	Bad Request	リクエストが不正であった場合に返却する。クエリパラメータの指定範囲不正を含む。
401	Unauthorized	リソースにアクセスするために認証が必要であることを通知する。認証方法は WWW-Authenticate ヘッダーで通知する。既に Authorization ヘッダーを含んだリクエストを行っている場合、認証がそれらのユーザー情報または hssso token に対して拒否されたことを示す。認証が拒否される理由として、指定したユーザー情報(ユーザー ID またはパスワード)や hssso token が不正以外にも、JPI/OA に対する操作権限がない場合が考えられます。
403	Forbidden	該当するオペレーションを実施する権限がない場合。
404	Not found	リソース及びオペレーションが存在しない場合。
405	Method Not Allowed	リソースに存在しないメソッドを呼び出した場合。存在するメソッド一覧を必ず返す。
406	Not Acceptable	サポート外のレスポンス形式が指定された場合。
409	Conflict	サーバに既に存在しているデータが競合しているため、リクエストを完了できない。
412	Precondition Failed	要求が前提条件を満たさないため受け付けられない場合。
414	Request-URI Too Long	リクエストラインが長過ぎる場合。
415	Unsupported Media Type	サポート外のリクエスト形式が指定された場合。
500	Server-Side Error	サーバでの処理エラーに対して返却する。
503	Service Unavailable	リポジトリサーバでエラーが発生した場合。

4XX,5XX 系のステータスコードの場合、レスポンスボディが「text/html」形式または「text/plain」形式で返却されることがあります。この場合レスポンスヘッダーに「Content-Type: text/html」または「Content-Type: text/plain」が指定されます。

4XX,500 系のステータスコードだけでは原因を特定しにくいものに関して、レスポンスにエラーのより詳細な内容を提供しています。

上記のステータスコードの使用有無は API ごとに異なるため、各 API の説明を参照してください。

## 1.2.7 エラー情報

APIのリクエストがエラーになった場合、レスポンス情報として、次の表に示すスキーマが返却されます。なお、次の表に示すスキーマ以外のエラー情報については、マニュアル「[JPI/Operations Analytics メッセージ](#)」を参照してください。

表 1-5 エラー情報のスキーマ

メンバー名	データ型	説明
errorSource	string	エラーが発生した API です。
message	string	エラーのメッセージ内容です。
messageID	string	メッセージ ID です。リクエストの際に json の記載を誤るなどの理由でエラーが発生した場合は、メッセージ ID が"generic error"になります。
application	string	エラーが発生した API を提供するアプリケーション情報(Analytics)

## 1.2.8 クエリパラメータ

クエリパラメータでは、リクエストに検索条件を指定することで、レスポンスの出力内容をフィルタリングしたり、ソートしたりすることができます。

### (1) すべての API で指定できるクエリパラメータ

次の表に示すパラメータは、すべての API で指定できます。

表 1-6 すべての API で指定できるクエリパラメータ

パラメータ	説明	指定できる値	デフォルト値
Alt	リクエストの Content-Type ヘッダーや Accept ヘッダーと同様に、入出力のデータ形式を指定できます。	json	—

(凡例) —：該当しません。

### (2) 一部の API で指定できるクエリパラメータ

次の表に示すパラメータは、リソース(例：監視プロファイル、仮想マシンなど)の一覧を取得する際に指定できます。API ごとに使用可能なパラメータが異なる場合があります。詳細は各 API の説明を参照してください。

表 1-7 一部の API で指定できるクエリパラメータ

パラメータ	説明	指定できる値*	デフォルト値
\$query	指定した条件でフィルタリングを行います。	「1.2.9 HQL 規格の使用」を参照してください。	—
\$order-by	指定されたメンバー名でソートします。	メンバー名 [{ASC DESC}] (、メンバー名 [{ASC DESC}]) ASC:昇順 DESC:降順	ASC
\$offset	情報を取得する先頭オブジェクトの位置を指定します。レスポンスに含めるオブジェクトの最大数は \$count で指定します。\$offset よりも page が優先されます。	0~2147483647	0
\$count	\$offset に指定した先頭オブジェクトの位置を起点に、レスポンスに含めるオブジェクトの最大数を指定します。\$count よりも pageSize が優先されます。なお、\$count と \$offset の合計が 2,147,483,647 を超える場合、\$offset に指定した値から 2,147,483,647 番目までのオブジェクトを取得します	1~2147483647	100
page	リソースを、ページ単位で分割する場合に、指定したページの情報を取得します。pageSize を同時に指定する必要があります。\$offset よりも page が優先されます。	1~2147483647	—
pageSize	1 ページに表示するオブジェクトの最大数を指定します。\$count よりも pageSize が優先されます。	1~2147483647	—

(凡例) — : 該当しません。

#### 注※

URL として表現できない文字列を値に指定したい場合は、UTF-8 形式で URL エンコードしてください。pageSize には 1 ページに表示するオブジェクトの最大数を指定し、page には分割されたページのうちの何ページ目を表示するかを指定します。page および pageSize を指定すると、Pagination オブジェクトに全リソース数とページ数が返却されます。この値によって次のページがあるかどうかを判断できます。

なお、page および pageSize は次の式のとおり、\$offset の値に変換されて利用されます。

$\$offset = \text{pageSize} * (\text{page} - 1)$

そのため、page および pageSize が \$offset の範囲を超えた場合、ステータスコードは 400 の Bad Request が返却されます。

## 1.2.9 HQL 規格の使用

HQL は、\$query やサポートする演算子などのクエリパラメータを使用して、コレクション（データ）のフィルタリングができるクエリ言語です。

URL として表現できない記号や文字は、UTF-8 形式で URL エンコードしてください。

形式

リソースリクエストのコレクションを定義するには、次に示す式を使用してください。

```
expression ::= "(" expression ")" | binary-expression | expression junction expression
junction ::= ( "and" | "or" )

binary-expression ::= (compare-expression | tuple-expression)

compare-expression ::= name-expression compare-operation value-expression

name-expression ::= property-name | "[" property-name "]"
compare-operation ::= ( "eq" | "=" | "ne" | "<" | "!=" | "gt" | ">" | "lt" | "<" | "ge"
| ">=" | "le" | "<=" | "starts" | "ends" )
value-expression ::= ( string-expression | number-expression | boolean-expression )

string-expression ::= "" ([^'] | [']{2})* ""
number-expression ::= ( "0" | "1" | "2" | "3" | "4" | "5" | "6" | "7" | "8" | "9" )+
boolean-expression ::= "true" | "false" | "TRUE" | "FALSE"

tuple-expression ::= name-expression tuple-operation tuple-value-expression
tuple-value-expression ::= "[" value-expression ("," value-expression)* "]"
tuple-operation ::= ( "in" | "not in" )
```

[*property-name*] は、リソースに定義されているメンバー名です。

[*value-expression*] は、その式が文字列表現、数値表現、真理値表現のどれであることを表示します。また、これはリソースに定義されているメンバーの実際のデータ型とは異なります。例えば「ISO8601String」型の場合、ISO8601 の文字列式として扱われるため、「*string-expression*」として表示されます。

データ型と表現形式との関係を次の表に示します。

表 1-8 データ型と表現形式との関係

型名	Expression
int/long/float	number-expression
enum	string-expression

型名	Expression
String	string-expression
ISO8601String	string-expression
URLString	string-expression
boolean	boolean-expression

HQL でサポートする演算子を、優先される順に次の表に示します。

表 1-9 HQL でサポートする演算子

演算子	説明	指定可能な文法	優先度
eq	等しい。	number-expression, string-expression(string,enum), boolean-expression	1
ne	等しくない。	number-expression, string-expression(string,enum), boolean-expression	1
gt	より大きい。	number-expression, string-expression(string,enum),	1
lt	より小さい。	number-expression, string-expression(string,enum),	1
ge	以上。	number-expression, string-expression(string,enum),	1
le	以下。	number-expression, string-expression(string,enum),	1
starts*	開始値。	string-expression (ISO8601String を除く string)	1
ends*	終了値。	string-expression (ISO8601String を除く string)	1
likes*	含まれる。	string-expression (ISO8601String を除く string)	1
in	含まれる。	number-expression, string-expression(string,enum), boolean-expression	1
not in	含まれない。	number-expression, string-expression(string,enum), boolean-expression	1
and	どちらも true である。	compare-expression, tuple-expression	2
or	どちらかが true である。	compare-expression, tuple-expression	3

注※ 大文字と小文字は区別されません。

## 使用例

URL エンコード前

```
...?$query=instanceID in [1000,1001,1002] and status eq 'Warning'
```

URL エンコード後

```
...?$query=instanceID%20in%20%5b1000%2c1001%2c1002%5d%20and%20status%20eq%20%27Warning%27
```

## 1.2.10 ドメインオブジェクトの形式

ドメインとは、JP1/OA がサポートするリソースが格納されている場所を指します。ドメインオブジェクトとは、リソースのメンバーを指します。ここでは、ドメインオブジェクトのデータ形式について説明します。

サポートするデータ型

サポートされる基本データ型を次に示します。

表 1-10 基本データ型

型名	説明
boolean	true or false
float	浮動小数
int	32bit 符号付き整数
long	64bit 符号付き整数
string	テキストデータ

注 ISO8601String, URLString, および enum は string 型の拡張表現です。

### 日付と時間

ドメインオブジェクトでの日付と時間の指定方法を説明します。

日付と時間は、ISO8601 フォーマットを使用して指定してください。フォーマットでは、「年 (yyyy)」以外のすべての情報を省略できます。日付または時間が省略された場合、指定可能な最小値が自動的に追加されます。タイムゾーンが省略された場合、デフォルトでは、JP1/OA サーバに設定されたタイムゾーンが設定されます。

ただし、\$query を使用して日付と時間を指定する場合、日付と時間は省略できません。また、JSON 形式で時間情報を取得する場合、タイムゾーン情報の「:」が表記されていない時間（例：2014-12-09T18:50:30.500+0900）が出力されます。JSON 形式で取得した時間情報を、そのまま API の入力に指定する場合には、タイムゾーンに「:」を追加してください（例：2014-12-09T18:50:30.500+09:00）。「:」を追加しない場合、エラーになります。

また、リソースのメンバーのデータ型が「ISO8601String」である場合、年月日、時刻、タイムゾーンは、次の表の形式でレスポンスボディに表示されます。

表 1-11 年月日, 時刻, タイムゾーンの形式

フォーマット	指定例	JP1/OA で処理する時刻
<i>yyyy-mm-ddThh:mm:ss.mmmTZD</i>	2015-12-09T18:50:30.500+09:00	2015-12-09T18:50:30.500+09:00
<i>yyyy-mm-ddThh:mm:ss.mmm</i>	2015-12-09T18:50:30.500.000	2015-12-09T18:50:30.500.000[ホストサーバのタイムゾーン]
<i>yyyy-mm-ddThh:mm:ssTZD</i>	2015-12-09T18:50:30+09:00	2015-12-09T18:50:30.000+09:00
<i>yyyy-mm-ddThh:mmTZD</i>	2015-12-09T18:50+09:00	2015-12-09T18:50:00.000+09:00
<i>yyyy-mm-ddThhTZD</i>	2015-12-09T18+09:00	2015-12-09T18:00:00.000+09:00
<i>yyyy-mm-dd</i>	2015-12-09	2015-12-09T00:00:00.000[ホストサーバのタイムゾーン]
<i>yyyy-mm</i>	2015-12	2015-12-01T00:00:00.000[ホストサーバのタイムゾーン]
<i>yyyy</i>	2015	2015-01-01T00:00:00.000[ホストサーバのタイムゾーン]

## 1.3 リソースのメンバー

JP1/OA が提供する機能をリソースとして分類します。レスポンスボディで、リソースの情報をメンバーとして取得できます。返却されるリソースのメンバー名、データ型、説明および\$query と\$order-by に適応するかどうかを、機能ごとの表に示します。

### ポイント

- レスポンス取得時にメンバーの値が存在しない場合は、レスポンスボディ上、省略されることがあります。
- JP1/OA では、サポート対象外のメンバーが返却される場合があります。サポート対象については機能ごとの表を参照してください。
- リソースの一覧を取得する場合は、各機能のメンバーがリストとして取得されます。リストの形式は「[1.3.20 リソース一覧取得時のリストのメンバー](#)」を参照してください。
- 年月日の指定方法について特に断り書きがない場合は、「[1.2.10 ドメインオブジェクトの形式](#)」を参照して指定してください。

### 1.3.1 探索範囲のメンバー

探索範囲 (IPAddrRange リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID	×	×	×
name	string	探索範囲の名称	○	×	×
ipAddrRange	string[]	探索範囲。リストの 0 番目に探索開始 IP アドレス、リストの 1 番目に探索終了 IP アドレスを指定します。	○	×	×
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"><li>true: ping を使用する。</li><li>false: ping を使用しない。</li></ul>	○	×	×
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"><li>true: すべての Credential を使用する。</li><li>false: すべての Credential を使用しない。</li></ul>	○	×	×
selectedCredentails	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト	○	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル	○	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

## 1.3.2 認証情報のメンバー

認証情報 (Credentials リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID	×	○	○
name	string	認証情報の名称。	○	○	○
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、「username」メンバーの値が設定されます。	○	○	×
password	string	認証時に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。	○	×	×
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：パスワードは必要ない。</li> <li>• false：パスワードが必要である。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。	○	×	×
portNumber	integer	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。	○	×	×
rootPassword	string	認証時に使用する root パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコー	○	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
rootPassword	string	ドして指定します。監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。	○	×	×
updatePassword	boolean	パスワード(password)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: パスワードの変更を行う。</li> <li>• false: パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。	○	×	×
updateRootPassword	boolean	root パスワード(rootPassword)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: パスワードの変更を行う。</li> <li>• false: パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。	○	×	×
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: SSL を使用する。</li> <li>• false: SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。	○	×	×
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。	○	×	×
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。	○	×	×
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。	○	×	×
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。指定できる値は、 <a href="#">[1.6 列挙型一覧]</a> の SnmpVersion の表を参照してください。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。	○	×	×
username	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: 認証を有効にする。</li> <li>• false: 認証を無効にする。</li> </ul>	○	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
authenticationEnabled	boolean	省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
authenticationPassphrase	string	認証パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
updateAuthenticationPassphrase	boolean	認証パスワードを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：認証パスワードの変更を行う。</li> <li>• false：認証パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。指定できる値は、 「1.6 列挙型一覧」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：プライバシーを有効にする。</li> <li>• false：プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
privacyPassphrase	string	プライバシーのためのパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
updatePrivacyPassphrase	boolean	プライバシーのためのパスワードを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：パスワードを変更する。</li> <li>• false：パスワードを変更しない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
privacyProtocol	string	プライバシー用のプロトコル。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES：DES を使用する。</li> <li>• AES128：AES128 を使用する。</li> </ul>	○	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
privacyProtocol	string	監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。	○	×	×
numOfRelatedResources	integer	認証情報を用いて発見されたリソースの数	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.3 コレクターのメンバー

コレクター (Collectors リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID	×	○	○
name	string	コレクターの名称	○	○	○
collectorType	string	コレクターの種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER：管理ソフトウェアが vCenter である。</li> <li>AJS：管理ソフトウェアが JP1/AJS3 - Manager である。</li> <li>IM：管理ソフトウェアが JP1/IM - Manager である。</li> <li>PFM：管理ソフトウェアが JP1/PFM - Manager である。</li> <li>CUSTOM：管理ソフトウェアが任意のアプリケーションである。</li> </ul>	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別 (collectorType) が「AJS」, 「PFM」, 「IM」の場合のみ指定します。指定できる値は、 <a href="#">[1.6 列挙型一覧]</a> の CollectorOsType の表を参照してください。	×	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
connectResult	enum	コレクターの最新の実行結果。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
refreshStatus	enum	コレクターの実行状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。	×	×	×
message	string	コレクターの実行結果のメッセージ	×	×	×
lastRefreshed	ISO8601String	最終リフレッシュ日時	×	×	×
refreshDateForInventory	ISO8601String	構成情報のリフレッシュ日時	×	×	×
refreshDateForPerformance	ISO8601String	性能情報のリフレッシュ日時	×	×	×
numOfHypervisors	integer	コレクターにより発見されたハイパーバイザーの数	×	×	×
numOfVms	integer	コレクターにより発見された仮想マシンの数	×	×	×
numOfApplications	integer	コレクターにより発見されたアプリケーションの数	×	×	×
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報。詳細は「 <a href="#">1.3.4 コレクターで使用する認証情報のメンバー</a> 」を参照してください。	—	—	—
productName	string	収集対象製品名	×	○	○
providerName	string	コレクター作成者	×	○	○
refreshDateForApp	ISO8601String	定義反映日時	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。 —：対象外です。

### 1.3.4 コレクターで使用する認証情報のメンバー

コレクターで使用する認証情報（CollectorCredential リソース）のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	×	×
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名。	×	×	×
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。	○	×	×
password	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 でエンコードして指定します。	○	×	×
updatePassword	boolean	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワードを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：パスワードの変更を行う。</li> <li>• false：パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。	○	×	×
portNumber	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。	○	×	×
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。	○	×	×
rootPassword	string	root パスワード。アプリケーション連携で Unix 選択時に使用。	○	×	×
updateRootPassword	boolean	パスワードを変更する場合に true を設定する。更新時のみ使用。	○	×	×
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する。	○	×	×
shareName	string	共有名	○	×	×
sharedFolder	string	共有フォルダのパス	○	×	×
logicalHostName	string	論理ホスト名	○	×	×
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する。	○	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

## 1.3.5 ユーザープロファイルのメンバー

ユーザープロファイル (UserThresholdProfiles リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"><li>• VM：仮想マシン</li><li>• VOLUME：ボリューム</li><li>• WINDOWS：Windows</li><li>• LINUX_UNIX：Linux または UNIX</li></ul>	○ (新規作成時のみ)	○ (eq のみ)	×
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"><li>• User：ユーザーが作成したプロファイル</li><li>• Default：デフォルトで登録されているプロファイル</li><li>• Preset：初期値が設定されたプロファイル</li></ul>	× (新規作成時は User を指定する)	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。詳細は「 <a href="#">1.3.6 ユーザープロファイルのしきい値のメンバー</a> 」を参照してください。	—	—	—
numOfResources	integer	ユーザープロファイルが割り当たっているリソースの数。	×	×	×
autoAssignFilters	string[]	自動割り当てルールのルール名。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。 —：対象外です。

## 1.3.6 ユーザープロファイルのしきい値のメンバー

ユーザープロファイルのしきい値 (UserThresholdValue リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	×	×
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"><li>• true: 監視している。</li><li>• false: 監視していない。</li></ul> 省略時は false が設定されます。	○	×	×
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。	×	×	×
displayName	string	しきい値の表示名。	×	×	×
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。	×	×	×
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"><li>• true: 測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li><li>• false: 測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li></ul>	×	×	×
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は次の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• stepSize の倍数</li><li>• max 以下</li><li>• min 以上</li></ul>	○	×	×
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は次の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• stepSize の倍数</li><li>• max 以下</li><li>• min 以上</li></ul>	○	×	×
stepSize	float	しきい値の増加量。	×	×	×
max	float	しきい値がとりえる最大値。	×	×	×
min	float	しきい値がとりえる最小値。	×	×	×

(凡例) ○: 適応します。 ×: 適応しません。

## 1.3.7 システムプロファイルのメンバー

システムプロファイル (SystemThresholdProfiles リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ESX : ESX サーバ</li><li>• HYPERV : Hyper-V サーバ</li><li>• IPSWITCH : IP スイッチ</li><li>• FCSWITCH : FC スイッチ</li></ul>	○ (新規作成時のみ)	○ (eq のみ)	×
profileType	string	システムプロファイルの変更種別。 <ul style="list-style-type: none"><li>• User : ユーザーが作成したプロファイル</li><li>• Default : デフォルトで登録されているプロファイル</li><li>• Preset : 初期値が設定されたプロファイル</li></ul>	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。詳細は「 <a href="#">1.3.8 システムプロファイルのしきい値のメンバー</a> 」を参照してください。	—	—	—
numOfResources	integer	システムプロファイルが割り当たっているリソースの数。	×	×	×

(凡例) ○ : 適応します。 × : 適応しません。 — : 対象外です。

## 1.3.8 システムプロファイルのしきい値のメンバー

システムプロファイルのしきい値 (SystemThresholdValue リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	×	×
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：監視している。</li> <li>• false：監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。	○	×	×
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。	×	×	×
displayName	string	しきい値の表示名。	×	×	×
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。	×	×	×
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true：測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>• false：測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>	×	×	×
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は次の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• stepSize の倍数</li> <li>• max 以下</li> <li>• min 以上</li> </ul>	○	×	×
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は次の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• stepSize の倍数</li> <li>• max 以下</li> <li>• min 以上</li> </ul>	○	×	×
stepSize	float	しきい値の増加量。	×	×	×
max	float	しきい値がとりえる最大値。	×	×	×
min	float	しきい値がとりえる最小値。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.9 コンシューマーのメンバー

コンシューマー (Groups リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
status	enum	コンシューマーの状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	×	×
gradeKey	string	グレードを識別する ID。	○	○	○
gradeName	string	グレードの名称。	×	×	×
gradeDisplayOrder	integer	グレードの優先順位	×	×	×
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。	○	○	○
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の TemplateCreatorType の表を参照してください。	○ (新規作成時のみ)	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
numOfVolumes	integer	コンシューマーが割り当てられているボリュームの数。	×	×	×
numOfVMs	integer	コンシューマーが割り当てられている仮想マシンの数。	×	×	×
numOfHosts	integer	コンシューマーが割り当てられているホストの数。	×	×	×
numOfHypervisors	integer	コンシューマーが割り当てられているハイパーバイザーの数。	×	×	×
numOfApplications	integer	コンシューマーが割り当てられているアプリケーションの数。	×	×	×
vmAutoAssignFilters	string[]	仮想サーバに設定されている自動割り当てルールのルール名。	×	×	×
hostAutoAssignFilters	string[]	ホストに設定されている自動割り当てルールのルール名。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.10 グレードのメンバー

グレード (Grades リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
gradeKey	string	グレードを識別する ID。	×	○	○
name	string	グレードの名称。	×	○	○
displayOrder	string	グレードの優先順位。	×	○	○

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.11 仮想マシンのメンバー

仮想マシン (VirtualMachines リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	仮想マシン名。	×	○	○
ipAddress	string	仮想マシンの IP アドレス。	×	×	×
status	enum	仮想マシンの状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	仮想マシンの監視状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ComponentMonitorType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	仮想マシンの詳細情報。	×	○	○
collectorID	Long	発見に使用されたコレクターを特定する ID。	×	×	×
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称。	×	×	×
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。	×	×	×
clusterName	string	仮想マシンが登録されているクラスタ環境。	×	○	○
hypervisorType	enum	仮想マシンが属するハイパーバイザーの種別。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ArgusNodeType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
hypervisorID	long	仮想マシンが属するハイパーバイザーを特定する ID。	×	○	○
hypervisorName	string	仮想マシンが属するハイパーバイザーの名称。	×	○	○

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
hypervisorMonitorStatus	enum	ハイパーバイザーの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
hostName	string	仮想マシン上で動作するホストのホスト名。	×	○	○
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
groupIDs	long[]	割り当てられているコンシューマーを特定する ID。	×	×	×
groupNames	String[]	割り当てられているコンシューマーの名称。	×	×	×
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。	×	×	×
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報のプロトコルまたはコレクターの種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用した IP アドレスまたはホスト名。	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.12 ハイパーバイザーのメンバー

ハイパーバイザー (Hypervisors リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	ハイパーバイザーの名称。	×	○	○
ipAddress	string	ハイパーバイザーの IP アドレス。	×	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
status	enum	ハイパーバイザーの状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	ハイパーバイザーの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	ハイパーバイザーの詳細情報。	×	○	○
collectorID	long	発見に使用されたコレクターを特定する ID。	×	×	×
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称。	×	×	×
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ConnectType の表を参照してください。	×	×	×
clusterName	string	ハイパーバイザーが登録されているクラスタの名称。	×	○	○
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。	×	×	×
hypervisorType	string	ハイパーバイザーの種別。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SERVER_ESX : ESX サーバ</li> <li>SERVER_HYPERV : Hyper-V サーバ</li> </ul>	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報のプロトコルまたはコレクターの種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用した IP アドレスまたはホスト名。	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID。	×	×	×
groupIDs	long[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーを特定する ID。	×	×	×
groupNames	string[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーの名称。	×	×	×
gradeNames	string[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーのグレード。	×	×	×
gradeOrders	integer[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度。	×	×	×

凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.13 ホストのメンバー

ホスト (Hosts リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID	×	○	○
name	string	ホストの名称	×	○	○
ipAddress	string	ホストの IP アドレス	×	×	×
osType	string	ホストの OS 種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SERVER_WINDOWS：OS が Windows である。</li> <li>• SERVER_LINUX：OS が Linux である。</li> <li>• SERVER_SOL：OS が Solaris である。</li> <li>• SERVER_HPUX：OS が HP-UX である。</li> <li>• SERVER_AIX：OS が AIX である。</li> </ul>	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
status	enum	ホストの状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	ホストの監視状態。指定できる値は、「 <a href="#">1.6 列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	ホストの詳細情報	×	○	○
vmName	string	ホストが仮想マシン上で動作している場合の仮想マシン名	×	○	○
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称	×	×	×
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称	×	×	×
groupIDs	long[]	割り当てられているコンシューマーを特定する ID	×	×	×
groupNames	string[]	割り当てられているコンシューマーの名称	×	×	×
deviceClassificationLabel	string	ホストに割り当てられた分類ラベル	×	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.14 IP スイッチのメンバー

IP スイッチ (IPSwitches リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	IP スイッチの名称。	×	○	○
ipAddress	string	IP スイッチの IP アドレス。	×	×	×
status	enum	IP スイッチの状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	IP スイッチの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	IP スイッチの詳細情報。	×	○	○
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。	×	×	×
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
accessPointSnmpVersion	enum	発見時に使用された SNMP のバージョン。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の SnmpVersion の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス。	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.15 FC スイッチのメンバー

FC スイッチ (FCSwitches リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター (\$query) 条件への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	FC スイッチの名称。	×	○	○
ipAddress	string	FC スイッチの IP アドレス。	×	×	×
status	enum	FC スイッチの状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	FC スイッチの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	FC スイッチの詳細情報。	×	○	○
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。	×	×	×
wwn	string	FC スイッチに割り当てられた WWN。	×	○	○
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス。	×	×	×

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター (\$query) 条件への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.16 ストレージシステムのメンバー

ストレージシステム (StorageSystems リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
name	string	ストレージシステムの名称。	×	○	○
ipAddress	string	ストレージシステムの IP アドレス。	×	×	×
status	enum	ストレージシステムの状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
monitorStatus	enum	ストレージシステムの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
description	string	ストレージシステムの詳細情報。	×	○	○
usedCredentialID	string	発見時に使用された認証情報の名称。	×	×	×
usedCredentials	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス。	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

## 1.3.17 ボリュームのメンバー

ボリューム (Volumes リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$orderby) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。	×	○	○
status	enum	ボリュームの状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
ldev	string	ボリュームの LDEV 名。	×	○	○
storageSubsystemID	long	ボリュームが属するストレージシステムを特定する ID。	×	×	×
storageSubsystem	string	ボリュームが属するストレージシステムの名称。	×	×	×
storageSubsystemMonitorStatus	enum	ボリュームが属するストレージシステムの監視状態。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。	×	○ (eq, ne, in, not in のみ)	×
parityGroup	string	ボリュームが属するパリティグループの名称。	×	×	×
storagePool	string	ボリュームが属するストレージプールの名称。	×	×	×
thresholdProfileID	long	割り当てられているプロファイルを特定する ID。	×	×	×
thresholdProfileName	string	割り当てられているプロファイルの名称。	×	×	×
groupIDs	long[]	割り当てられているコンシューマーを特定する ID。	×	×	×
groupNames	string[]	割り当てられているコンシューマーの名称。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

## 1.3.18 アプリケーションのメンバー

アプリケーション (Applications リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
instanceID	long	インスタンスを特定する ID	×	×	×
name	string	発見されたリソース名	×	×	×
applicationType	enum	アプリケーションの種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ApplicationType の表を参照してください。	×	×	×
applicationDetailType	string	任意のアプリケーションの種別	×	×	×
ipAddress	string	アプリケーションの IP アドレス	×	×	×
description	string	アプリケーションの詳細情報	×	×	×
collectorID	long	発見に使用されたコレクターを特定する ID	×	×	×
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称	×	×	×
applicationHosts	ApplicationHost[]	アプリケーションが属するリソースの情報	×	×	×
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行設定。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ConnectType の表を参照してください。	×	×	×
groupIDs	long[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーを特定する ID	×	×	×
groupNames	string[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーの名称	×	×	×
gradeNames	string[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーのグレード	×	×	×
gradeOrders	int[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度	×	×	×
usedCredentialID	int[]	発見時に使用された認証情報を特定する ID	×	×	×
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報	×	×	×
accessPointType	enum	認証情報の種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。	×	×	×
accessPointIpAddress	string	認証情報の IP アドレスまたはホスト名	×	×	×
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.19 アプリケーションのリソース情報のメンバー

アプリケーションのリソース情報 (ApplicationHost リソース) のメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
resourceID	long	アプリケーションが属するリソースの ID。	×	×	×
resourceType	enum	アプリケーションが属するリソースの種別。指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の ApplicationResourceType の表を参照してください。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

### 1.3.20 リソース一覧取得時のリストのメンバー

リソース一覧取得時のリストのメンバーについて説明します。

メンバー名	データ型	説明	変更可否	フィルター条件 (\$query) への適用	ソート条件 (\$order-by) への適用
data	object[]	取得したリソースの一覧が設定されます。	×	×	×
page	integer	リクエストで指定した page (ページ番号)。	×	×	×
pageSize	integer	リクエストで指定した pageSize (ページに含まれるオブジェクトの最大数)。	×	×	×
numPages	integer	page (ページ番号) の総数。	×	×	×
totalCount	integer	返却されるリソースの総数。	×	×	×
count	integer	クエリパラメータの条件に合致したデータの個数。	×	×	×

(凡例) ○：適応します。 ×：適応しません。

## 1.4 JP1/OA の API で操作できるリソース

JP1/OA の API を使って操作できるリソースの一覧を次に示します。

リソース	ドメイン
Applications	objects
Collectors	objects
Credentials	objects
E2EView	services
Events	services
FCSwitches	objects
FCSwitches	services
Grades	objects
Groups	objects
Hosts	objects
Hosts	services
Hypervisors	objects
Hypervisors	services
IPSwitches	objects
IPSwitches	services
IpAddrRanges	objects
PerfComponents	services
StorageSystems	objects
StorageSystems	services
SystemThresholdProfiles	objects
UserThresholdProfiles	objects
VirtualMachines	objects
VirtualMachines	services
Volumes	objects
version	configuration

## 1.5 JP1/OA の API を使って発行できるリクエスト

JP1/OA の API を使って発行できるリクエストの一覧をリソースごとに示します。

### Applications(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
アプリケーションの一覧の取得	GET	/v1/objects/Applications	Admin, Modify

### Collectors(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
コレクターの一覧の取得	GET	/v1/objects/Collectors	Admin, Modify
コレクターの作成	POST	/v1/objects/Collectors	Admin
コレクターの情報取得	GET	/v1/objects/Collectors/{id}	Admin, Modify
コレクターの更新	PUT	/v1/objects/Collectors/{id}	Admin
コレクターの削除	DELETE	/v1/objects/Collectors/{id}	Admin

### Credentials(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
認証情報の一覧の取得	GET	/v1/objects/Credentials	Admin
認証情報の作成	POST	/v1/objects/Credentials	Admin
認証情報の情報取得	GET	/v1/objects/Credentials/{id}	Admin
認証情報の更新	PUT	/v1/objects/Credentials/{id}	Admin
認証情報の削除	DELETE	/v1/objects/Credentials/{id}	Admin

### E2EView(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得	GET	/v1/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV	Admin, Modify
指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得	POST	/v1/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV/invoke	Admin, Modify

## Events(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
イベントの一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得	GET	/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV	Admin, Modify
イベントの一覧を CSV で取得	POST	/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV/invoke	Admin, Modify

## FCSwitches(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
FC スイッチの一覧の取得	GET	/v1/objects/FCSwitches	Admin, Modify

## FCSwitches(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
FC スイッチに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/FCSwitches/actions	Admin, Modify
FC スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/FCSwitches/actions/changeManagedType	Admin, Modify
FC スイッチの監視状態の変更	POST	/v1/services/FCSwitches/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## Grades(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
グレードの一覧の取得	GET	/v1/objects/Grades	Admin, Modify

## Groups(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
コンシューマーの一覧の取得	GET	/v1/objects/Groups	Admin, Modify
コンシューマーの作成	POST	/v1/objects/Groups	Admin, Modify
コンシューマーの情報取得	GET	/v1/objects/Groups/{id}	Admin, Modify
コンシューマーの更新	PUT	/v1/objects/Groups/{id}	Admin, Modify

リクエスト	メソッド	URI	権限
コンシューマーの削除	DELETE	/v1/objects/Groups/{id}	Admin, Modify
コンシューマーに対する操作一覧の取得	GET	/v1/objects/Groups/{id}/actions	Admin, Modify
コンシューマーの割り当てに必要な情報の取得	GET	/v1/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResource	Admin, Modify
コンシューマーの割り当て	POST	/v1/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResource/invoke	Admin, Modify
リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当てに必要な情報の取得	GET	/v1/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResourceWithAssignmentType	Admin, Modify
リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当て	POST	/v1/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResourceWithAssignmentType/invoke	Admin, Modify

## Hosts(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ホストの一覧の取得	GET	/v1/objects/Hosts	Admin, Modify

## Hosts(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ホストに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/Hosts/actions	Admin, Modify
ホストの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType	Admin, Modify
ホストの監視状態の変更	POST	/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## Hypervisors(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ハイパーバイザーの一覧の取得	GET	/v1/objects/Hypervisors	Admin, Modify

## Hypervisors(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ハイパーバイザーに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/Hypervisors/actions	Admin, Modify
ハイパーバイザーの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/Hypervisors/actions/changeManagedType	Admin, Modify
ハイパーバイザーの監視状態の変更	POST	/v1/services/Hypervisors/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## IPSwitches(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
IP スイッチの一覧の取得	GET	/v1/objects/IPSwitches	Admin, Modify

## IPSwitches(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
IP スイッチに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/IPSwitches/actions	Admin, Modify
IP スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/IPSwitches/actions/changeManagedType	Admin, Modify
IP スイッチの監視状態の変更	POST	/v1/services/IPSwitches/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## IpAddrRanges(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
探索範囲の一覧の取得	GET	/v1/objects/IpAddrRanges	Admin
探索範囲の作成	POST	/v1/objects/IpAddrRanges	Admin
探索範囲の情報取得	GET	/v1/objects/IpAddrRanges/{id}	Admin
探索範囲の更新	PUT	/v1/objects/IpAddrRanges/{id}	Admin
探索範囲の削除	DELETE	/v1/objects/IpAddrRanges/{id}	Admin

## PerfComponents(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得するために必要な情報の取得	GET	/v1/services/PerfComponents/actions/getGraphDataCSV	Admin, Modify
指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得	POST	/v1/services/PerfComponents/actions/getGraphDataCSV/invoke	Admin, Modify
指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得するために必要な情報の取得	GET	/v1/services/PerfComponents/actions/getNodesGraphDataCSV	Admin, Modify
指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得	POST	/v1/services/PerfComponents/actions/getNodesGraphDataCSV/invoke	Admin, Modify

## StorageSystems(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ストレージシステムの一覧の取得	GET	/v1/objects/StorageSystems	Admin, Modify

## StorageSystems(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ストレージシステムに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/StorageSystems/actions	Admin, Modify
ストレージシステムの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/StorageSystems/actions/changeManagedType	Admin, Modify
ストレージシステムの監視状態の変更	POST	/v1/services/StorageSystems/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## SystemThresholdProfiles(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
システムプロファイルの一覧の取得	GET	/v1/objects/SystemThresholdProfiles	Admin, Modify
システムプロファイルの作成	POST	/v1/objects/SystemThresholdProfiles	Admin, Modify
システムプロファイルの情報取得	GET	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify
システムプロファイルの更新	PUT	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify

リクエスト	メソッド	URI	権限
システムプロファイルの削除	DELETE	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify
システムプロファイルに対する操作一覧の取得	GET	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions	Admin, Modify
システムプロファイルの割り当てに必要な情報の取得	GET	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions/updateTargetResource	Admin, Modify
システムプロファイルの割り当て	POST	/v1/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions/updateTargetResource/invoke	Admin, Modify

## UserThresholdProfiles(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ユーザープロファイルの一覧の取得	GET	/v1/objects/UserThresholdProfiles	Admin, Modify
ユーザープロファイルの作成	POST	/v1/objects/UserThresholdProfiles	Admin, Modify
ユーザープロファイルの情報取得	GET	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify
ユーザープロファイルの更新	PUT	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify
ユーザープロファイルの削除	DELETE	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}	Admin, Modify
ユーザープロファイルに対する操作一覧の取得	GET	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions	Admin, Modify
ユーザープロファイルの割り当てに必要な情報の取得	GET	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions/updateTargetResource	Admin, Modify
ユーザープロファイルの割り当て	POST	/v1/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions/updateTargetResource/invoke	Admin, Modify

## VirtualMachines(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
仮想マシンの一覧の取得	GET	/v1/objects/VirtualMachines	Admin, Modify

## VirtualMachines(Domain : services)

リクエスト	メソッド	URI	権限
仮想マシンに対する操作一覧の取得	GET	/v1/services/VirtualMachines/actions	Admin, Modify
仮想マシンの監視状態変更に必要な情報の取得	GET	/v1/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType	Admin, Modify
仮想マシンの監視状態の変更	POST	/v1/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType/invoke	Admin, Modify

## Volumes(Domain : objects)

リクエスト	メソッド	URI	権限
ボリュームの一覧の取得	GET	/v1/objects/Volumes	Admin, Modify

## version(Domain : configuration)

リクエスト	メソッド	URI	権限
バージョン情報の取得	GET	/v1/configuration/version	Admin, Modify

## 1.6 列挙型一覧

API で指定可能な列挙型一覧を次の表に示します。

### ProtocolType

enumerator	説明
WMI	WMI を使用
SSH	ssh を使用
WBEM	SMI-S WBEM を使用
SNMP	SNMP を使用
VCENTER	管理ソフトウェアが vCenter
AJS	管理ソフトウェアが JP1/AJS3 - Manager
PFM	管理ソフトウェアが JP1/PFM - Manager
IM	管理ソフトウェアが JP1/IM - Manager
CUSTOM	管理ソフトウェアが任意のアプリケーション

### ArgusNodeType

enumerator	説明
NA	無効値
UNKNOWN	不明
ANY	全て
SERVER_WINDOWS	Windows サーバ
SERVER_LINUX	Linux サーバ
SERVER_ESX	ESX サーバ
SWITCH_FC	FC スイッチ
SWITCH_IP	IP スイッチ
STORAGE_HITACHI	日立製ストレージ
STORAGE_OTHER	他社製ストレージ
SERVER_SOLARIS	Solaris サーバ
SERVER_HYPERV	Hyer-V サーバ
SERVER_HPUX	HP-UX サーバ
SERVER_VCENTER	vCenter Server サーバ

enumerator	説明
SERVER_AIX	AIX サーバ

## ManagementLevelType

enumerator	説明
New	新規発見された
Manage	監視されている
ignore	監視しない
MonitorOff	一時的に監視停止

## MonitoringOperationType

enumerator	説明
Monitor	監視します
Ignore	監視を一時停止します

## ComponentMonitorType

enumerator	説明
InUse	監視している
NotMonitored	監視していない

## ConnectStatusType

enumerator	説明
NoConnect	未接続
Waiting	処理待ち
InProgress	処理中
Succeeded	成功
Failed	失敗

## SnmpVersion

enumerator	説明
V1_V2C	SNMP v1 または v2
V3	SNMP v3

## AuthenticationProtocol

enumerator	説明
MD5	MD5 を使用
SHA1	SHA1 を使用

## PrivacyProtocol

enumerator	説明
DES	DES を使用
AES128	AES128 を使用

## ConnectType

enumerator	説明
AutoConnect	即接続実行かつ定期接続あり
NotAutoConnect	接続せず

## HypertextTransferProtocolType

enumerator	説明
HTTP	HTTP を使用する
HTTPS	HTTPS を使用する

## TemplateCreatorType

enumerator	説明
User	ユーザ定義
Default	デフォルト

## NodeStatusType

enumerator	説明
Normal	正常
Warning	警告
Error	エラー
Unreachable	応答なし
Unknown	不明

enumerator	説明
NotMonitored	状態を判定しない

## E2ENodeType

enumerator	説明
TAG	コンシューマー
CLUSTER	クラスター
HYPERVISOR	ハイパーバイザ
VM_HOST	仮想マシン/ホスト
VIRTUAL_MACHINE	仮想マシン
CPU	CPU
MEMORY	メモリ
NIC	NIC
HBA	HBA
DISK	ディスク
HOST	ホスト
SWITCH	スイッチ
FC_ZONE	Zone
FC_SWITCH	FC スイッチ
IP_SWITCH	IP スイッチ
STORAGE	ストレージ
STORAGE_VOLUME	ボリューム(ストレージ)
STORAGE_PORT	ポート
STORAGE_MP	プロセッサ
STORAGE_CACHE	キャッシュ
STORAGE_POOL	プール
STORAGE_PG	パリティグループ
APPLICATION	アプリケーション
APPLICATION_AJS_MANAGER	AJS-Mamanger
APPLICATION_AJS_AGENT	AJS-Agent
APPLICATION_PFM	PFM
APPLICATION_OS	OS

enumerator	説明
APPLICATION_CUSTOM	任意のアプリケーション

## CollectorOsType

enumerator	説明
Windows	OS タイプは Windows
Unix	OS タイプは Unix

## AssignmentType

enumerator	説明
Occupy	占有
Share	共有
NoChange	変更なし

## ApplicationType

enumerator	説明
AJS_MANAGER	AJS(Manager)
AJS_AGENT	AJS(Agent)
PFM_SERVICERESPONSE	PFM(ServiceResponse)
PFM_AJS3	PFM(AJS3)
PFM_DOMINO	PFM(Domino)
PFM_EXCHANGE	PFM(Exchange)
PFM_SAPSYSTEM	PFM(SAP System)
PFM_IBMWEBSPHEREMQ	PFM(IBMWebSphereMQ)
PFM_OPENTP1	PFM(OpenTP1)
PFM_COSMINEXUS	PFM(Cosminexus)
PFM_IIS	PFM(IIS)
PFM_WEBLOGICSERVER	PFM(WebLogic Server)
PFM_WEBSHEREAPPLICATIONSERVER	PFM(WebSphere Application Server)
PFM_DB2	PFM(DB2)
PFM_HIRDB	PFM(HiRDB)
PFM_SQL	PFM(SQL)

enumerator	説明
PFM_RMSQLSERVER	PFM(RM SQLServer)
PFM_ORACLE	PFM(Oracle)
PFM_RMORACLE	PFM(RM Oracle)
PFM_RMPLATFORM	PFM(RM Platform)
PFM_UNIX	PFM(UNIX)
PFM_WINDOWS	PFM(Windows)
IM_OS	IM(OS)
PFM_RMVIRTUALMACHINE	PFM(RM VirtualMachine)
PFM_VIRTUALMACHINE	PFM(VirtualMachine)
CUSTOM	Custom

## ApplicationResourceType

enumerator	説明
VirtualMachine	仮想マシンを示します
Host	ホストを示します

## NodeInformationType

enumerator	説明
AllInformation	取得対象ノードの関連情報と基本情報を取得
BasicInformation	取得対象ノードの基本情報を取得し、関連リソースの情報を取得

## 1.7 API の記述形式

---

各 API で説明する項目を次に示します。ただし、API によっては説明のない項目もあります。

### 機能

API の機能について説明します。

### 権限

API を実行できる権限およびロールを示します。

### API のバージョン

API のバージョンを示します。

### リクエスト形式

API を使用する際のリクエスト形式について説明しています。

### ステータスコード

http プロトコルまたは https プロトコルを使用して API を実行したあとのステータスコードについて説明します。API を実行する前にエラーになった場合のステータスコードについては、「[1.2.6 ステータスコード](#)」を参照してください。

### レスポンスのスキーマ

API が正常終了したときに返却するレスポンスのスキーマ情報について説明します。

### 使用例

API を使用するためのリクエスト例およびレスポンス例について説明します。

ただし、ここでは、http プロトコルを使用している場合の例を記載します。https プロトコルを使用する場合は、「HTTP」を「HTTPS」に読み替えてください。

## 1.8 API による JP1/OA の操作

API を使って JP1/OA を操作する手順について説明します。ただし、API によっては説明のない項目もあります。

### 1.8.1 認証情報を作成する

認証情報を作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

#### 操作手順

1. 作成したい認証情報のプロトコル (WMI, SSH など) を決めます。
2. テンプレートとするため、作成したい認証情報と同じプロトコルを使用している認証情報を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/Credentials
```

3. 手順 2 で取得した認証情報 (Credential リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-12 Credential リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更 要否	変更内容
name	必須	作成する認証情報の名称に変更します。 名称は、すでに登録されている認証情報に存在しない値を指定する必要があります。
userId	必須	認証時に指定するユーザー ID。「SNMP v3」プロトコルを使用する場合、 userName に指定した値が設定されます。
password	必須	認証時に使用するパスワード。
passwordNotRequired	任意	認証時にパスワードが必要ない場合、true を指定します。「WMI」プロトコルを 使用する場合だけ有効です。
portNumber	任意	認証時に使用するポート番号。管理対象への接続に使用するプロトコルが「SSH」 「SMIS WBEM」 「SNMP」の場合だけ有効です。
rootPassword	必須	認証時に使用する root パスワード。「SSH」プロトコルを使用する場合だけ有効 です。
ssl	任意	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。「SMI-S WBEM」を使用 する場合だけ有効です。
domainname	任意	認証時に使用するドメイン名。「WMI」を使用する場合だけ有効です。
namespace	任意	認証時に使用するネームスペース。「SMI-S WBEM」を使用する場合だけ有効です。
community	任意	認証時に使用するコミュニティ名。「SNMP」を使用する場合だけ有効です。

変更するメンバー	変更要否	変更内容
snmpVersion	任意	SNMP のバージョン。「SNMP」を使用する場合だけ有効です。
userName	任意	認証時に使用するユーザー名。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
authenticationEnabled	任意	SMTP 認証を行う場合は true を指定します。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
authenticationPassphrase	任意	認証時に使用するパスワード。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
authenticationProtocol	任意	認証時に使用するプロトコル。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
privacyEnabled	任意	認証時にプライバシーを有効にする場合は true を指定します。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
privacyPassphrase	任意	認証時にプライバシーを使用する場合に指定するパスワード。「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。
privacyProtocol	任意	「SNMP v3」を使用する場合だけ有効です。

4. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 3 で編集した認証情報を指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/Credentials
```

## 関連項目

- [2.1.2 認証情報の情報取得](#)
- [2.1.3 認証情報の作成](#)

## 1.8.2 探索範囲を作成する

探索範囲を作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

### 操作手順

1. テンプレートとするため、任意の探索範囲を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges
```

2. 手順 1 で取得した探索範囲 (IpAddrRange リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-13 IpAddrRange リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更要否	変更内容
name	必須	作成する探索範囲の名称に変更します。

変更するメンバー	変更要否	変更内容
name	必須	名称は、すでに登録されている探索範囲に存在しない値を指定する必要があります。
ipAddrRange	必須	探索する範囲の IP アドレスを指定します。既に登録されている探索範囲に存在しない範囲を指定する必要があります。
usePing	任意	探索時に Ping を使用する場合は true を指定します。
useAllCredential	任意	探索時に全ての認証情報を使用する場合は true を指定します。
selectCredentials	任意	使用する認証情報を指定します。認証情報の指定方法は「 <a href="#">1.8.1 認証情報を作成する</a> 」を参照してください。
deviceClassificationLabel	任意	機器に割り当てられた分類ラベルを指定します。

3. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 2 で編集した探索範囲を指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges
```

## 関連項目

- [2.2.3 探索範囲の作成](#)
- [2.2.2 探索範囲の情報取得](#)

## 1.8.3 コレクターを作成する

コレクターを作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

### 操作手順

1. 作成したいコレクター種別 (VCENTER, AJS など) を決めます。
2. テンプレートとするため、作成したいコレクターと同じ種別を使用しているコレクターを取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/Collectors
```

3. 手順 2 で取得したコレクター (Collectors リソース, CollectorCredential リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-14 Collector リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更要否	変更内容
name	必須	作成するコレクターの名称に変更します。

変更するメンバー	変更要否	変更内容
name	必須	名称は、すでに登録されているコレクターに存在しない値を指定する必要があります。
osType	任意	監視対象の OS の種別を指定します。
collectorCredentials	任意	監視対象に接続に使用する認証情報を指定します。変更箇所は以下の表を参照してください。

表 1-15 CollectorCredential リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更要否	変更内容
ipAddress	任意	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名を設定します。
userId	任意	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID を設定します。
password	任意	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワードを設定します。
portNumber	任意	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号を設定します。
hypertextTransferProtocolType	任意	Collector 種別が VCENTER の場合だけ、設定可能です。HTTPS を指定します。
domainName	任意	コレクター種別が AJS, PFM, IM であり、osType が Windows の場合だけ、設定可能です。ドメイン名を指定します。
rootPassword	任意	コレクター種別が AJS, PFM, IM であり、osType が Unix の場合だけ、設定可能です。root のパスワードを指定します。
useAdministrativeShares	任意	コレクター種別が AJS, PFM, IM であり、osType が Windows の場合だけ、設定可能です。管理共有を行う場合に true を指定します。true を指定する場合、shareName と sharedFolder の指定は不要です。
shareName	任意	コレクター種別が AJS, PFM, IM であり、osType が Windows の場合だけ、設定可能です。共有名を指定します。useAdministrativeShares が false の場合に有効です。
sharedFolder	任意	コレクター種別が AJS, PFM, IM であり、osType が Windows の場合だけ、設定可能です。共有フォルダのパスを指定します。useAdministrativeShares が false の場合に有効です。

4. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 3 で編集したコレクターを指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/Collectors
```

## 関連項目

- [2.3.2 コレクターの情報取得](#)
- [2.3.3 コレクターの作成](#)

## 1.8.4 ユーザープロファイルを作成する

ユーザープロファイルを作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

### 操作手順

1. 作成したいリソース種別 (VM, VOLUME など) を決めます。
2. テンプレートとするため、作成したいユーザープロファイルと同じ種別を使用しているユーザープロファイルを取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles
```

3. 手順 2 で取得したユーザープロファイル (UserThresholdProfiles リソース, UserThresholdValue リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-16 UserThresholdProfiles リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更要否	変更内容
name	必須	作成するユーザープロファイルの名称に変更します。 名称は、すでに登録されているユーザープロファイルまたはシステムプロファイルに存在しない値を指定する必要があります。
description	任意	作成するユーザープロファイルの説明を記述します。
profileType	必須	User を指定します。
thresholdValues	任意	しきい値や監視状態を変更します。なお、ユーザープロファイルの作成には、変更がない場合でもすべての UserThresholdValue の設定が必要なため、取得できた値は削除しないでください。変更箇所は以下の表を参照してください。

表 1-17 UserThresholdValue リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更要否	変更内容
monitoring	必須	監視するかどうかを指定します。
thresholdValueOfWarning	任意	警告のしきい値を設定します。max メンバー以下, min メンバー以上の値を指定する必要があります。また stepSize メンバーの倍数である必要があります。
thresholdValueOfError	任意	エラーのしきい値を設定します。max メンバー以下, min メンバー以上の値を指定する必要があります。また stepSize メンバーの倍数である必要があります。

4. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 3 で編集したコレクターを指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles
```

## 関連項目

- 2.4.2 ユーザープロファイルの情報取得
- 2.4.3 ユーザープロファイルの作成

## 1.8.5 システムプロファイルを作成する

システムプロファイルを作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

### 操作手順

1. 作成したいリソース種別 (ESX, IPSWITCH など) を決めます。
2. テンプレートとするため、作成したいシステムプロファイルと同じリソース種別を使用しているシステムプロファイルを取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles
```

3. 手順 2 で取得したシステムプロファイル (SystemhresholdProfiles リソース, SystemThresholdValue リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-18 SystemhresholdProfiles リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更 要否	変更内容
name	必須	作成するシステムプロファイルの名称に変更します。 名称は、すでに登録されているユーザープロファイルまたはシステムプロファイルに存在しない値を指定する必要があります。
description	任意	作成するシステムプロファイルの説明を記述します。
profileType	必須	User を指定します。
thresholdValues	任意	しきい値や監視状態を変更します。なお、システムプロファイルの作成には、変更がない場合でもすべての SystemThresholdValue の設定が必要なため、取得できた値は削除しないでください。変更箇所は以下の表を参照してください。

表 1-19 SystemThresholdValue リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更 要否	変更内容
monitoring	必須	監視するかどうかを指定します。
thresholdValueOfWarning	任意	警告のしきい値を設定します。max メンバー以下、min メンバー以上の値を指定する必要があります。また stepSize メンバーの倍数である必要があります。

変更するメンバー	変更 要否	変更内容
thresholdValueOfError	任意	エラーのしきい値を設定します。max メンバー以下, min メンバー以上の値を指定する必要があります。また stepSize メンバーの倍数である必要があります。

4. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 3 で編集したコレクターを指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles
```

## 関連項目

- [2.5.2 システムプロファイルの情報取得](#)
- [2.5.3 システムプロファイルの作成](#)

## 1.8.6 コンシューマーを作成する

コンシューマーを作成するために使用するリクエストの形式と、リクエストボディの作成方法について説明します。

### 操作手順

1. テンプレートとするため、任意のコンシューマーを取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/Groups
```

2. 手順 1 で取得したコンシューマー (Groups リソース) を次に示すとおり編集します。

表 1-20 Groups リソースの変更箇所

変更するメンバー	変更 要否	変更内容
name	必須	作成するコンシューマーの名称に変更します。 名称は、登録されていない名称を指定する必要があります。
description	任意	コンシューマーの説明を記載します。
templateCreatorType	必須	User を指定します。
gradeKey	必須	グレードを識別する ID を指定します。グレードを識別する ID の取得は「 <a href="#">2.6.3 グレードの一覧の取得</a> 」を参照してください。
urls	任意	コンシューマーに設定できる URL です。
vmAutoAssignment	任意	ハイパーバイザーがコンシューマーに割り当てられた場合にハイパーバイザー配下の仮想マシンも自動的にコンシューマーに割り当てるかを指定します。割り当ての場合は true を指定します。指定しない場合、false が設定されます。

変更するメンバー	変更要否	変更内容
applicationAssignFollow	任意	仮想マシン/ホストがコンシューマーに割り当てられた場合に仮想マシン/ホスト配下のアプリケーションも自動的にコンシューマーに割り当てるかを指定します。割り当ててる場合は true を指定します。指定しない場合、false が設定されます。

3. 次の形式でリクエストを発行します。リクエストボディには、手順 2 で編集したコンシューマーを指定します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/Groups
```

## 関連項目

- 2.6.2 コンシューマーの情報取得
- 2.6.4 コンシューマーの作成

## 1.8.7 ユーザープロファイルを割り当てる

リソース（仮想マシン、ホスト、ボリューム）をユーザープロファイルに割り当てるために使用するリクエストの形式と、リクエストボディに指定する内容について説明します。

## 操作手順

1. 次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/id/actions/updateTargetResource
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

メンバー	変更要否	説明
instanceID	必須	<p>ユーザープロファイルを割り当てる監視対象の ID をリストとして設定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。instanceID=50 の監視対象だけにユーザープロファイルを適用する場合の指定例：</p> <pre>"parameters" : [ { "instanceID" : 50 } ]</pre> <p>すでに instanceID=50 の監視対象に割り当てられているユーザープロファイルに instanceID=51 の監視対象を追加する場合の指定例(割り当てる対象となる ID すべてを連結して指定)：</p> <pre>"parameters" : [ { "instanceID" : 50 }, { "instanceID" : 51 } ]</pre> <p>すべての監視対象から割り当てを解除する場合の指定例(parameters に設定する値を空欄に指定)：</p> <pre>"parameters" : [ ]</pre>

「parameters」のメンバーに指定できる監視対象の ID は、以下の参照先に示す API から取得できます。

ユーザープロファイルのリソース種別	参照先
VM	2.8.1 仮想マシンの一覧の取得
WINDOWS または LINUX_UNIX	2.10.1 ホストの一覧の取得
VOLUME	2.14.1 ボリュームの一覧の取得

## 関連項目

- 2.4.7 ユーザープロファイルの割り当てに必要な情報の取得
- 2.4.8 ユーザープロファイルの割り当て

## 1.8.8 システムプロファイルを割り当てる

リソース（ハイパーバイザー、IP スイッチ、FC スイッチ）をシステムプロファイルに割り当てるために使用するリクエストの形式と、リクエストボディに指定する内容について説明します。

## 操作手順

1. 次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/id/actions/updateTargetResource
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

メンバー	指定可否	説明
instanceID	必須	<p>システムプロファイルを割り当てる監視対象の ID をリストとして設定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も設定に含める必要があります。</p> <p>instanceID=50 の監視対象だけにシステムプロファイルを適用する場合の指定例：</p> <pre>"parameters" : [ { "instanceID" : 50 } ]</pre> <p>すでに instanceID=50 の監視対象に割り当てられているシステムプロファイルに instanceID=51 の監視対象を追加する場合の指定例（割り当てる対象となる ID すべてを連結して指定）：</p> <pre>"parameters" : [ { "instanceID" : 50 } , { "instanceID" : 51 } ]</pre> <p>すべての監視対象から割り当てを解除する場合の指定例（parameters の値を空欄に指定）：</p> <pre>"parameters" : [ ]</pre>

「parameters」のメンバーに指定できる監視対象の ID は以下の参照先に示す API から取得できます。

ユーザープロファイルのリソース種別	参照先
ESX または HYPERV	2.9.1 ハイパーバイザーの一覧の取得
IPSWITCH	2.11.1 IP スイッチの一覧の取得
FCSWITCH	2.12.1 FC スイッチの一覧の取得

## 関連項目

- 2.5.7 システムプロファイルの割り当てに必要な情報の取得
- 2.5.8 システムプロファイルの割り当て

## 1.8.9 イベント情報を CSV 形式で取得する

イベント情報を CSV 出力するために使用する各リクエストの形式と、リクエストボディで指定する内容について説明します。

### 操作手順

1. 次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/services/Events/actions/getEventDataCSV/invoke
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

表 1-21 イベント情報の CSV 取得時に指定できるメンバー

変更するメンバー	変更要否	変更内容
hqlFilter	任意	取得するイベントを絞り込みたい場合に式を指定します。式はパラメータ+演算子+値の順に記載します。式に指定できる値を以下の表に示します。式を and や or で結合することも可能です。
fqlSort	任意	取得するイベントをソートしたい場合に指定します。
page	任意	取得するページ数を指定します。
pageSize	任意	1 ページあたりの取得件数を指定します。

表 1-22 hqlFilter に指定できるパラメータ

パラメータ	演算子	値
status	eq, ne	NOTACK, ACK
level	eq, ne	INFO, WARNING, CRITICAL
category	eq, ne	PERFORMANCE, STATUS, EVENT, SETTING, CANGE

パラメータ	演算子	値
deviceName	eq, ne, starts, ends, contains	任意の文字列
deviceType	eq, ne	Server, Storage, NetworkDevice, Collector
componentName	eq, ne, starts, ends, contains	任意の文字列
componentType	eq, ne	CPU, MEMORY, LAN_PORT, FC_HBA_PORT, [DISK_DRIVE, SCSI_DISK_DRIVE], [STORAGE_CONTROLLER, STORAGE_MPB], STORAGE_FC_PORT, STORAGE_POOL, SOTRAGE_volume, STORAGE_CACHE, VIRTUAL_MACHINE, HYPERVISOR_CLUSTER, STORAGE_DP_POOL
userName	eq, ne, starts, ends, contains	任意の文字列

## 関連項目

- [2.15.2 イベントの一覧を CSV で取得](#)

## 1.8.10 リソースの基本情報および性能情報を CSV 形式で取得する

「対象リソースの基本情報」「対象リソースが持つ、各メトリックの性能情報（最新値）」および「対象リソースが持つ、特定のメトリックの性能情報（時系列）」を CSV 出力するために使用する各リクエストの形式と、リクエストボディで指定する内容について説明します。

### 背景

リソースの基本情報および性能情報は、段階的に取得します。取得の流れは以下のとおりです。

1. リソースの一覧を取得する API を使用して、リソースの ID を取得します。
2. リソース情報を CSV 形式で取得する API を使用して、リソース情報を取得します。リクエストボディには、手順 1 で取得したリソースの ID を指定します。
3. リソースの性能情報（最新値）を CSV 形式で取得する API を使用して、リソースの性能情報（最新値）を取得します。リクエストボディには、手順 1 または手順 2 で取得したリソースの ID を指定します。
4. メトリックの性能情報（時系列）を CSV 形式で取得する API を使用して、メトリックの性能情報（時系列）を取得します。リクエストボディには、手順 3 で取得したメトリックの ID を指定します。

ここでは、ハイパーバイザー 01 のリソースである CPU01 の使用率を取得する例を使って手順を説明します。

## 操作手順

1. ハイパーバイザーの一覧を取得して、CPU01 を持つハイパーバイザー 01 の ID を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
GET http://host:port/Analytics/version/objects/Hypervisors
```

次のとおり出力されたレスポンスボディの中から、ハイパーバイザー 01 の ID が「4」であることを確認します。

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 4,
    "name" : "hyperV",
    ...
  }, ...
}
```

2. ハイパーバイザー 01 の ID をリクエストボディに指定して、ハイパーバイザー 01 の情報を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV/invoke
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

表 1-23 リソースの基本情報の取得時に指定するメンバー

メンバー	指定可否	説明
basePointNodes	必須	nodeID には手順 1 で取得した ID 「4」を、nodeType にはノードの種別を指定します。ノード種別として指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の E2ENodeType の表を参照してください。
getType	必須	基本情報だけを取得する場合は BasicInformation を、関連情報も取得する場合は AllInformation を指定します。CPU やメモリ、NIC など各コンポーネントを取得したい場合は AllInformation を指定します。

次のとおり出力されたレスポンスボディの中から、CPU01 の ID が「4」であることを確認します。

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ {
    "data" : ""#JP1/Operations Analytics", "111000", "UTF-8 (BOM)"#n"#Resource
Information"#n... ", ..., ResourceID, ResourceName, ResourceType, ..., cpu4, CPU01, CPU, ..., vm1, VM
```

```
001, VM, ...
} ]
}
```

3. CPU01 の ID をリクエストボディに指定して、リソースの性能情報（最新値）を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/
getNodeGraphDataCSV/invoke
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

表 1-24 リソースの性能情報（最新値）の取得時に指定するメンバー

メンバー	指定可否	説明
basePointNodes	必須	nodeID には、手順 2 で取得した ID 「4」を、nodeType にはノードの種別を指定します。ノード種別として指定できる値は、「1.6 列挙型一覧」の E2ENodeType の表を参照してください。
baseTime	任意	性能情報を取得する基点の時刻。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。

次のとおり出力されたレスポンスボディの中から、CPU の使用率を示す ID が「2」であることを確認します。

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ {
    "data": "\"#JP1/Operations Analytics\", \"111000\", \"UTF-8 (BOM)\"#n\"#Latest
PerformanceInformation\"#n...\", ..., Performance ID, ..., 1, ..., 2, ..., 3, ...
  } ]
}
```

4. CPU の使用率を示す ID をリクエストボディに指定して、リソースの性能情報（時系列）を取得します。次の形式でリクエストを発行します。

```
POST http://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/
getNodeGraphDataCSV/invoke
```

リクエストボディの中で「parameters」のメンバーとして指定するオブジェクトは次のとおりです。

表 1-25 リソースの性能情報（時系列）の取得時に指定するメンバー

メンバー	指定可否	説明
perfComponentIDs	必須	perfComponentIDs には手順 3 で取得した ID 「2」を指定します。
baseTime	任意	性能情報を取得する基点の時刻。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。
pointTimeRange	必須	性能情報を取得する期間（ミリ秒）を指定します。

## 操作結果

手順 2 で「対象リソースの基本情報」、手順 3 で「対象リソースが持つ、各メトリックの性能情報（最新値）」、手順 4 で「対象リソースが持つ、特定のメトリックの性能情報（時系列）」が CSV 形式で取得できます。

## 関連項目

- [2.9.1 ハイパーバイザーの一覧の取得](#)
- [2.16.2 指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得](#)
- [2.17.4 指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得](#)
- [2.17.2 指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得](#)

# 2

## API 一覧

この章では、JP1/OA が提供している各 API について説明します。

## 2.1 認証情報に関する API 一覧

JP1/OA が監視対象のリソースへの接続に使用する認証情報の操作を説明します。

### 2.1.1 認証情報の一覧の取得

JP1/OA が監視対象のリソースへの接続に使用する認証情報の一覧を取得します。

#### 権限

Admin

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Credentials
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Credential のコレクション。Credential の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Credential

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyProtocol": "...",
  "numOfRelatedResources": "...
}

```

## Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。)以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>

属性	データ型	説明
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合, "username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスワードは必要ない。</li> <li>・ false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」, 「SMI-S WBEM」, 「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:SSLを使用する。</li> <li>・ false:SSLを使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ V1_V2C</li> <li>・ V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:認証を有効にする。</li> <li>・ false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MD5</li> <li>・ SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。

属性	データ型	説明
privacyEnabled	boolean	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: プライバシーを有効にする。</li> <li>・ false: プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DES</li> <li>・ AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```

[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Credentials HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:49 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
1d392a3baad40eab4e3a05ad6e71e3a1fcd577_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

```

```
[Response Body]
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 5,
    "name" : "smis",
    "credentialType" : "WBEM",
    "userId" : "smis",
    "portNumber" : 5989,
    "ssl" : true,
    "namespace" : "root/smis/current",
    "numOfRelatedResources" : 0
  }, {
    "instanceID" : 4,
    "name" : "snmpv3",
    "credentialType" : "SNMP",
    "userId" : "snmp",
    "portNumber" : 161,
    "community" : "",
    "snmpVersion" : "V3",
    "userName" : "snmp",
    "authenticationEnabled" : true,
    "authenticationProtocol" : "MD5",
    "privacyEnabled" : true,
    "privacyProtocol" : "DES",
    "numOfRelatedResources" : 0
  }, {
    "instanceID" : 3,
    "name" : "snmpv1",
    "credentialType" : "SNMP",
    "portNumber" : 161,
    "community" : "public",
    "snmpVersion" : "V1_V2C",
    "numOfRelatedResources" : 0
  }, {
    "instanceID" : 2,
    "name" : "ssh",
    "credentialType" : "SSH",
    "userId" : "ssh",
    "portNumber" : 22,
    "numOfRelatedResources" : 0
  }, {
    "instanceID" : 1,
    "name" : "wmi",
    "credentialType" : "WMI",
    "userId" : "wmi",
    "domainname" : "workspace",
    "numOfRelatedResources" : 0
  } ],
  "count" : 5
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.1.2 認証情報の情報取得

指定した認証情報を取得します。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Credentials/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

#### Credential

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyProtocol": "...",
  "numOfRelatedResources": "...
}
```

#### Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。)以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合, "username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」,「SMI-S WBEM」,「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSLを使用する。</li> <li>• false:SSLを使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。)以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。

属性	データ型	説明
authenticationProtocol	enum	<p>認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	<p>プライバシーを有効にするかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: プライバシーを有効にする。</li> <li>• false: プライバシーを無効にする。</li> </ul> <p>省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p>
privacyProtocol	enum	<p>プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の PrivacyProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Credentials/1 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:19:44 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 c0e8bc66dc88c9cd2bc76bb834cbc281e5358_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "instanceID" : 1,
  "name" : "aaa",
  "credentialType" : "WMI",
  "userId" : "aaaa",
  "domainname" : "hogeHoge",
  "numOfRelatedResources" : 0
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

### 2.1.3 認証情報の作成

認証情報を新規に作成します。

#### 権限

Admin

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Credentials
```

#### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```

{
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "password": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "rootPassword": "...",
  "updatePassword": "...",
  "updateRootPassword": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationPassphrase": "...",
  "updateAuthenticationPassphrase": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyPassphrase": "...",
  "updatePrivacyPassphrase": "...",
  "privacyProtocol": "..."
}

```

## Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、「username」メンバーの値が設定されます。
password	string	認証時に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。更新する場合は、updatePassword に true を指定します。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
rootPassword	string	認証時に使用する root パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。更新する場合は、updateRootPassword に true を指定します。
updatePassword	boolean	パスワード(password)を変更するかどうか。 ・ true:パスワードの変更を行う。 ・ false:パスワードの変更を行わない。 省略時は false が指定されます。
updateRootPassword	boolean	root パスワード(rootPassword)を変更するかどうか。 ・ true:パスワードの変更を行う。 ・ false:パスワードの変更を行わない。 省略時は false が指定されます。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 ・ true:SSL を使用する。 ・ false:SSL を使用する。 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 ・ V1_V2C ・ V3
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 ・ true:認証を有効にする。 ・ false:認証を無効にする。 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationPassphrase	string	認証パスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updateAuthenticationPassphrase に true を指定します。

属性	データ型	説明
updateAuthenticationPassphrase	boolean	<p>認証パスフレーズを変更するかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:認証パスフレーズの変更を行う。</li> <li>・ false:認証パスフレーズの変更を行わない。</li> </ul> <p>省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p>
authenticationProtocol	enum	<p>認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	<p>プライバシーを有効にするかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:プライバシーを有効にする。</li> <li>・ false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> <p>省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p>
privacyPassphrase	string	<p>プライバシーのためのパスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updatePrivacyPassphrase に true を指定します。</p>
updatePrivacyPassphrase	boolean	<p>プライバシーのためのパスフレーズを変更するかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスフレーズを変更する。</li> <li>・ false:パスフレーズを変更しない。</li> </ul> <p>省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p>
privacyProtocol	enum	<p>プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の PrivacyProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Credential

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
}
```

```

    "portNumber": "...",
    "ssl": "...",
    "domainname": "...",
    "namespace": "...",
    "community": "...",
    "snmpVersion": "...",
    "userName": "...",
    "authenticationEnabled": "...",
    "authenticationProtocol": "...",
    "privacyEnabled": "...",
    "privacyProtocol": "...",
    "numOfRelatedResources": "...
}

```

## Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合, "username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」, 「SMI-S WBEM」, 「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSL を使用する。</li> <li>• false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	作成権限がない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Credentials HTTP/1.1
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=

[Request Body]
{
  "name": "windows-001",
  "credentialType": "WMI",
  "userId": "admin",
  "password": "cGFzc3dvcmQ=",
  "passwordNotRequired": "false",
  "domainname": ""
}

[Response Header]
HTTP/1.1 201 Created
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:25:35 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSSO
492298acc985fe9bf3099a9ca1e52548c6c8cdb_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Credentials/7
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
  "instanceID" : 7,
  "name" : "windows-001",
  "credentialType" : "WMI",
  "userId" : "admin",
  "passwordNotRequired" : false,
  "domainname" : "",
  "numOfRelatedResources" : 0
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

### 2.1.4 認証情報の更新

指定した認証情報に含まれるユーザー ID とパスワードの更新を行います。

#### 権限

Admin

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Credentials/{id}
```

#### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```
{
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "password": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "rootPassword": "...",
  "updatePassword": "...",
  "updateRootPassword": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationPassphrase": "...",
  "updateAuthenticationPassphrase": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyPassphrase": "...",
  "updatePrivacyPassphrase": "...",
}
```

```

    "privacyProtocol": "...
}

```

## Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、「username」メンバーの値が設定されます。
password	string	認証時に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。更新する場合は、updatePassword に true を指定します。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。
rootPassword	string	認証時に使用する root パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。更新する場合は、updateRootPassword に true を指定します。
updatePassword	boolean	パスワード(password)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。
updateRootPassword	boolean	root パスワード(rootPassword)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSL を使用する。</li> <li>• false:SSL を使用する。</li> </ul>

属性	データ型	説明
ssl	boolean	省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationPassphrase	string	認証パスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updateAuthenticationPassphrase に true を指定します。
updateAuthenticationPassphrase	boolean	認証パスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証パスフレーズの変更を行う。</li> <li>• false:認証パスフレーズの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。

属性	データ型	説明
privacyPassphrase	string	プライバシーのためのパスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updatePrivacyPassphrase に true を指定します。
updatePrivacyPassphrase	boolean	プライバシーのためのパスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスフレーズを変更する。</li> <li>・ false:パスフレーズを変更しない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Credential

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyProtocol": "...",
  "numOfRelatedResources": "...
}

```

### Credential (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称

属性	データ型	説明
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、「username」メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSLを使用する。</li> <li>• false:SSLを使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。

属性	データ型	説明
authenticationProtocol	enum	<p>認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「列挙型一覧」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	<p>プライバシーを有効にするかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: プライバシーを有効にする。</li> <li>• false: プライバシーを無効にする。</li> </ul> <p>省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p>
privacyProtocol	enum	<p>プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「列挙型一覧」の PrivacyProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
PUT /Analytics/v1/objects/Credentials/13 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
```

```
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 256
```

[Request Body]

```
{
  "instanceID" : 13,
  "name" : "WindowsMonitoring",
  "credentialType" : "WMI",
  "userId" : "Administrator",
  "passwordNotRequired" : false,
  "updatePassword" : true,
  "password" : "c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=",
  "domainname" : "domain",
  "numOfRelatedResources" : 0
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:42:45 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 4afe674fe8a4e569aa824d8786b0ac5b53e4a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : 13,
  "name" : "WindowsMonitoring",
  "credentialType" : "WMI",
  "userId" : "Administrator",
  "passwordNotRequired" : false,
  "domainname" : "domain",
  "numOfRelatedResources" : 0
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.1.5 認証情報の削除

指定した認証情報を削除します。

## 権限

Admin

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Credentials/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
DELETE http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Credentials/7 HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=

[Response Header]
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:26:30 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
```

```
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSSO
7d842f5055c8b12c777296e3cd4f756ace9b528_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.2 管理対象探索に関する API 一覧

管理対象探索設定の操作を説明します。

### 2.2.1 探索範囲の一覧の取得

JP1/OA が監視対象の探索で使用する探索範囲の一覧を取得します。

#### 権限

Admin

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	IPAddrRange のコレクション。IPAddrRange の詳細は以下の表を参照ください。

属性	データ型	説明
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### IPAddrRange

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
  "useAllCredential": "...",
  "selectedCredentials": [{
    "instanceID": "...",
    "name": "...",
    "credentialType": "...",
    "userId": "...",
    "passwordNotRequired": "...",
    "portNumber": "...",
    "ssl": "...",
    "domainname": "...",
    "namespace": "...",
    "community": "...",
    "snmpVersion": "...",
    "userName": "...",
    "authenticationEnabled": "...",
    "authenticationProtocol": "...",
    "privacyEnabled": "...",
    "privacyProtocol": "...",
    "numOfRelatedResources": "...
  }],
  "deviceClassificationLabel": "...
}

```

### IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの 0 番目に探索開始 IP アドレス、リストの 1 番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

### selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、"username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスワードは必要ない。</li> <li>・ false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:SSL を使用する。</li> <li>・ false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges/ HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Wed, 07 Dec 2016 09:58:26 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
2d4c182d7464f34a4e9bc256db5f543f66efac9e_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
Content-Length: 242
```

### [Response Body]

```
{
  "data": [ {
    "instanceID": 0,
    "name": "IP Range-0",
    "ipAddrRange": [ "255.255.255.0", "255.255.255.0" ],
    "usePing": true,
    "useAllCredential": false,
    "selectedCredentials": [ ]
  } ,
  {
    "instanceID": 1,
    "name": "IP Range-1",
    "ipAddrRange": [ "192.168.1.0", "192.168.1.254" ],
    "usePing": true,
    "useAllCredential": false,
    "selectedCredentials": [
      {
        "instanceID": 3,
```

```
        "name": "WMI2_Cloud",
        "credentialType": "WMI",
        "userId": "Administrator",
        "passwordNotRequired": false,
        "domainname": "",
        "numOfRelatedResources": 3
    }
  ],
  "deviceClassificationLabel": "Cloud Env"
}],
"count" : 2
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.2.2 探索範囲の情報取得

指定した探索範囲を取得します。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddrRange

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
```

```

    "useAllCredential": "...",
    "selectedCredentials": [{
      "instanceID": "...",
      "name": "...",
      "credentialType": "...",
      "userId": "...",
      "passwordNotRequired": "...",
      "portNumber": "...",
      "ssl": "...",
      "domainname": "...",
      "namespace": "...",
      "community": "...",
      "snmpVersion": "...",
      "userName": "...",
      "authenticationEnabled": "...",
      "authenticationProtocol": "...",
      "privacyEnabled": "...",
      "privacyProtocol": "...",
      "numOfRelatedResources": "...
    },
    :
  ],
  "deviceClassificationLabel": "...
}

```

## IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの 0 番目に探索開始 IP アドレス、リストの 1 番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

## selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。

属性	データ型	説明
credentialType	enum	(指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合, "username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」,「SMI-S WBEM」,「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSL を使用する。</li> <li>• false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。

属性	データ型	説明
authenticationProtocol	enum	(指定可能な値は「列挙型一覧」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true: プライバシーを有効にする。</li> <li>• false: プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges/50 HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:02:50 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
```

```
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
684796b49f478df4995ed24766979cff90f05ea9_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "instanceID" : 50,
  "name" : "IP Addr Range 01",
  "ipAddrRange" : [ "192.168.0.110", "192.168.0.118" ],
  "usePing" : true,
  "useAllCredential" : false,
  "selectedCredentials" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.2.3 探索範囲の作成

探索範囲を新規に作成します。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddrRange

```
{
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
```

```

"useAllCredential": "...",
"selectedCredentials": [{
  "name": "...",
  "credentialType": "...",
  "userId": "...",
  "password": "...",
  "passwordNotRequired": "...",
  "portNumber": "...",
  "rootPassword": "...",
  "updatePassword": "...",
  "updateRootPassword": "...",
  "ssl": "...",
  "domainname": "...",
  "namespace": "...",
  "community": "...",
  "snmpVersion": "...",
  "userName": "...",
  "authenticationEnabled": "...",
  "authenticationPassphrase": "...",
  "updateAuthenticationPassphrase": "...",
  "authenticationProtocol": "...",
  "privacyEnabled": "...",
  "privacyPassphrase": "...",
  "updatePrivacyPassphrase": "...",
  "privacyProtocol": "...
}],
:
],
"deviceClassificationLabel": "...
}

```

## IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの 0 番目に探索開始 IP アドレス、リストの 1 番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

## selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
name	string	認証情報の名称

属性	データ型	説明
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、「username」メンバーの値が設定されます。
password	string	認証時に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。更新する場合は、updatePassword に true を指定します。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」、「SMI-S WBEM」、「SNMP」の場合のみ設定されます。
rootPassword	string	認証時に使用する root パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。更新する場合は、updateRootPassword に true を指定します。
updatePassword	boolean	パスワード(password)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。
updateRootPassword	boolean	root パスワード(rootPassword)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSL を使用する。</li> <li>• false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationPassphrase	string	認証パスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updateAuthenticationPassphrase に true を指定します。
updateAuthenticationPassphrase	boolean	認証パスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証パスフレーズの変更を行う。</li> <li>• false:認証パスフレーズの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyPassphrase	string	プライバシーのためのパスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updatePrivacyPassphrase に true を指定します。
updatePrivacyPassphrase	boolean	プライバシーのためのパスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスフレーズを変更する。</li> </ul>

属性	データ型	説明
updatePrivacyPassphrase	boolean	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ false: パスフレーズを変更しない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DES</li> <li>・ AES128</li> </ul>

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### IPAddrRange

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
  "useAllCredential": "...",
  "selectedCredentials": [{
    "instanceID": "...",
    "name": "...",
    "credentialType": "...",
    "userId": "...",
    "passwordNotRequired": "...",
    "portNumber": "...",
    "ssl": "...",
    "domainname": "...",
    "namespace": "...",
    "community": "...",
    "snmpVersion": "...",
    "userName": "...",
    "authenticationEnabled": "...",
    "authenticationProtocol": "...",
    "privacyEnabled": "...",
    "privacyProtocol": "...",
    "numOfRelatedResources": "..."
  }],
  "deviceClassificationLabel": "..."
}

```

### IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの0番目に探索開始 IP アドレス、リストの1番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

### selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。)以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、"username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスワードは必要ない。</li> <li>・ false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」,「SMI-S WBEM」,「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:SSL を使用する。</li> <li>・ false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges/ HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
```

### [Request Body]

```
{
  "name": "IP Addr Range 03",
  "ipAddrRange": ["192.168.1.0", "192.168.1.110"],
  "usePing": false,
  "useAllCredential": false,
  "selectedCredentials": [
    {"instanceID": 14, "name": "ssh_dev_env"}
  ],
  "deviceClassificationLabel": "Linux Development Env"
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 201 Created
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:01:12 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
6e512042356e389d5b981969d46d963c5ef24a_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges//50
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
```

```
"instanceID" : 3,
"name" : "IP Addr Range 03",
"ipAddrRange" : [ "192.168.1.0", "192.168.1.110" ],
"usePing" : false,
"useAllCredential" : false,
"selectedCredentials" : [ {
  "instanceID" : 14,
  "name" : "ssh_dev_env",
  "credentialType" : "SSH",
  "userId" : "root",
  "portNumber" : 22,
  "numOfRelatedResources" : 2
} ],
"deviceClassificationLabel" : "Linux Development Env"
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.2.4 探索範囲の更新

指定した探索範囲の更新を行います。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddrRange

```
{
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
  "useAllCredential": "...",
  "selectedCredentials": [{
```

```

    "name": "...",
    "credentialType": "...",
    "userId": "...",
    "password": "...",
    "passwordNotRequired": "...",
    "portNumber": "...",
    "rootPassword": "...",
    "updatePassword": "...",
    "updateRootPassword": "...",
    "ssl": "...",
    "domainname": "...",
    "namespace": "...",
    "community": "...",
    "snmpVersion": "...",
    "userName": "...",
    "authenticationEnabled": "...",
    "authenticationPassphrase": "...",
    "updateAuthenticationPassphrase": "...",
    "authenticationProtocol": "...",
    "privacyEnabled": "...",
    "privacyPassphrase": "...",
    "updatePrivacyPassphrase": "...",
    "privacyProtocol": "...",
  },
  :
],
"deviceClassificationLabel": "...",
}

```

## IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの 0 番目に探索開始 IP アドレス、リストの 1 番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

## selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。

属性	データ型	説明
credentialType	enum	(指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合, "username"メンバーの値が設定されます。
password	string	認証時に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。更新する場合は、updatePassword に true を指定します。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードは必要ない。</li> <li>• false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」, 「SMI-S WBEM」, 「SNMP」の場合のみ設定されます。
rootPassword	string	認証時に使用する root パスワード。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。更新する場合は、updateRootPassword に true を指定します。
updatePassword	boolean	パスワード(password)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。
updateRootPassword	boolean	root パスワード(rootPassword)を変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスワードの変更を行う。</li> <li>• false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。 監視対象への接続に「ssh」を使用する場合のみ有効です。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:SSL を使用する。</li> <li>• false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationPassphrase	string	認証パスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updateAuthenticationPassphrase に true を指定します。
updateAuthenticationPassphrase	boolean	認証パスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証パスフレーズの変更を行う。</li> <li>• false:認証パスフレーズの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyPassphrase	string	プライバシーのためのパスフレーズ。255byte 以下の文字列を Base64 にエンコードして指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。更新する場合は、updatePrivacyPassphrase に true を指定します。
updatePrivacyPassphrase	boolean	プライバシーのためのパスフレーズを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:パスフレーズを変更する。</li> <li>• false:パスフレーズを変更しない。</li> </ul>

属性	データ型	説明
updatePrivacyPassphrase	boolean	省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	<p>プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。</p> <p>(指定可能な値は「列挙型一覧」の PrivacyProtocol の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### IPAddrRange

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddrRange": ["...", ...],
  "usePing": "...",
  "useAllCredential": "...",
  "selectedCredentials": [{
    "instanceID": "...",
    "name": "...",
    "credentialType": "...",
    "userId": "...",
    "passwordNotRequired": "...",
    "portNumber": "...",
    "ssl": "...",
    "domainname": "...",
    "namespace": "...",
    "community": "...",
    "snmpVersion": "...",
    "userName": "...",
    "authenticationEnabled": "...",
    "authenticationProtocol": "...",
    "privacyEnabled": "...",
    "privacyProtocol": "...",
    "numOfRelatedResources": "...
  },
  :
  ],
  "deviceClassificationLabel": "...
}

```

### IPAddrRange (Type: IPAddrRange)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	探索範囲の名称
ipAddrRange	string[]	探索範囲を指定します。リストの0番目に探索開始 IP アドレス、リストの1番目に探索終了 IP アドレスが設定されます。
usePing	boolean	探索実行時に、対象機器に対して ping を実施するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true: ping を使用します。</li> <li>・ false: ping を使用しません</li> </ul>
useAllCredential	boolean	すべての Credential を使用するかどうかのフラグ。"すべて"の Credential を使用する場合は true を指定します。
selectedCredentials	Credential[]	探索に使用する認証情報のリスト
deviceClassificationLabel	string	機器に割り当てられた分類ラベル

### selectedCredentials (Type: Credential)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	認証情報の名称
credentialType	enum	監視対象への接続に使用するプロトコル。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> <li>• WBEM</li> <li>• SNMP</li> </ul>
userId	string	認証時に指定するユーザー ID。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合、"username"メンバーの値が設定されます。
passwordNotRequired	boolean	認証時にパスワードを必要とするかどうか。省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスワードは必要ない。</li> <li>・ false:パスワードが必要である。</li> </ul>
portNumber	int	ポート番号。監視対象への接続に使用するプロトコルが「ssh」,「SMI-S WBEM」,「SNMP」の場合のみ設定されます。
ssl	boolean	監視対象への接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:SSL を使用する。</li> <li>・ false:SSL を使用する。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ有効です。
domainname	string	ドメイン名。監視対象への接続に「WMI」を使用する場合のみ設定されます。

属性	データ型	説明
namespace	string	ネームスペース。監視対象への接続に「SMI-S WBEM」を使用する場合のみ設定されます。
community	string	コミュニティ名。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。
snmpVersion	enum	SNMP のバージョン。監視対象への接続に「SNMP」を使用する場合のみ設定されます。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の SnmpVersion の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
userName	string	認証時に使用するユーザー名。64 文字以下の文字列を指定します。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationEnabled	boolean	SMTP 認証を行うかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:認証を有効にする。</li> <li>• false:認証を無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
authenticationProtocol	enum	認証用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AuthenticationProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• MD5</li> <li>• SHA1</li> </ul>
privacyEnabled	boolean	プライバシーを有効にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true:プライバシーを有効にする。</li> <li>• false:プライバシーを無効にする。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。
privacyProtocol	enum	プライバシー用のプロトコル。監視対象への接続に「SNMP v3」を使用する場合のみ指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の PrivacyProtocol の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DES</li> <li>• AES128</li> </ul>
numOfRelatedResources	int	認証情報を用いて発見されたリソースの数。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
PUT http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges/50 HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "IP Addr Range 01",
  "ipAddrRange" : [ "192.168.0.110", "192.168.0.210" ],
  "usePing" : false,
  "useAllCredential" : true,
  "selectedCredentials" : [ ],
  "deviceClassificationLabel": "Hitachi Cloud"
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:03:58 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
1d392a3baad40eab4e3a05ad6e71e3a1fcd577_VLo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 50,
```

```
"name" : "IP Addr Range 01",
"ipAddrRange" : [ "192.168.0.110", "192.168.0.210" ],
"usePing" : false,
"useAllCredential" : true
"deviceClassificationLabel": "Hitachi Cloud"
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.2.5 探索範囲の削除

指定した探索範囲を削除します。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IpAddrRanges/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

### ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
DELETE http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/IpAddrRanges/50 HTTP/1.1
Host: localhost:22015
User-Agent: curl/7.33.0
Accept: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:13:58 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 f1f0fb1a6ac21a0695f6536ba8950b641c263a4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Content-Type: application/json
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.3 コレクターに関する API 一覧

JP1/OA が管理ソフトウェアの接続に使用するコレクターの操作を説明します。

### 2.3.1 コレクターの一覧の取得

JP1/OA が管理ソフトウェアの接続に使用するコレクターの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Collectors
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Collector のコレクション。Collector の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Collector

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "connectResult": "...",
  "refreshStatus": "...",
  "message": "...",
  "lastRefreshed": "...",
  "refreshDateForInventory": "...",
  "refreshDateForPerformance": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfVms": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "collectorCredentials": [{
    "ipAddress": "...",
    "userId": "...",
    "portNumber": "...",
    "hypertextTransferProtocolType": "...",
    "domainName": "...",
    "useAdministrativeShares": "...",
    "shareName": "...",
    "sharedFolder": "...",
    "logicalHostName": "...",
    "useLogicalHostName": "...
  }],
  "productName": "...",
  "providerName": "...",
  "refreshDateForApp": "...
}
```

## Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	コレクターの名称
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」、「PFM」、「IM」の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
connectResult	enum	コレクターの最新の実行結果 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>Succeeded</li> <li>Failed</li> </ul>
refreshStatus	enum	コレクターの実行状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>InProgress</li> </ul>
message	string	コレクターの実行結果のメッセージ
lastRefreshed	dateTime	最終リフレッシュ日時
refreshDateForInventory	dateTime	構成情報のリフレッシュ日時
refreshDateForPerformance	dateTime	性能情報のリフレッシュ日時
numOfHypervisors	int	コレクターにより発見されたハイパーバイザーの数
numOfVms	int	コレクターにより発見された仮想マシンの数

属性	データ型	説明
numOfApplications	int	コレクターにより発見されたアプリケーションの数
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報
productName	string	収集対象製品名
providerName	string	コレクター作成者
refreshDateForApp	dateTime	定義反映日時

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HTTP</li> <li>• HTTPS</li> </ul>
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Collectors HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:49 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 b9719717b548c1da1798ed5a2b2c22dbda7f40cd_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 0,
    "name" : "192.168.0.115",
    "collectorType" : "VCENTER",
    "autoCollectionType" : "AutoConnect",
    "connectResult" : "Succeeded",
    "refreshStatus" : "NoConnect",
    "lastRefreshed" : "2015-11-27T14:17:09.160+09:00",
    "refreshDateForInventory" : "2015-11-27T13:25:03.943+09:00",
    "refreshDateForPerformance" : "2015-11-27T14:17:09.160+09:00",
    "numOfHypervisors" : 2,
    "numOfVms" : 27,
    "numOfStorages" : 0,
    "collectorCredentials" : [ {
      "ipAddress" : "192.168.0.115",
      "userId" : "Administrator",
      "portNumber" : 443,
      "hypertextTransferProtocolType" : "HTTPS"
    } ]
  } ],
  {
    "instanceID": 1,
    "name": "jp1ajs_v11",
    "collectorType": "AJS",
    "osType": "Windows",
    "autoCollectionType": "AutoConnect",
    "connectResult": "Succeeded",
    "refreshStatus": "NoConnect",
    "lastRefreshed": "2017-09-26T00:46:59.296+09:00",
    "refreshDateForInventory": "2017-09-26T00:46:59.296+09:00",
    "numOfHypervisors": 0,
    "numOfVms": 0,
  }
}
```

```
"numOfStorages": 0,
"numOfApplications": 12,
"collectorCredentials":
[
  {
    "ipAddress": "192.168.1.118",
    "userId": "administrator",
    "domainName": "",
    "useAdministrativeShares": true,
    "useLogicalHostName": false
  }
],
{
  "instanceID": 3,
  "name": "customCollector",
  "collectorType": "CUSTOM_APP",
  "autoCollectionType": "AutoConnect",
  "connectResult": "Succeeded",
  "refreshStatus": "NoConnect",
  "lastRefreshed": "2017-09-26T10:15:26.991+09:00",
  "refreshDateForInventory": "2017-09-26T10:15:26.991+09:00",
  "numOfHypervisors": 0,
  "numOfVms": 0,
  "numOfStorages": 0,
  "numOfApplications": 10,
  "productName": "User Product",
  "providerName": "XXYY System",
  "refreshDateForApp": "2017-08-04T12:10:00.775+09:00"
}
],
"count" : 3
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.3.2 コレクターの情報取得

指定したコレクターの情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Collectors/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collector

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "connectResult": "...",
  "refreshStatus": "...",
  "message": "...",
  "lastRefreshed": "...",
  "refreshDateForInventory": "...",
  "refreshDateForPerformance": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfVms": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "collectorCredentials": [{
    "ipAddress": "...",
    "userId": "...",
    "portNumber": "...",
    "hypertextTransferProtocolType": "...",
    "domainName": "...",
    "useAdministrativeShares": "...",
    "shareName": "...",
    "sharedFolder": "...",
    "logicalHostName": "...",
    "useLogicalHostName": "...
  }],
  :
  ],
  "productName": "...",
  "providerName": "...",
  "refreshDateForApp": "...
}
```

### Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	コレクターの名称
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」、「PFM」、「IM」の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
connectResult	enum	コレクターの最新の実行結果 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>Succeeded</li> <li>Failed</li> </ul>
refreshStatus	enum	コレクターの実行状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>InProgress</li> </ul>
message	string	コレクターの実行結果のメッセージ
lastRefreshed	dateTime	最終リフレッシュ日時
refreshDateForInventory	dateTime	構成情報のリフレッシュ日時
refreshDateForPerformance	dateTime	性能情報のリフレッシュ日時
numOfHypervisors	int	コレクターにより発見されたハイパーバイザーの数
numOfVms	int	コレクターにより発見された仮想マシンの数
numOfApplications	int	コレクターにより発見されたアプリケーションの数

属性	データ型	説明
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報
productName	string	収集対象製品名
providerName	string	コレクター作成者
refreshDateForApp	dateTime	定義反映日時

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HTTP</li> <li>• HTTPS</li> </ul>
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Collectors/0 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:19:44 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 d81476c07bc464b6d3c785f80b0b87eb0549f62_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 0,
  "name" : "172.17.17.115",
  "collectorType" : "VCENTER",
  "autoCollectionType" : "AutoConnect",
  "connectResult" : "Succeeded",
  "refreshStatus" : "NoConnect",
  "lastRefreshed" : "2015-11-27T16:18:41.710+09:00",
  "refreshDateForInventory" : "2015-11-27T15:25:04.098+09:00",
  "refreshDateForPerformance" : "2015-11-27T16:18:41.710+09:00",
  "numOfHypervisors" : 2,
  "numOfVms" : 27,
  "numOfStorages" : 0,
  "collectorCredentials" : [ {
    "ipAddress" : "172.17.17.115",
    "userId" : "Administrator",
    "portNumber" : 443,
    "hypertextTransferProtocolType" : "HTTPS"
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.3.3 コレクターの作成

コレクターを新規に作成します。ただし、任意のアプリケーションのコレクターは作成できません。

### 権限

Admin

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Collectors
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collector

```
{
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "collectorCredentials": [{
    "ipAddress": "...",
    "userId": "...",
    "password": "...",
    "updatePassword": "...",
    "portNumber": "...",
    "hypertextTransferProtocolType": "...",
    "domainName": "...",
    "rootPassword": "...",
    "updateRootPassword": "...",
    "useAdministrativeShares": "...",
    "shareName": "...",
    "sharedFolder": "...",
    "logicalHostName": "...",
    "useLogicalHostName": "...
  }],
  :
]
```

Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
name	string	コレクターの名称

属性	データ型	説明
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」, 「PFM」, 「IM」 の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。
password	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 でエンコードして指定します。
updatePassword	boolean	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワードを変更するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:パスワードの変更を行う。</li> <li>・ false:パスワードの変更を行わない。</li> </ul> 省略時は false が指定されます。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>HTTP</li> <li>HTTPS</li> </ul>
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。

属性	データ型	説明
rootPassword	string	root パスワード。アプリケーション連携で Unix 選択時に使用。
updateRootPassword	boolean	パスワードを変更する場合に true を設定する。更新時のみ使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collector

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "connectResult": "...",
  "refreshStatus": "...",
  "message": "...",
  "lastRefreshed": "...",
  "refreshDateForInventory": "...",
  "refreshDateForPerformance": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfVms": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "collectorCredentials": [{
    "ipAddress": "...",
    "userId": "...",
    "portNumber": "...",
    "hypertextTransferProtocolType": "...",
    "domainName": "...",
    "useAdministrativeShares": "...",
    "shareName": "...",
    "sharedFolder": "...",
    "logicalHostName": "...",
    "useLogicalHostName": "...
  }],
  "productName": "...",
  "providerName": "...",
  "refreshDateForApp": "...
}
```

### Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	コレクターの名称
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」、「PFM」、「IM」の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
connectResult	enum	コレクターの最新の実行結果 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>Succeeded</li> <li>Failed</li> </ul>
refreshStatus	enum	コレクターの実行状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>InProgress</li> </ul>
message	string	コレクターの実行結果のメッセージ
lastRefreshed	dateTime	最終リフレッシュ日時
refreshDateForInventory	dateTime	構成情報のリフレッシュ日時
refreshDateForPerformance	dateTime	性能情報のリフレッシュ日時
numOfHypervisors	int	コレクターにより発見されたハイパーバイザーの数
numOfVms	int	コレクターにより発見された仮想マシンの数

属性	データ型	説明
numOfApplications	int	コレクターにより発見されたアプリケーションの数
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報
productName	string	収集対象製品名
providerName	string	コレクター作成者
refreshDateForApp	dateTime	定義反映日時

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HTTP</li> <li>• HTTPS</li> </ul>
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リクエストボディ形式不正</li> <li>• リクエスト不正</li> </ul>
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	作成権限がない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/objects/Collectors HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 236
```

### [Request Body]

```
{
  "name": "test Collector",
  "autoCollectionType": "AutoConnect",
  "collectorType": "VCENTER",
  "collectorCredentials": [
    {
      "ipAddress": "172.17.17.113",
      "userId": "test",
      "password": "dGVzdA==",
      "portNumber": 443,
      "hypertextTransferProtocolType": "HTTPS"
    }
  ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 201 Created
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:23:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 bfb7bb1ac5122d4e95bddc86cfb215f4c04715_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Collectors/13
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 13,
  "name" : "vCenter_71",
  "collectorType" : "VCENTER",
  "autoCollectionType" : "AutoConnect",
  "connectResult" : "Succeeded",
  "refreshStatus" : "NoConnect",
  "lastRefreshed" : "2016-11-21T17:17:59.926+09:00",
  "refreshDateForInventory" : "2016-11-21T16:52:03.271+09:00",
```

```
"refreshDateForPerformance" : "2016-11-21T17:17:59.926+09:00",
"numOfHypervisors" : 3,
"numOfVms" : 33,
"numOfStorages" : 0,
"numOfApplications" : 0,
"collectorCredentials" : [ {
  "ipAddress" : "172.25.73.71",
  "userId" : "administrator@vsphere.local",
  "portNumber" : 443,
  "hypertextTransferProtocolType" : "HTTPS"
} ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

### 2.3.4 コレクターの更新

指定したコレクターに含まれるユーザー ID とパスワードの更新を行います。ただし、任意のアプリケーションのコレクターは更新できません。

#### 権限

Admin

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Collectors/{id}
```

#### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collector

```
{
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "collectorCredentials": [{
    "ipAddress": "...",
    "userId": "...",
  }
}
```

```

    "password": "...",
    "updatePassword": "...",
    "portNumber": "...",
    "hyperTextTransferProtocolType": "...",
    "domainName": "...",
    "rootPassword": "...",
    "updateRootPassword": "...",
    "useAdministrativeShares": "...",
    "shareName": "...",
    "sharedFolder": "...",
    "logicalHostName": "...",
    "useLogicalHostName": "...",
  },
  :
]
}

```

## Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
name	string	コレクターの名称
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」, 「PFM」, 「IM」 の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。

属性	データ型	説明
password	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワード。255byte 以下の文字列を Base64 でエンコードして指定します。
updatePassword	boolean	管理ソフトウェアへの接続に使用するパスワードを変更するかどうか。 ・ true:パスワードの変更を行う。 ・ false:パスワードの変更を行わない。 省略時は false が指定されます。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 ・ HTTP ・ HTTPS
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。
rootPassword	string	root パスワード。アプリケーション連携で Unix 選択時に使用。
updateRootPassword	boolean	パスワードを変更する場合に true を設定する。更新時のみ使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collector

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "collectorType": "...",
  "osType": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "connectResult": "...",
  "refreshStatus": "...",
  "message": "...",
  "lastRefreshed": "...",
  "refreshDateForInventory": "...",
  "refreshDateForPerformance": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfVms": "...",
  "numOfApplications": "...",
}
```

```

"collectorCredentials": [{
  "ipAddress": "...",
  "userId": "...",
  "portNumber": "...",
  "hyperTextTransferProtocolType": "...",
  "domainName": "...",
  "useAdministrativeShares": "...",
  "shareName": "...",
  "sharedFolder": "...",
  "logicalHostName": "...",
  "useLogicalHostName": "...
}],
:
],
"productName": "...",
"providerName": "...",
"refreshDateForApp": "...
}

```

## Collector (Type: Collector)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	コレクターの名称
collectorType	enum	コレクターの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VCENTER</li> <li>AJS</li> <li>PFM</li> <li>IM</li> </ul>
osType	enum	コレクターの OS 種別。コレクターの種別(collectorType)が「AJS」, 「PFM」, 「IM」 の場合のみ指定します (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の CollectorOsType の表を参照してください。)
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoConnect</li> <li>NotAutoConnect</li> </ul>
connectResult	enum	コレクター の最新の実行結果 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>Succeeded</li> </ul>

属性	データ型	説明
connectResult	enum	<ul style="list-style-type: none"> <li>Failed</li> </ul>
refreshStatus	enum	コレクターの実行状態 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ConnectStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NoConnect</li> <li>InProgress</li> </ul>
message	string	コレクターの実行結果のメッセージ
lastRefreshed	dateTime	最終リフレッシュ日時
refreshDateForInventory	dateTime	構成情報のリフレッシュ日時
refreshDateForPerformance	dateTime	性能情報のリフレッシュ日時
numOfHypervisors	int	コレクターにより発見されたハイパーバイザーの数
numOfVms	int	コレクターにより発見された仮想マシンの数
numOfApplications	int	コレクターにより発見されたアプリケーションの数
collectorCredentials	CollectorCredential[]	監視対象の接続に使用する認証情報
productName	string	収集対象製品名
providerName	string	コレクター作成者
refreshDateForApp	dateTime	定義反映日時

## collectorCredentials (Type: CollectorCredential)

属性	データ型	説明
ipAddress	string	管理ソフトウェアへの接続に使用する IP アドレスまたはホスト名
userId	string	管理ソフトウェアへの接続に使用するユーザー ID。255byte 以下の文字列を指定します。
portNumber	int	管理ソフトウェアへの接続に使用するポート番号。
hypertextTransferProtocolType	enum	管理ソフトウェアへの接続時に SSL(https)を使用するかどうか。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の HypertextTransferProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>HTTP</li> <li>HTTPS</li> </ul>
domainName	string	ドメイン名。アプリケーション連携で Windows 選択時に使用。
useAdministrativeShares	boolean	管理共有を行う場合に true を設定する

属性	データ型	説明
shareName	string	共有名
sharedFolder	string	共有フォルダのパス
logicalHostName	string	論理ホスト名
useLogicalHostName	boolean	論理ホスト名を使用する場合に true に設定する

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	<ul style="list-style-type: none"> <li>リクエストボディ形式不正</li> <li>リクエスト不正</li> </ul>
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
PUT /Analytics/v1/objects/Collectors/11 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 482
```

```
[Request Body]
{
  "instanceID" : 11,
  "name" : "vCenterMonitoring",
  "collectorType" : "VCENTER",
  "autoCollectionType" : "AutoConnect",
  "connectResult" : "NoConnect",
  "refreshStatus" : "NoConnect",
  "numOfHypervisors" : 0,
  "numOfVms" : 0,
  "numOfStorages" : 0,
  "collectorCredentials" : [ {
    "ipAddress" : "172.17.17.116",
    "userId" : "Administrator",
```

```
    "updatePassword" : true,
    "password" : "c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=",
    "portNumber" : 443,
    "hypertextTransferProtocolType" : "HTTPS"
  } ]
}
```

#### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:42:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ea7ee5beeebb36f7aeb0571ff9adba9e12fca4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

#### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 11,
  "name" : "vCenterMonitoring",
  "collectorType" : "VCENTER",
  "autoCollectionType" : "AutoConnect",
  "connectResult" : "NoConnect",
  "refreshStatus" : "NoConnect",
  "numOfHypervisors" : 0,
  "numOfVms" : 0,
  "numOfStorages" : 0,
  "collectorCredentials" : [ {
    "ipAddress" : "172.17.17.116",
    "userId" : "Administrator",
    "portNumber" : 443,
    "hypertextTransferProtocolType" : "HTTPS"
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

---

## 2.3.5 コレクターの削除

指定したコレクターを削除します。ただし、任意のアプリケーションのコレクターは削除できません。

### 権限

Admin

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Collectors/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
400	Bad Request	削除対象外のリソース
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
DELETE http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Collectors/0 HTTP/1.1
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Type: application/json
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=

[Response Header]
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Wed, 07 Dec 2016 10:27:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSSO
d5133e9e3ece3f258eda94ad4ed3fc2c8e7eda63_Vlo8Y30Idn8EY0BdB3IEfwgabiA=_V0810
```

```
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.4 ユーザープロフィールに関する API 一覧

JP1/OA が監視対象の監視に使用するユーザープロフィールの操作を説明します。

### 2.4.1 ユーザープロフィールの一覧の取得

ユーザープロフィールの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	UserThresholdProfile のコレクション。UserThresholdProfile の詳細は以下の表を参照ください。

属性	データ型	説明
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### UserThresholdProfile

```

{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  "numOfResources": "...",
  "autoAssignFilters": ["...", ...]
}

```

### UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。

属性	データ型	説明
resourceType	string	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VM:仮想マシン</li> <li>・ VOLUME:ボリューム</li> <li>・ WINDOWS:Windows</li> <li>・ LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li> </ul>
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	ユーザープロファイルが割り当たっているリソースの数
autoAssignFilters	string[]	自動割り当てルールのルール名。

### thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。

属性	データ型	説明
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	クエリパラメータ不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:42:22 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ef807fefafe4f3d3f3058e252907ae61ed6a63a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 62,
  "profileName" : "Default Profile for Volume",
  "description" : "Default Profile for Volume",
  "resourceType" : "VOLUME",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 763,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_IO_RATE",
```

```

    "displayName" : "Volume IOPS ",
    "unit" : "transfers/sec",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 0.0,
    "thresholdValueOfError" : 2222.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 761,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_XFER_RATE",
    "displayName" : "Volume IO Rate",
    "unit" : "MBps",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 421.0,
    "thresholdValueOfError" : 450.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 762,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "STO_IO_RESPONSE_TIME_ON_CTRL0",
    "displayName" : "Volume Response Time Per IO Request",
    "unit" : "msec/transfer",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 499.9,
    "thresholdValueOfError" : 500.1,
    "stepSize" : 0.1,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  } ],
  "numOfResources" : 0,
  "autoAssignFilters" : [ ]
}

```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.4.2 ユーザープロファイルの情報取得

指定したユーザープロファイルの情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### UserThresholdProfile

```
{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  "numOfResources": "...",
  "autoAssignFilters": ["...", ...]
}
```

### UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。

属性	データ型	説明
resourceType	string	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VM:仮想マシン</li> <li>・ VOLUME:ボリューム</li> <li>・ WINDOWS:Windows</li> <li>・ LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li> </ul>
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	ユーザープロファイルが割り当たっているリソースの数
autoAssignFilters	string[]	自動割り当てルールのルール名。

### thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。

属性	データ型	説明
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:19:45 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 fe84f16f0bb366a0b4d1226353e169d76c5ee_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 23,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
  "resourceType" : "HYPERV",
  "profileType" : "Default",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 539,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
```

```
"displayName" : "CPU Use",
"unit" : "%",
"proportion" : false,
"thresholdValueOfWarning" : 80.0,
"thresholdValueOfError" : 90.0,
"stepSize" : 1.0,
"max" : 100.0,
"min" : 0.0
}, {
.....
},
.....
],
"numOfResources" : 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.4.3 ユーザープロファイルの作成

ユーザープロファイルを新規に作成します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

UserThresholdProfile

```
{
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
```

```

    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "...
  },
  :
]
}

```

## UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VM:仮想マシン</li> <li>VOLUME:ボリューム</li> <li>WINDOWS:Windows</li> <li>LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li> </ul>
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。

## thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>true:監視している。</li> <li>false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。

属性	データ型	説明
proportion	boolean	false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### UserThresholdProfile

```
{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  "numOfResources": "...",
  "autoAssignFilters": ["...", ...]
}
```

### UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VM:仮想マシン</li> <li>・ VOLUME:ボリューム</li> <li>・ WINDOWS:Windows</li> <li>・ LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li> </ul>
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	ユーザープロファイルが割り当たっているリソースの数
autoAssignFilters	string[]	自動割り当てルールのルール名。

## thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>

属性	データ型	説明
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 1330
```

```
[Request Body]
{
  "instanceID" : 0,
  "profileName" : "Default Profile for Volume",
  "description" : "Default Profile for Volume",
  "resourceType" : "VOLUME",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
```

```

    "instanceID" : 763,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_IO_RATE",
    "displayName" : "Volume IOPS",
    "unit" : "transfers/sec",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 0.0,
    "thresholdValueOfError" : 2222.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 761,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_XFER_RATE",
    "displayName" : "Volume IO Rate",
    "unit" : "MBps",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 421.0,
    "thresholdValueOfError" : 450.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 762,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "STO_IO_RESPONSE_TIME_ON_CTRL0",
    "displayName" : "Volume Response Time Per IO Request",
    "unit" : "msec/transfer",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 499.9,
    "thresholdValueOfError" : 500.1,
    "stepSize" : 0.1,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  } ],
  "numOfResources" : 0,
  "autoAssignFilters" : [ ]
}

```

[Response Header]

```

HTTP/1.1 201 Created
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:59:59 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 92912a219d69363f390aa8d6fa84157ab1e58d6_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/63
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

```

[Response Body]

```

{
  "instanceID" : 63,
  "profileName" : "Default Profile for Volume",
  "description" : "Default Profile for Volume",
  "resourceType" : "VOLUME",

```

```

"profileType" : "User",
"thresholdValues" : [ {
  "instanceID" : 769,
  "monitoring" : false,
  "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_IO_RATE",
  "displayName" : "Volume IOPS",
  "unit" : "transfers/sec",
  "proportion" : false,
  "thresholdValueOfWarning" : 0.0,
  "thresholdValueOfError" : 2222.0,
  "stepSize" : 1.0,
  "max" : 3.4028235E38,
  "min" : 0.0
}, {
  "instanceID" : 768,
  "monitoring" : false,
  "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_XFER_RATE",
  "displayName" : "Volume IO Rate",
  "unit" : "MBps",
  "proportion" : false,
  "thresholdValueOfWarning" : 421.0,
  "thresholdValueOfError" : 450.0,
  "stepSize" : 1.0,
  "max" : 3.4028235E38,
  "min" : 0.0
}, {
  "instanceID" : 767,
  "monitoring" : true,
  "metricType" : "STO_IO_RESPONSE_TIME_ON_CTRL0",
  "displayName" : "Volume Response Time Per IO Request",
  "unit" : "msec/transfer",
  "proportion" : false,
  "thresholdValueOfWarning" : 499.9,
  "thresholdValueOfError" : 500.1,
  "stepSize" : 0.1,
  "max" : 3.4028235E38,
  "min" : 0.0
} ],
"numOfResources" : 0,
"autoAssignFilters" : [ ]
}

```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.4.4 ユーザープロファイルの更新

指定したユーザープロファイルの更新を行います。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### UserThresholdProfile

```
{
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  :
}
```

### UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ VM:仮想マシン</li><li>・ VOLUME:ボリューム</li><li>・ WINDOWS:Windows</li><li>・ LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li></ul>

属性	データ型	説明
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。

### thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### UserThresholdProfile

```

{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  "numOfResources": "...",
  "autoAssignFilters": ["...", ...]
}

```

## UserThresholdProfile (Type: UserThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
profileName	string	ユーザープロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	ユーザープロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	ユーザープロファイルが適用できるリソース種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VM:仮想マシン</li> <li>VOLUME:ボリューム</li> <li>WINDOWS:Windows</li> <li>LINUX_UNIX:Linux または UNIX</li> </ul>
profileType	string	ユーザープロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	UserThresholdValue[]	ユーザープロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	ユーザープロファイルが割り当たっているリソースの数
autoAssignFilters	string[]	自動割り当てルールのルール名。

## thresholdValues (Type: UserThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 ・ true:監視している。 ・ false:監視していない。 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 ・ stepSize の倍数 ・ max 以下 ・ min 以上
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 ・ stepSize の倍数 ・ max 以下 ・ min 以上
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
PUT /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/63 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 1331
```

### [Request Body]

```
{
  "instanceID" : 63,
  "profileName" : "Default Profile for Volume",
  "description" : "Default Profile for Volume",
  "resourceType" : "VOLUME",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 763,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_IO_RATE",
    "displayName" : "Volume IOPS",
    "unit" : "transfers/sec",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 0.0,
    "thresholdValueOfError" : 2222.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 761,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_XFER_RATE",
    "displayName" : "Volume IO Rate",
    "unit" : "MBps",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 421.0,
    "thresholdValueOfError" : 450.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 762,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "STO_IO_RESPONSE_TIME_ON_CTRL0",
    "displayName" : "Volume Response Time Per IO Request",
    "unit" : "msec/transfer",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 499.9,
    "thresholdValueOfError" : 500.1,
    "stepSize" : 0.1,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }
}
```

```
} ],
"numOfResources" : 0,
"autoAssignFilters" : [ ]
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:42:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 e6ef783f42e697183f8c7a8539cf44beed12e8c_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : 63,
  "profileName" : "Default Profile for Volume",
  "description" : "Default Profile for Volume",
  "resourceType" : "VOLUME",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 769,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_IO_RATE",
    "displayName" : "Volume IOPS",
    "unit" : "transfers/sec",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 0.0,
    "thresholdValueOfError" : 2222.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 768,
    "monitoring" : false,
    "metricType" : "STO_VOLUME_TOTAL_XFER_RATE",
    "displayName" : "Volume IO Rate",
    "unit" : "MBps",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 421.0,
    "thresholdValueOfError" : 450.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 3.4028235E38,
    "min" : 0.0
  }, {
    "instanceID" : 767,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "STO_IO_RESPONSE_TIME_ON_CTRL0",
    "displayName" : "Volume Response Time Per IO Request",
    "unit" : "msec/transfer",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 499.9,
    "thresholdValueOfError" : 500.1,
    "stepSize" : 0.1,
    "max" : 3.4028235E38,
```

```
"min" : 0.0
} ],
"numOfResources" : 0,
"autoAssignFilters" : [ ]
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.4.5 ユーザープロファイルの削除

指定したユーザープロファイルを削除します。削除したユーザープロファイルが割り当てられた監視対象リソースは、デフォルトのユーザープロファイルが再割り当てされます。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

### ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
DELETE /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/63 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Fri, 27 Nov 2015 11:24:22 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ca54892ac23952deaf9c5aa71d7eb117d5f5e0c1_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Content-Type: application/json
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.4.6 ユーザープロファイルに対する操作一覧の取得

指定したユーザープロファイルに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### Action

```
{
  "name":"...",
  "href":"...",
  "method":"...",
  "type":"...",
  "parameters":["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:52:29 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 6e5ebd331dec95678b4ba4fa76694f61b8bb7_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "updateTargetResource",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions/updateTargetResource/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
```

```
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.4.7 ユーザープロファイルの割り当てに必要な情報の取得

指定したユーザープロファイルを監視対象リソースに割り当てるために必要な情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions/
updateTargetResource
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な InstanceID のコレクション。InstanceID の詳細は以下の表を参照ください。

## InstanceID

```
{
  "instanceID": "... "
}
```

## InstanceID (Type: InstanceID)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンス ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions/updateTargetResource HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
```

```
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:01:05 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5c177954bed8e8afe14a6e3b6c9e7607d453e1_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "name" : "updateTargetResource",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions/
updateTargetResource/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ ]
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.4.8 ユーザープロファイルの割り当て

指定したユーザープロファイルを監視対象に割り当てます。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/UserThresholdProfiles/{id}/actions/
updateTargetResource/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
```

```

    "href": "...",
    "method": "...",
    "type": "...",
    "parameters": ["...", ...]
}

```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な InstanceID のコレクション。 InstanceID の詳細は以下の表を参照ください。

## InstanceID

```

{
    "instanceID": "... "
}

```

## InstanceID (Type: InstanceID)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンス ID

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```

{
    "instanceID": "...",
    "created": "...",
    "updated": "...",
    "completed": "...",
    "state": "...",
    "affectedResource": ["...", ...],
    "result": ["...", ...]
}

```

## Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions/updateTargetResource/invoke
HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 251
```

```
[Request Body]
{
  "name" : "updateTargetResource",
```

```
"href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/UserThresholdProfiles/62/actions/
updateTargetResource/invoke",
"method" : "POST",
"type" : "application/json",
"parameters" : [ {
  "instanceID" : 540
}, {
  "instanceID" : 541
}]
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:16:00 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 64b88abff57b911327c0d26c6394beea311ae7a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "7bdbb872-18a0-42dd-9481-51ca3f66758c",
  "created" : "2015-11-27T18:16:00.996+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:16:01.372+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:16:01.373+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.5 システムプロファイルに関する API 一覧

JP1/OA が監視対象の監視に使用するユーザープロファイルの操作を説明します。

### 2.5.1 システムプロファイルの一覧の取得

システムプロファイルの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	SystemThresholdProfile のコレクション。SystemThresholdProfile の詳細は以下の表を参照ください。

属性	データ型	説明
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### SystemThresholdProfile

```

{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "...
  }],
  "numOfResources": "...
}

```

### SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。

属性	データ型	説明
resourceType	string	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESX:ESX サーバ</li> <li>・ HYPERV:Hyper-V サーバ</li> <li>・ IPSWITCH:IP スイッチ</li> <li>・ FCSWITCH:FC スイッチ</li> </ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	SystemThresholdValue[ ]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	システムプロファイルが割り当たっているリソースの数

### thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。

属性	データ型	説明
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	クエリパラメータ不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:49 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 d4ca28827d6fe35b964eece674e3fbda29b5a11_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 23,
    "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
    "description" : "Default Profile for Hyper-V",
    "resourceType" : "HYPERV",
    "profileType" : "Default",
    "thresholdValues" : [ {
      "instanceID" : 539,
      "monitoring" : true,
```

```
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
    "displayName" : "CPU Use",
    "unit" : "%",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
    "thresholdValueOfError" : 90.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 100.0,
    "min" : 0.0
  }, {
    .....
  },
  .....
],
"numOfResources" : 0
}
"count" : 8
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.5.2 システムプロファイルの情報取得

指定したシステムプロファイルの情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

SystemThresholdProfile

```

{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  :
  ],
  "numOfResources": "..."
}

```

## SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ESX:ESX サーバ</li> <li>HYPERV:Hyper-V サーバ</li> <li>IPSWITCH:IP スイッチ</li> <li>FCSWITCH:FC スイッチ</li> </ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	システムプロファイルが割り当たっているリソースの数

## thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:19:45 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 15b057d2c5566e657ce642a6811075512e0cb95_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 23,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
  "resourceType" : "HYPERV",
  "profileType" : "Default",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 539,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
    "displayName" : "CPU Use",
    "unit" : "%",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
    "thresholdValueOfError" : 90.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 100.0,
    "min" : 0.0
  }, {
    .....
  } ],
  "numOfResources" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.5.3 システムプロファイルの作成

システムプロファイルを新規に作成します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

SystemThresholdProfile

```
{
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  :
}
```

SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。

属性	データ型	説明
resourceType	string	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESX:ESX サーバ</li> <li>・ HYPERV:Hyper-V サーバ</li> <li>・ IPSWITCH:IP スイッチ</li> <li>・ FCSWITCH:FC スイッチ</li> </ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。

### thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### SystemThresholdProfile

```
{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "instanceID": "...",
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  "numOfResources": "..."
}
```

### SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ESX:ESX サーバ</li><li>• HYPERV:Hyper-V サーバ</li><li>• IPSWITCH:IP スイッチ</li><li>• FCSWITCH:FC スイッチ</li></ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"><li>• User:ユーザーが作成したプロファイル</li><li>• Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li><li>• Preset:初期値が設定されたプロファイル</li></ul>
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。

属性	データ型	説明
numOfResources	int	システムプロファイルが割り当たっているリソースの数

## thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 6861
Expect: 100-continue
```

```
[Request Body]
{
  "instanceID" : 23,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
  "resourceType" : "HYPERV",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 539,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
    "displayName" : "CPU Use",
    "unit" : "%",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
    "thresholdValueOfError" : 90.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 100.0,
    "min" : 0.0
  }
], {
  .....
}, {
  .....
}],
  "numOfResources" : 1
}
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 100 Continue
HTTP/1.1 201 Created
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:59:59 GMT
```

```
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 2dfd66512c3fb3d859df167fc452989dd389797_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/64
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : 64,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
  "resourceType" : "HYPERV",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 807,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
    "displayName" : "CPU Use",
    "unit" : "%",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
    "thresholdValueOfError" : 90.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 100.0,
    "min" : 0.0
  }, {
    .....
  },
  .....
],
  "numOfResources" : 0
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.5.4 システムプロファイルの更新

指定したシステムプロファイルの更新を行います。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### SystemThresholdProfile

```
{
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",
  "profileType": "...",
  "thresholdValues": [{
    "monitoring": "...",
    "metricType": "...",
    "displayName": "...",
    "unit": "...",
    "proportion": "...",
    "thresholdValueOfWarning": "...",
    "thresholdValueOfError": "...",
    "stepSize": "...",
    "max": "...",
    "min": "..."
  }],
  :
}
```

### SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ ESX:ESX サーバ</li><li>・ HYPERV:Hyper-V サーバ</li><li>・ IPSWITCH:IP スイッチ</li><li>・ FCSWITCH:FC スイッチ</li></ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"><li>・ User:ユーザーが作成したプロファイル</li><li>・ Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li><li>・ Preset:初期値が設定されたプロファイル</li></ul>

属性	データ型	説明
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。

## thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:監視している。</li> <li>・ false:監視していない。</li> </ul> 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。</li> <li>・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。</li> </ul>
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ stepSize の倍数</li> <li>・ max 以下</li> <li>・ min 以上</li> </ul>
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### SystemThresholdProfile

```

{
  "instanceID": "...",
  "profileName": "...",
  "description": "...",
  "resourceType": "...",

```

```

    "profileType": "...",
    "thresholdValues": [{
      "instanceID": "...",
      "monitoring": "...",
      "metricType": "...",
      "displayName": "...",
      "unit": "...",
      "proportion": "...",
      "thresholdValueOfWarning": "...",
      "thresholdValueOfError": "...",
      "stepSize": "...",
      "max": "...",
      "min": "..."
    }],
    :
  ],
  "numOfResources": "..."
}

```

### SystemThresholdProfile (Type: SystemThresholdProfile)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
profileName	string	システムプロファイルの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
description	string	システムプロファイルの説明。256 文字以下の文字列を指定します。
resourceType	string	システムプロファイルが適用できるリソース種別。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ESX:ESX サーバ</li> <li>HYPERV:Hyper-V サーバ</li> <li>IPSWITCH:IP スイッチ</li> <li>FCSWITCH:FC スイッチ</li> </ul>
profileType	string	システムプロファイルの変更種別 <ul style="list-style-type: none"> <li>User:ユーザーが作成したプロファイル</li> <li>Default:デフォルトで登録されているプロファイル</li> <li>Preset:初期値が設定されたプロファイル</li> </ul>
thresholdValues	SystemThresholdValue[]	システムプロファイルに設定されているしきい値の内容。
numOfResources	int	システムプロファイルが割り当たっているリソースの数

### thresholdValues (Type: SystemThresholdValue)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
monitoring	boolean	監視しているしきい値かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>true:監視している。</li> </ul>

属性	データ型	説明
monitoring	boolean	・ false:監視していない。 省略時は false が設定されます。
metricType	string	しきい値の識別子。未サポートのメンバーです。
displayName	string	しきい値の表示名。
unit	string	しきい値の単位を表す文字列。
proportion	boolean	しきい値の方向。 ・ true:測定値がしきい値を下回る場合に異常または警告となる。 ・ false:測定値がしきい値を上回る場合に異常または警告になる。
thresholdValueOfWarning	float	警告を表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 ・ stepSize の倍数 ・ max 以下 ・ min 以上
thresholdValueOfError	float	エラーを表すしきい値。しきい値は以下の条件に合わせて指定する必要があります。 ・ stepSize の倍数 ・ max 以下 ・ min 以上
stepSize	float	しきい値の増加量。
max	double	しきい値がとりえる最大値。
min	double	しきい値がとりえる最小値。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
PUT /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/64 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 6861
```

### [Request Body]

```
{
  "instanceID" : 64,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
  "resourceType" : "HYPERV",
  "profileType" : "User",
  "thresholdValues" : [ {
    "instanceID" : 807,
    "monitoring" : true,
    "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
    "displayName" : "CPU Use",
    "unit" : "%",
    "proportion" : false,
    "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
    "thresholdValueOfError" : 90.0,
    "stepSize" : 1.0,
    "max" : 100.0,
    "min" : 0.0
  }, {
    .....
  },
  .....
],
  "numOfResources" : 0
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:42:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ef29b28697744f4dbd5de75038b9fb5aea9f502_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 64,
  "profileName" : "Default Profile for Hyper-V",
  "description" : "Default Profile for Hyper-V",
```

```
"resourceType" : "HYPERV",
"profileType" : "User",
"thresholdValues" : [ {
  "instanceID" : 807,
  "monitoring" : true,
  "metricType" : "WIN_CPU_LOAD",
  "displayName" : " CPU Use",
  "unit" : "%",
  "proportion" : false,
  "thresholdValueOfWarning" : 80.0,
  "thresholdValueOfError" : 90.0,
  "stepSize" : 1.0,
  "max" : 100.0,
  "min" : 0.0
}, {
  .....
},
.....
],
"numOfResources" : 0
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.5.5 システムプロファイルの削除

指定したシステムプロファイルを削除します。削除したシステムプロファイルが割り当てられた監視対象リソースは、デフォルトのシステムプロファイルが再割り当てされます。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
DELETE /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/64 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Fri, 27 Nov 2015 11:24:22 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 cb3bc1b920fd9b534c57538990506d5ab5258cc_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Content-Type: application/json
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.5.6 システムプロファイルに対する操作一覧の取得

指定したシステムプロファイルに対して実行できる操作の一覧を取得します。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。 Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数

属性	データ型	説明
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
```

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:52:29 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 4d3178ead3e093e934287dcb05187272788ae5c_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "updateTargetResource",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/
actions/updateTargetResource/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.5.7 システムプロファイルの割り当てに必要な情報の取得

指定したシステムプロファイルを監視対象リソースに割り当てるために必要な情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions/
updateTargetResource
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な InstanceID のコレクション。 InstanceID の詳細は以下の表を参照ください。

### InstanceID

```
{
  "instanceID": "...
}
```

### InstanceID (Type: InstanceID)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンス ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/actions/updateTargetResource HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:01:05 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 b996edeeab148c282cf3cbeb6cbec37584796239_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "updateTargetResource",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/actions/updateTargetResource/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "instanceID" : 4
  } ]
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.5.8 システムプロファイルの割り当て

指定したシステムプロファイルを監視対象に割り当てます。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/SystemThresholdProfiles/{id}/actions/updateTargetResource/invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な InstanceID のコレクション。 InstanceID の詳細は以下の表を参照ください。

### InstanceID

```
{
  "instanceID": "... "
}
```

### InstanceID (Type: InstanceID)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンス ID

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されま す。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リ ソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/actions/updateTargetResource/invoke
HTTP/1.1
```

```
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
```

```
User-Agent: curl/7.33.0
```

```
Host: localhost:22015
```

```
Accept: application/json
```

```
Content-Type: application/json
```

```
Accept-Language: ja
```

```
Content-Length: 251
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "updateTargetResource",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/SystemThresholdProfiles/23/actions/
updateTargetResource/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "instanceID" : 4
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:11:06 GMT
```

```
Server: Cosminexus HTTP Server
```

```
Cache-Control: no-cache
```

```
WWW-Authenticate: HSS0 2cf2b949bc23ff176de6c674e95e8d7b2cb3148_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
```

```
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
```

```
Transfer-Encoding: chunked
```

```
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "2d8efa39-3ce7-475e-a0a3-7e16504edb97",
  "created" : "2015-11-27T18:11:06.459+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:11:06.525+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:11:06.526+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
}
```

```
"result" : [ ]  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.6 コンシューマーに関する API 一覧

コンシューマーとコンシューマーに設定するグレードの操作を説明します。

### 2.6.1 コンシューマーの一覧の取得

コンシューマーの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Group のコレクション。Group の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Group

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "status": "...",
  "gradeKey": "...",
  "gradeName": "...",
  "gradeDisplayOrder": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...",
  "numOfVolumes": "...",
  "numOfVMs": "...",
  "numOfHosts": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "vmAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "hostAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "volumeIDs": ["...", ...],
  "vmIDs": ["...", ...],
  "hostIDs": ["...", ...],
  "hypervisorIDs": ["...", ...],
  "applicationIDs": ["...", ...]
}

```

## Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
status	enum	コンシューマーの状態。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。)

属性	データ型	説明
status	enum	以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> </ul>
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
gradeName	string	グレードの名称。
gradeDisplayOrder	int	グレードの優先順位
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別 (指定可能な値は「列挙型一覧」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• User</li> <li>• Default</li> </ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true
numOfVolumes	int	コンシューマーが割り当てられているボリュームの数。
numOfVMs	int	コンシューマーが割り当てられている仮想マシンの数。
numOfHosts	int	コンシューマーが割り当てられているホストの数。
numOfHypervisors	int	コンシューマーが割り当てられているハイパーバイザーの数。
numOfApplications	int	コンシューマーが割り当てられているアプリケーションの数。
vmAutoAssignFilters	string[]	仮想サーバに設定されている自動割り当てルールのルール名。
hostAutoAssignFilters	string[]	ホストに設定されている自動割り当てルールのルール名。
volumeIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているボリュームを特定する ID のリスト
vmIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられている仮想マシンを特定する ID のリスト
hostIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているホストを特定する ID のリスト
hypervisorIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているハイパーバイザーを特定する ID のリスト
applicationIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているアプリケーションを特定する ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	クエリパラメーター不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Groups HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:50 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 3ffa18cbf3e9f46049c06aaf52a1c5444c5e2c3a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 0,
    "name" : "#Unassigned Resources",
    "description" : "Resources which have not been assigned to a consumer.",
    "templateCreatorType" : "Default",
    "numOfVolumes" : 0,
    "numOfVMs" : 27,
    "numOfHosts" : 0,
    "volumeAutoAssignFilters" : [ ],
    "vmAutoAssignFilters" : [ ],
    "hostAutoAssignFilters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
- 

## 2.6.2 コンシューマーの情報取得

指定したコンシューマーの情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Group

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "status": "...",
  "gradeKey": "...",
  "gradeName": "...",
  "gradeDisplayOrder": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...",
  "numOfVolumes": "...",
  "numOfVMs": "...",
  "numOfHosts": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfApplications": "...",
```

```

"vmAutoAssignFilters":["...", ...],
"hostAutoAssignFilters":["...", ...],
"volumeIDs":["...", ...],
"vmIDs":["...", ...],
"hostIDs":["...", ...],
"hypervisorIDs":["...", ...],
"applicationIDs":["...", ...]
}

```

## Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
status	enum	コンシューマーの状態。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> </ul>
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
gradeName	string	グレードの名称。
gradeDisplayOrder	int	グレードの優先順位
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• User</li> <li>• Default</li> </ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true
numOfVolumes	int	コンシューマーが割り当てられているボリュームの数。
numOfVMs	int	コンシューマーが割り当てられている仮想マシンの数。
numOfHosts	int	コンシューマーが割り当てられているホストの数。
numOfHypervisors	int	コンシューマーが割り当てられているハイパーバイザーの数。

属性	データ型	説明
numOfApplications	int	コンシューマーが割り当てられているアプリケーションの数。
vmAutoAssignFilters	string[]	仮想サーバに設定されている自動割り当てルールのルール名。
hostAutoAssignFilters	string[]	ホストに設定されている自動割り当てルールのルール名。
volumeIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているボリュームを特定する ID のリスト
vmIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられている仮想マシンを特定する ID のリスト
hostIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているホストを特定する ID のリスト
hypervisorIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているハイパーバイザーを特定する ID のリスト
applicationIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているアプリケーションを特定する ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Groups/10 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:19:45 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 0163c9c89df447c5a31b2b14c4b4e94aca5afa4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "instanceID" : 10,
  "name" : "Group A",
  "status" : "Normal",
  "gradeKey" : "0",
  "gradeName" : "Platinum",
  "gradeDisplayOrder" : 0,
  "description" : "Tel:XXX-YYYY, User:Administrator",
  "templateCreatorType" : "User",
  "numOfVolumes" : 0,
  "numOfVMs" : 0,
  "numOfHosts" : 0,
  "volumeAutoAssignFilters" : [ ],
  "vmAutoAssignFilters" : [ ],
  "hostAutoAssignFilters" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

### 2.6.3 グレードの一覧の取得

コンシューマーに含まれるグレードの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Grades
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

## Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Grade のコレクション。Grade の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Grade

```
{
  "gradeKey":"...",
  "name":"...",
  "displayOrder":"..."
}
```

### Grade (Type: Grade)

属性	データ型	説明
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
name	string	グレードの名称。
displayOrder	int	グレードの優先順位。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	クエリパラメータ不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Grades HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:50 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 723cc9c7dbae3aa85bad85fc46d1bc9edb64d_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 410,
    "gradeKey" : "0",
    "name" : "Platinum",
    "displayOrder" : 0
  }, {
    "instanceID" : 413,
    "gradeKey" : "10",
    "name" : "Gold",
    "displayOrder" : 10
  }, {
    "instanceID" : 412,
    "gradeKey" : "20",
    "name" : "Silver",
    "displayOrder" : 20
  }, {
```

```
    "instanceID" : 411,
    "gradeKey" : "30",
    "name" : "Bronze",
    "displayOrder" : 30
  } ],
  "count" : 4
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.6.4 コンシューマーの作成

コンシューマーを新規に作成します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Group

```
{
  "name": "...",
  "gradeKey": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...
}
```

Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別 (指定可能な値は「列挙型一覧」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• User</li> <li>• Default</li> </ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Group

```
{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "status": "...",
  "gradeKey": "...",
  "gradeName": "...",
  "gradeDisplayOrder": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...",
  "numOfVolumes": "...",
  "numOfVMs": "...",
  "numOfHosts": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "vmAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "hostAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "volumeIDs": ["...", ...],
  "vmIDs": ["...", ...],
  "hostIDs": ["...", ...],
  "hypervisorIDs": ["...", ...],
}
```

```

    "applicationIDs":["...", ...]
}

```

## Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
status	enum	コンシューマーの状態。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> </ul>
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
gradeName	string	グレードの名称。
gradeDisplayOrder	int	グレードの優先順位
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• User</li> <li>• Default</li> </ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true
numOfVolumes	int	コンシューマーが割り当てられているボリュームの数。
numOfVMs	int	コンシューマーが割り当てられている仮想マシンの数。
numOfHosts	int	コンシューマーが割り当てられているホストの数。
numOfHypervisors	int	コンシューマーが割り当てられているハイパーバイザーの数。
numOfApplications	int	コンシューマーが割り当てられているアプリケーションの数。
vmAutoAssignFilters	string[]	仮想サーバに設定されている自動割り当てルールのルール名。
hostAutoAssignFilters	string[]	ホストに設定されている自動割り当てルールのルール名。

属性	データ型	説明
volumeIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているボリュームを特定する ID のリスト
vmIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられている仮想マシンを特定する ID のリスト
hostIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているホストを特定する ID のリスト
hypervisorIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているハイパーバイザーを特定する ID のリスト
applicationIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているアプリケーションを特定する ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
201	Created	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	作成権限がない
404	Not Found	グレードが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/Groups HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 147
```

```
[Request Body]
{
  "instanceID" : 0,
  "name" : "Group A",
  "description" : "Tel:XXX-YYYY, User:Administrator",
  "templateCreatorType" : "User",
  "gradeKey" : "0"
}
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 201 Created
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:23:46 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 bfb7bb1ac5122d4e95bddc86cfb215f4c04715_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
Location: http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "instanceID" : 10,
  "name" : "Group A",
  "status" : "Normal",
  "gradeKey" : "0",
  "gradeName" : "Platinum",
  "gradeDisplayOrder" : 0,
  "description" : "Tel:XXX-YYYYY, User:Administrator",
  "templateCreatorType" : "User",
  "numOfVolumes" : 0,
  "numOfVMs" : 0,
  "numOfHosts" : 0,
  "volumeAutoAssignFilters" : [ ],
  "vmAutoAssignFilters" : [ ],
  "hostAutoAssignFilters" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.6.5 コンシューマーの更新

指定したコンシューマーの更新を行います。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
PUT http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Group

```
{
  "name": "...",
  "gradeKey": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...",
}
```

### Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>User</li><li>Default</li></ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Group

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "status": "...",
  "gradeKey": "...",
  "gradeName": "...",
  "gradeDisplayOrder": "...",
  "description": "...",
  "urls": ["...", ...],
  "urlDisplayNames": ["...", ...],
  "templateCreatorType": "...",
  "vmAutoAssignment": "...",
  "applicationAssignFollow": "...",
  "numOfVolumes": "...",
  "numOfVMs": "...",
  "numOfHosts": "...",
  "numOfHypervisors": "...",
  "numOfApplications": "...",
  "vmAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "hostAutoAssignFilters": ["...", ...],
  "volumeIDs": ["...", ...],
  "vmIDs": ["...", ...],
  "hostIDs": ["...", ...],
  "hypervisorIDs": ["...", ...],
  "applicationIDs": ["...", ...]
}

```

## Group (Type: Group)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID。
name	string	コンシューマーの名称。128 文字以下の文字列を指定します。
status	enum	コンシューマーの状態。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> </ul>
gradeKey	string	グレードを識別する ID。
gradeName	string	グレードの名称。
gradeDisplayOrder	int	グレードの優先順位
description	string	コンシューマーの説明。1000 文字以下の文字列を指定します。
urls	string[]	URL
urlDisplayNames	string[]	URL の表示文字列
templateCreatorType	enum	コンシューマーの変更種別

属性	データ型	説明
templateCreatorType	enum	(指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の TemplateCreatorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• User</li> <li>• Default</li> </ul>
vmAutoAssignment	boolean	このコンシューマーに属するハイパーバイザー配下の仮想マシンを自動的に割り当てる場合に true
applicationAssignFollow	boolean	このコンシューマーに属するリソース配下のアプリケーションを自動的に割り当てる場合に true
numOfVolumes	int	コンシューマーが割り当てられているボリュームの数。
numOfVMs	int	コンシューマーが割り当てられている仮想マシンの数。
numOfHosts	int	コンシューマーが割り当てられているホストの数。
numOfHypervisors	int	コンシューマーが割り当てられているハイパーバイザーの数。
numOfApplications	int	コンシューマーが割り当てられているアプリケーションの数。
vmAutoAssignFilters	string[]	仮想サーバに設定されている自動割り当てルールのルール名。
hostAutoAssignFilters	string[]	ホストに設定されている自動割り当てルールのルール名。
volumeIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているボリュームを特定する ID のリスト
vmIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられている仮想マシンを特定する ID のリスト
hostIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているホストを特定する ID のリスト
hypervisorIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているハイパーバイザーを特定する ID のリスト
applicationIDs	long[]	コンシューマーに割り当てられているアプリケーションを特定する ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
409	Conflict	name が一致するリソースが存在する
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
PUT /Analytics/v1/objects/Groups/10 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 376
```

### [Request Body]

```
{
  "instanceID" : 10,
  "name" : "Group A",
  "status" : "Normal",
  "gradeKey" : "0",
  "gradeName" : "Platinum",
  "gradeDisplayOrder" : 0,
  "description" : "Tel:XXX-YYYYY, User:Administrator",
  "templateCreatorType" : "User",
  "numOfVolumes" : 0,
  "numOfVMs" : 0,
  "numOfHosts" : 0,
  "volumeAutoAssignFilters" : [ ],
  "vmAutoAssignFilters" : [ ],
  "hostAutoAssignFilters" : [ ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 08:42:47 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 f2eae1699945a979e8c7285d8923241d67ed782_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : 10,
  "name" : "Group A",
  "status" : "Normal",
  "gradeKey" : "0",
  "gradeName" : "Platinum",
  "gradeDisplayOrder" : 0,
  "description" : "Tel:XXX-YYYYY, User:Administrator",
  "templateCreatorType" : "User",
  "numOfVolumes" : 0,
  "numOfVMs" : 0,
  "numOfHosts" : 0,
}
```

```
"volumeAutoAssignFilters" : [ ],
"vmAutoAssignFilters" : [ ],
"hostAutoAssignFilters" : [ ]
}
```

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
- 1.6 列挙型一覧

## 2.6.6 コンシューマーの削除

指定したコンシューマーを削除します。削除したコンシューマーに割り当てられていたリソースは、未割当(#Unassigned Resources)に設定されます。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
DELETE http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

### ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
204	No Content	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	削除権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
DELETE /Analytics/v1/objects/Groups/10 HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 204 No Content
Date: Fri, 27 Nov 2015 11:24:22 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 f1f0fb1a6ac21a0695f6536ba8950b641c263a4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Content-Length: 0
Content-Type: application/json
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.6.7 コンシューマーに対する操作一覧の取得

指定したコンシューマーに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}/actions
```

## リクエストボディー

リクエストボディーには何も設定しません。

## レスポンスボディー

レスポンスボディーの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### Action

```
{
  "name":"...",
  "href":"...",
  "method":"...",
  "type":"...",
  "parameters":["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Groups/10/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:00:14 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 dfce93dd9ddbe2e8fbf06da99384c2cd301a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
  "data": [ {
    "name": "updateTargetResource",
    "href": "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/
updateTargetResource/invoke",
    "method": "POST",
    "type": "application/json",
```

```
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.6.8 コンシューマーの割り当てに必要な情報の取得

指定したコンシューマーを監視対象リソースの割り当てに必要な情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResource
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な UpdateTargetResourceParam のコレクション。 UpdateTargetResourceParam の詳細は以下の表を参照ください。

## UpdateTargetResourceParam

```

{
  "volumeIDs":["...", ...],
  "vmIDs":["...", ...],
  "resourceIDs":["...", ...]
}

```

## UpdateTargetResourceParam (Type: UpdateTargetResourceParam)

属性	データ型	説明
volumeIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てるボリュームを特定する ID を指定します。複数のボリュームに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>"volumeIDs" : [ 81, 87 ]</p> <p>すべてのボリュームの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>"volumeIDs" : [ ]</p>
vmIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てる仮想マシンを特定する ID を指定します。複数の仮想マシンに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>" vmIDs " : [ 81, 87 ]</p> <p>すべての仮想マシンの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>" vmIDs " : [ ]</p>
resourceIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てるホストを特定する ID を指定します。複数のホストに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>" resourceIDs " : [ 81, 87 ]</p> <p>すべての仮想マシンの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>" resourceIDs " : [ ]</p>

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/updateTargetResource HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:04:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ba4d83751660bee033d1ccdaf4d78e97f6c893a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "updateTargetResource",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/
updateTargetResource/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "volumeIDs" : [ ],
    "vmIDs" : [ 97 ],
    "resourceIDs" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)

## 2.6.9 コンシューマーの割り当て

指定したコンシューマーを監視対象に割り当てます。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}/actions/updateTargetResource/
invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な UpdateTargetResourceParam のコレクション。 UpdateTargetResourceParam の詳細は以下の表を参照ください。

UpdateTargetResourceParam

```
{
  "volumeIDs":["...", ...],
  "vmIDs":["...", ...],
  "resourceIDs":["...", ...]
}
```

## UpdateTargetResourceParam (Type: UpdateTargetResourceParam)

属性	データ型	説明
volumeIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てるボリュームを特定する ID を指定します。複数のボリュームに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>"volumeIDs" : [ 81, 87 ]</p> <p>すべてのボリュームの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>"volumeIDs" : [ ]</p>
vmIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てる仮想マシンを特定する ID を指定します。複数の仮想マシンに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>" vmIDs " : [ 81, 87 ]</p> <p>すべての仮想マシンの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>" vmIDs " : [ ]</p>
resourceIDs	long[]	<p>コンシューマーを割り当てるホストを特定する ID を指定します。複数のホストに割り当てを行う場合は、ID を連結して指定します。すでに割り当て済みの監視対象の ID も含め、設定する必要があります。</p> <p>" resourceIDs " : [ 81, 87 ]</p> <p>すべての仮想マシンの割り当てを解除する場合は、メンバーの値を空欄にします。</p> <p>" resourceIDs " : [ ]</p>

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID":"...",
  "created":"...",
  "updated":"...",
  "completed":"...",
  "state":"...",
  "affectedResource":["...", ...],
  "result":["...", ...]
}
```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/updateTargetResource/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 288
```

```
[Request Body]
{
  "name" : "updateTargetResource",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/
```

```
updateTargetResource/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "volumeIDs" : [ 534 ],
    "vmIDs" : [ 97, 31 ],
    "resourceIDs" : [ ]
  } ]
}
```

#### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:11:06 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 154d18c71a465150d5e228e8f16bf42c4dd280_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

#### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "e89f633c-700d-4e75-9f81-d2d59c95a7bf",
  "created" : "2015-11-27T18:11:06.679+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:11:07.023+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:11:07.023+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

---

## 2.6.10 リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当てに必要な情報の取得

指定したコンシューマーを、指定した割り当て方に応じて監視対象に割り当てするのに必要な情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}/actions/  
updateTargetResourceWithAssignmentType
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

#### Action

```
{  
  "name": "...",  
  "href": "...",  
  "method": "...",  
  "type": "...",  
  "parameters": ["...", ...]  
}
```

#### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な UpdateTargetResourceWithAssignmentType のコレクション。 UpdateTargetResourceWithAssignmentType の詳細は以下の表を参照ください。

#### UpdateTargetResourceWithAssignmentType

```
{  
  "volumes": [{  
    "id": "...",  
    "assignmentType": "..."  
  }],  
  :  
  ],  
  "vms": [{
```

```

        "id": "...",
        "assignmentType": "...",
    },
    :
],
"resources": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
}],
:
],
"hypervisors": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
}],
:
],
"applications": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
}],
:
]
}

```

## UpdateTargetResourceWithAssignmentType (Type: UpdateTargetResourceWithAssignmentType)

属性	データ型	説明
volumes	TargetResource[]	割り当てるボリュームのリスト
vms	TargetResource[]	割り当てる仮想マシンのリスト
resources	TargetResource[]	割り当てるホストのリスト
hypervisors	TargetResource[]	割り当てるハイパーバイザ
applications	TargetResource[]	割り当てるアプリケーション

## volumes (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の AssignmentType の表を参照してください。)

## vms (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### resources (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### hypervisors (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### applications (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/updateTargetResourceWithAssignmentType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:04:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 ba4d83751660bee033d1ccdaf4d78e97f6c893a_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "updateTargetResourceWithAssignmentType",
  "href" : "http://10.197.198.106:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/
updateTargetResourceWithAssignmentType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "volumes" : [ ],
    "vms" : [ {
      "id" : 578,
      "assignmentType" : "NoChange"
    }, {
      "id" : 619,
      "assignmentType" : "NoChange"
    } ],
    "resources" : [ ],
    "hypervisors" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.6.11 リソースの割り当て方を指定したコンシューマーの割り当て

指定したコンシューマーを、指定した割り当て方に応じて監視対象に割り当てます。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Groups/{id}/actions/  
updateTargetResourceWithAssignmentType/invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{  
  "name": "...",  
  "href": "...",  
  "method": "...",  
  "type": "...",  
  "parameters": ["...", ...]  
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な UpdateTargetResourceWithAssignmentType のコレクション。 UpdateTargetResourceWithAssignmentType の詳細は以下の表を参照ください。

## UpdateTargetResourceWithAssignmentType

```
{  
  "volumes": [{  
    "id": "...",  
    "assignmentType": "..."  
  }],  
  :  
  ],  
  "vms": [{
```

```

        "id": "...",
        "assignmentType": "...",
    },
    :
  ],
  "resources": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
  },
  :
  ],
  "hypervisors": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
  },
  :
  ],
  "applications": [{
    "id": "...",
    "assignmentType": "...",
  },
  :
  ]
}

```

## UpdateTargetResourceWithAssignmentType (Type: UpdateTargetResourceWithAssignmentType)

属性	データ型	説明
volumes	TargetResource[]	割り当てるボリュームのリスト
vms	TargetResource[]	割り当てる仮想マシンのリスト
resources	TargetResource[]	割り当てるホストのリスト
hypervisors	TargetResource[]	割り当てるハイパーバイザ
applications	TargetResource[]	割り当てるアプリケーション

## volumes (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

## vms (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### resources (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### hypervisors (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

### applications (Type: TargetResource)

属性	データ型	説明
id	long	リソースを特定する ID
assignmentType	enum	リソース割り当て区分 (指定可能な値は「列挙型一覧」の AssignmentType の表を参照してください。)

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/updateTargetResourceWithAssignmentType/invoke
HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 288
```

```
[Request Body]
{
  "name" : "updateTargetResourceWithAssignmentType",
```

```
"href" : "http://10.197.198.106:22015/Analytics/v1/objects/Groups/10/actions/
updateTargetResourceWithAssignmentType/invoke",
"method" : "POST",
"type" : "application/json",
"parameters" : [ {
  "volumes" : [ ],
  "vms" : [ {
    "id" : 578,
    "assignmentType" : "NoChange"
  }, {
    "id" : 619,
    "assignmentType" : "NoChange"
  } ],
  "resources" : [ ],
  "hypervisors" : [ ]
} ]
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:11:06 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 154d18c71a465150d5e228e8f16bf42c4dd280_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "092d8a40-9bb3-4067-9d39-404c5c646101",
  "created" : "2016-11-22T11:30:45.805+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:30:47.122+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:30:47.122+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.7 アプリケーションに関する API 一覧

アプリケーションへの操作を説明します。

### 2.7.1 アプリケーションの一覧の取得

アプリケーションの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Applications
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Application のコレクション。Application の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Application

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "applicationType": "...",
  "applicationDetailType": "...",
  "ipAddress": "...",
  "description": "...",
  "collectorID": "...",
  "collectorName": "...",
  "applicationHosts": [{
    "resourceID": "...",
    "resourceType": "...
  }],
  :
  ],
  "autoCollectionType": "...",
  "groupIDs": ["...", ...],
  "groupNames": ["...", ...],
  "gradeNames": ["...", ...],
  "gradeOrders": ["...", ...],
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "...
}

```

## Application (Type: Application)

属性	データ型	説明
instanceID	long	インスタンスを特定する ID
name	string	発見されたリソース名
applicationType	enum	アプリケーションの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ApplicationType の表を参照してください。)

属性	データ型	説明
applicationType	enum	以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AJS_MANAGER</li> <li>• AJS_AGENT</li> <li>• PFM_SERVICERESPONSE</li> <li>• PFM_AJS3</li> <li>• PFM_DOMINO</li> <li>• PFM_EXCHANGE</li> <li>• PFM_SAPSYSTEM</li> <li>• PFM_IBMWEBSPHEREMQ</li> <li>• PFM_OPENTP1</li> <li>• PFM_COSMINEXUS</li> <li>• PFM_IIS</li> <li>• PFM_WEBLOGICSERVER</li> <li>• PFM_WEBSHEREAPPLICATIONSERVER</li> <li>• PFM_DB2</li> <li>• PFM_HIRDB</li> <li>• PFM_SQL</li> <li>• PFM_RMSQLSERVER</li> <li>• PFM_ORACLE</li> <li>• PFM_RMORACLE</li> <li>• PFM_RMPLATFORM</li> <li>• PFM_UNIX</li> <li>• PFM_WINDOWS</li> <li>• IM_OS</li> <li>• PFM_RMVIRTUALMACHINE</li> <li>• PFM_VIRTUALMACHINE</li> </ul>
applicationDetailType	string	任意のアプリケーションの種別
ipAddress	string	アプリケーションの IP アドレス
description	string	アプリケーションの詳細情報
collectorID	long	発見に使用されたコレクターを特定する ID
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称
applicationHosts	Application Host[]	アプリケーションが属するリソースの情報
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行設定 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ConnectType の表を参照してください。)
groupIDs	long[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーを特定する ID
groupNames	string[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーの名称
gradeNames	string[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーのグレード

属性	データ型	説明
gradeOrders	integer[]	アプリケーションが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報
accessPointType	enum	認証情報の種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。)
accessPointIpAddress	string	認証情報の IP アドレスまたはホスト名
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID

## applicationHosts (Type: ApplicationHost)

属性	データ型	説明
resourceID	long	アプリケーションが属するリソースの ID
resourceType	enum	アプリケーションが属するリソースの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ApplicationResourceType の表を参照してください。)

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Applications HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:50 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
```

WWW-Authenticate: HSSO 3ffa18cbf3e9f46049c06aaf52a1c5444c5e2c3a\_WVlGcHsLfg5ffg0I\_V0810  
X-Frame-Options: SAMEORIGIN  
Transfer-Encoding: chunked  
Content-Type: application/json

[Response Body]

```
{
  "pagination" : {
    "page" : 1,
    "pageSize" : 1,
    "numPages" : 569,
    "totalCount" : 569
  },
  "data" : [ {
    "instanceID" : 568,
    "name" : "IMM-HOST02",
    "applicationType" : "IM_OS",
    "ipAddress" : "10.197.73.120",
    "description" : "10.197.73.120",
    "collectorID" : 4,
    "collectorName" : "10.197.73.120",
    "applicationHosts":
    [
      {
        "resourceID": 13,
        "resourceType": "Host"
      }
    ],
    "autoCollectionType": "AutoConnect",
    "groupIDs":
    [
      0
    ],
    "groupNames":
    [
      "#Unassigned Resources"
    ],
    "gradeNames":
    [
      ""
    ],
    "gradeOrders":
    [
      -1
    ],
    "usedCredentialID" : 17,
    "accessPointType" : "IM",
    "accessPointIpAddress" : "10.197.73.120",
    "accessPointUser" : "Administrator"
  },
  {
    "instanceID": 567,
    "name": "Zabbix server1",
    "applicationType": "CUSTOM",
    "applicationDetailType": "App Zabbix Server",
    "ipAddress": "192.168.1.251",
    "description": "XX Monitoring System",
  }
}
```

```
    "collectorID": 3,  
    "collectorName": "customCollector",  
    "applicationHosts":  
    [  
    ],  
    "autoCollectionType": "AutoConnect",  
    "groupIDs":  
    [  
      0  
    ],  
    "groupNames":  
    [  
      "#Unassigned Resources"  
    ],  
    "gradeNames":  
    [  
      ""  
    ],  
    "gradeOrders":  
    [  
      -1  
    ],  
    "usedCredentialID": 0,  
    "accessPointType": "CUSTOM"  
  } ],  
  "count" : 2  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.8 仮想マシンに関する API 一覧

仮想マシンへの操作を説明します。

### 2.8.1 仮想マシンの一覧の取得

仮想マシンの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/VirtualMachines
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	VirtualMachine のコレクション。VirtualMachine の詳細は以下の表を参照ください。

属性	データ型	説明
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### VirtualMachine

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "collectorID": "...",
  "collectorName": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "clusterName": "...",
  "hypervisorType": "...",
  "hypervisorID": "...",
  "hypervisorName": "...",
  "hypervisorMonitorStatus": "...",
  "hostName": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "groupIDs": ["...", ...],
  "groupNames": ["...", ...],
  "gradeNames": ["...", ...],
  "gradeOrders": ["...", ...],
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "..."
}

```

### VirtualMachine (Type: VirtualMachine)

属性	データ型	説明
instanceID	long	仮想マシンを特定する ID

属性	データ型	説明
name	string	仮想マシンの名称
ipAddress	string	仮想マシンの IP アドレス
status	enum	仮想マシンの状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> <li>• NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	仮想マシンの監視状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ComponentMonitorType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• InUse</li> <li>• NotMonitored</li> </ul>
description	string	仮想マシンの詳細情報。
collectorID	long	発見に使用されたコレクターを特定する ID。
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称。
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AutoConnect</li> <li>• NotAutoConnect</li> </ul>
clusterName	string	仮想マシンが属するクラスタの名称
hypervisorType	enum	仮想マシンが属するハイパーバイザーの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ArgusNodeType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SERVER_ESX</li> <li>• SERVER_HYPERV</li> </ul>
hypervisorID	long	仮想マシンが属するハイパーバイザーを特定する ID
hypervisorName	string	仮想マシンが属するハイパーバイザーの名称
hypervisorMonitorStatus	enum	仮想マシンが属するハイパーバイザーの監視状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> </ul>

属性	データ型	説明
hypervisorMonitorStatus	enum	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
hostName	string	仮想マシン上で動作する OS のホスト名
thresholdProfileID	long	仮想マシンに割り当てられたしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	仮想マシンに割り当てられたしきい値プロファイルの名称
groupIDs	long[]	仮想マシンが割り当たっているコンシューマーを特定する ID
groupNames	string[]	仮想マシンが割り当たっているコンシューマーの名称
gradeNames	string[]	仮想マシンが割り当たっているコンシューマーのグレード
gradeOrders	integer[]	仮想マシンが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報のプロトコルまたはコレクターの種別。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• VCENTER</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用した IP アドレスまたはホスト名
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/VirtualMachines HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
```

```
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 05:21:50 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 7ca86aa5a44eb9b1c86c97c990674963cf98534d_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 31,
    "name" : "vm017182",
    "ipAddress" : "172.17.17.182",
    "status" : "Normal",
    "monitorStatus" : "InUse",
    "description" : "vm017182 : 564d326f-e63b-1ec9-2cf0-7d1ae7755abe",
    "collectorID" : 0,
    "collectorName" : "172.17.17.115",
    "autoCollectionType" : "AutoConnect",
    "hypervisorType" : "SERVER_ESX",
    "hypervisorID" : 1,
    "hypervisorName" : "172.17.17.181",
    "hypervisorMonitorStatus" : "Manage",
    "hostName" : "vm017182",
    "thresholdProfileID" : 19,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for VM",
    "groupIDs" : [ 0 ],
    "groupNames" : [ "#Unassigned Resources" ],
    "gradeNames" : [ "" ],
    "gradeOrders" : [ -1 ],
    "accessPointType" : "VCENTER",
    "accessPointIpAddress" : "172.17.17.115",
    "accessPointUser" : "Administrator"
  } ],
  "count" : 11
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.8.2 仮想マシンに対する操作一覧の取得

仮想マシンに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/VirtualMachines/actions
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

#### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

#### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

#### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
```

```
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions/
changeManagedType/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
- 

### 2.8.3 仮想マシンの監視状態変更に必要な情報の取得

仮想マシンの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForVM のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForVM の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForVM

```
{
  "newMonitoringOperationType": "...",
  "virtualMachineIds": ["...", ...]
}
```

### ChangeManagedTypeParamForVM (Type: ChangeManagedTypeParamForVM)

属性	データ型	説明
newMonitoringOperationType	enum	変更したい監視状態を指定します。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の MonitoringOperationType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>Monitor</li><li>Ignore</li></ul>
virtualMachineIds	long[]	仮想マシンを特定する ID を指定します。複数同時に指定する場合は、ID を連結して指定します。

属性	データ型	説明
virtualMachineIds	long[]	instanceID=50,51 を指定する場合は以下のように指定します。 virtualMachineIds : [ 50, 51 ]

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitoringOperationType" : "Monitor",
    "virtualMachineIds" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.8.4 仮想マシンの監視状態の変更

仮想マシンの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/VirtualMachines/actions/
changeManagedType/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。

属性	データ型	説明
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForVM のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForVM の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForVM

```

{
  "newMonitoringOperationType": "...",
  "virtualMachineIds": ["...", ...]
}

```

## ChangeManagedTypeParamForVM (Type: ChangeManagedTypeParamForVM)

属性	データ型	説明
newMonitoringOperationType	enum	変更したい監視状態を指定します。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の MonitoringOperationType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Monitor</li> <li>Ignore</li> </ul>
virtualMachineIds	long[]	仮想マシンを特定する ID を指定します。複数同時に指定する場合は、ID を連結して指定します。 instanceID=50,51 を指定する場合は以下のように指定します。 virtualMachineIds : [ 50, 51 ]

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```

{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}

```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。

属性	データ型	説明
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 296
```

```
[Request Body]
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/VirtualMachines/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
```

```
"parameters" : [ {  
  "newMonitoringOperationType" : "Ignore",  
  "virtualMachineIds" : [ 31, 80 ]  
} ]  
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK  
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT  
Server: Cosminexus HTTP Server  
Cache-Control: no-cache  
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810  
X-Frame-Options: SAMEORIGIN  
Transfer-Encoding: chunked  
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{  
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",  
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",  
  "updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
  "completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
  "state" : "success",  
  "affectedResource" : [ ],  
  "result" : [ ]  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.9 ハイパーバイザーに関する API 一覧

ハイパーバイザーへの操作を説明します。

### 2.9.1 ハイパーバイザーの一覧の取得

ハイパーバイザーの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Hypervisors
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Hypervisor のコレクション。Hypervisor の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Hypervisor

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "collectorID": "...",
  "collectorName": "...",
  "autoCollectionType": "...",
  "clusterName": "...",
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "hypervisorType": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "...",
  "groupIDs": ["...", ...],
  "groupNames": ["...", ...],
  "gradeNames": ["...", ...],
  "gradeOrders": ["...", ...]
}

```

## Hypervisor (Type: Hypervisor)

属性	データ型	説明
instanceID	long	ハイパーバイザーを特定する ID
name	string	ハイパーバイザーの名称
ipAddress	string	ハイパーバイザーの IP アドレス
status	enum	ハイパーバイザーの状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。)

属性	データ型	説明
status	enum	以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> <li>• NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	ハイパーバイザーの監視状態。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
description	string	ハイパーバイザーの詳細情報
collectorID	long	発見に使用されたコレクターを特定する ID。
collectorName	string	発見に使用されたコレクターの名称。
autoCollectionType	enum	コレクターの定期実行の設定。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ConnectType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AutoConnect</li> <li>• NotAutoConnect</li> </ul>
clusterName	string	ハイパーバイザーが登録されているクラスタの名称
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。
hypervisorType	string	ハイパーバイザーの種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SERVER_ESX:ESX サーバ</li> <li>• SERVER_HYPERV:Hyper-V サーバ</li> </ul>
thresholdProfileID	long	ハイパーバイザーに割り当たっているしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	ハイパーバイザーに割り当たっているしきい値プロファイルの名称
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報のプロトコルまたはコレクターの種別。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• VCENTER</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用した IP アドレスまたはホスト名

属性	データ型	説明
accessPointUser	string	監視対象または管理ソフトウェアへの接続に使用したユーザー ID
groupIDs	long[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーを特定する ID
groupNames	string[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーの名称
gradeNames	string[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーのグレード
gradeOrders	integer[]	ハイパーバイザーが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Hypervisors HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 20:11:36 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 87d94e387ca516a82287ff4254ddac7f44e18bd4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data": [ {
    "instanceID": 4,
    "name": "hyperV",
    "ipAddress": "10.197.87.56",
    "status": "Unknown",
    "monitorStatus": "Manage",
```

```
"description" : "Hyper-V 4C4C4544-0037-4710-8036-B7C04F504258",
"usedCredentialID" : 9,
"usedCredentials" : "10.197.87.56",
"hypervisorType" : "HYPERV",
"thresholdProfileID" : 23,
"thresholdProfileName" : "Default Profile for Hyper-V",
"accessPointType" : "WMI",
"accessPointIpAddress" : "10.197.87.56",
"accessPointUser" : "Administrator"
}, {
  "instanceID" : 1,
  "name" : "172.17.17.181",
  "ipAddress" : "172.17.17.181",
  "status" : "Normal",
  "monitorStatus" : "Manage",
  "description" : "ESX 42234bf5-2c85-4bd6-7452-5b235faae0d2",
  "collectorID" : 0,
  "collectorName" : "172.17.17.115",
  "autoCollectionType" : "AutoConnect",
  "hypervisorType" : "ESX",
  "thresholdProfileID" : 6,
  "thresholdProfileName" : "Default Profile for ESX",
  "accessPointType" : "VCENTER",
  "accessPointIpAddress" : "172.17.17.115",
  "accessPointUser" : "Administrator"
} ], "count" : 2
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
- 

## 2.9.2 ハイパーバイザーに対する操作一覧の取得

ハイパーバイザーに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hypervisors/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### Action

```
{
  "name":"...",
  "href":"...",
  "method":"...",
  "type":"...",
  "parameters":["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/Hypervisors/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hypervisors/actions/
changeManagedType/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
```

```
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.9.3 ハイパーバイザーの監視状態変更に必要な情報の取得

ハイパーバイザーの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hypervisors/actions/changeManagedType
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForRes

```

{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}

```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

[Request Header]
------------------

```
GET /Analytics/v1/services/Hypervisors/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hypervisors/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus": "Manage",
    "ids" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
- 

## 2.9.4 ハイパーバイザーの監視状態の変更

ハイパーバイザーの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hypervisors/actions/changeManagedType/
invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

### ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• New</li><li>• Manage</li><li>• ignore</li></ul>

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	• MonitorOff
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/services/Hypervisors/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 287

[Request Body]
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hypervisors/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus" : "MonitorOff",
    "ids" : [ 50 ]
  } ]
}

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
```

```
"result" : [ ]  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.10 ホストに関する API 一覧

ホストへの操作を説明します。

### 2.10.1 ホストの一覧の取得

ホストの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Hosts
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Host のコレクション。Host の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Host

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "osType": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "vmName": "...",
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "groupIDs": ["...", ...],
  "groupNames": ["...", ...],
  "deviceClassificationLabel": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "...
}

```

## Host (Type: Host)

属性	データ型	説明
instanceID	long	ホストを特定する ID
name	string	ホストの名称
ipAddress	string	ホストの IP アドレス
osType	string	ホストの OS 種別。以下の値のみ指定可能。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SERVER_WINDOWS:OS が Windows である。</li> <li>SERVER_LINUX:OS が Linux である。</li> <li>SERVER_SOL:OS が Solaris である。</li> <li>SERVER_HPUX:OS が HP-UX である。</li> </ul>

属性	データ型	説明
osType	string	・ SERVER_AIX:OS が AIX である。
status	enum	ホストの状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> <li>• NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	ホストの監視状態。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
description	string	ホストの詳細情報
vmName	string	ホストが仮想マシン上で動作している場合の仮想マシン名。
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。
thresholdProfileID	long	ホストに割り当てられたしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	ホストに割り当てられたしきい値プロファイルの名称
groupIDs	long[]	ホストに割り当てられたコンシューマーを特定する ID
groupNames	string[]	ホストに割り当てられたコンシューマーのグレード名称
deviceClassificationLabel	string	ホストに割り当てられた分類ラベル
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMI</li> <li>• SSH</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/Hosts HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:11:36 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 87d94e387ca516a82287ff4254ddac7f44e18bd4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data": [ {
    "instanceID": 8,
    "name": "fuji",
    "ipAddress": "10.197.87.43",
    "status": "Unknown",
    "osType": "SERVER_LINUX",
    "monitorStatus": "Manage",
    "description": "XXXX YYYY/ZZ Linux Server",
    "deviceClassificationLabel": "Linux Development Env",
    "usedCredentialID": 17,
    "usedCredentials": "10.197.87.43",
    "thresholdProfileID": 4,
    "thresholdProfileName": "Default Profile for Linux/UNIX",
    "groupIDs": [ 0 ],
    "groupNames": [ "#Unassigned Resources" ],
    "accessPointType": "SSH",
    "accessPointIpAddress": "10.197.87.43",
    "accessPointUser": "root"
  }
]
```

```
} ],  
"count" : 1  
}
```

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
- 1.6 列挙型一覧

## 2.10.2 ホストに対する操作一覧の取得

ホストに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hosts/actions
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{  
  "data":["...", ...],  
  "pagination":{  
    "page":"...",  
    "pageSize":"...",  
    "numPages":"...",  
    "totalCount":"..."  
  },  
  "count":"..."  
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### Action

```

{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}

```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

### ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/Hosts/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType/
invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.10.3 ホストの監視状態変更に必要な情報の取得

ホストの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hosts/actions/changeManagedType
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• New</li><li>• Manage</li><li>• ignore</li><li>• MonitorOff</li></ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
```

```
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType/
invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ {
      "newMonitorStatus": "Manage",
      "ids" : [ ]
    } ]
  }
}
```

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
- 1.6 列挙型一覧

## 2.10.4 ホストの監視状態の変更

ホストの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/Hosts/actions/changeManagedType/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 279
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Hosts/actions/changeManagedType/"
```

```
invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus" : "MonitorOff",
    "ids" : [ 50 ]
  } ]
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.11 IP スイッチに関する API 一覧

IP スイッチへの操作を説明します。

### 2.11.1 IP スイッチの一覧の取得

IP スイッチの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/IPSwitches
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	IPSwitch のコレクション。IPSwitch の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## IPSwitch

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointSnmpVersion": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "...
}

```

## IPSwitch (Type: IPSwitch)

属性	データ型	説明
instanceID	long	IP スイッチを特定する ID
name	string	IP スイッチの名称
ipAddress	string	IP スイッチの IP アドレス
status	enum	IP スイッチの状態 (指定可能な値は「列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> </ul>

属性	データ型	説明
status	enum	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	<p>IP スイッチの監視状態。 (指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の ManagementLevelType の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
description	string	IP スイッチの詳細情報
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。
thresholdProfileID	long	IP スイッチに割り当たっているしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	IP スイッチに割り当たっているしきい値プロファイルの名称
accessPointType	enum	<p>発見時に使用された認証情報の種別。 (指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の ProtocolType の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMP</li> </ul>
accessPointSnmpVersion	enum	<p>発見時に使用された SNMP のバージョン。 (指定可能な値は「<a href="#">列挙型一覧</a>」の SnmpVersion の表を参照してください。)</p> <p>以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1_V2C</li> <li>• V3</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/objects/IPSwitches HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 21:15:36 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 87d94e387ca516a82287ff4254ddac7f44e18bd4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 3,
    "name" : "dell2",
    "ipAddress" : "10.197.87.242",
    "status" : "Unknown",
    "monitorStatus" : "Manage",
    "description" : "YYYY Ethernet Switch",
    "usedCredentialID" : 7,
    "usedCredentials" : "10.197.87.242",
    "thresholdProfileID" : 10,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for IP Switch",
    "accessPointType" : "SNMP",
    "accessPointSnmVersion" : "V1_V2C",
    "accessPointIpAddress" : "10.197.87.242",
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.11.2 IP スイッチに対する操作一覧の取得

IP スイッチに対して実行できる操作の一覧を取得します。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/IPSwitches/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。 Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数

属性	データ型	説明
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/IPSwitches/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
```

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/IPSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

### 2.11.3 IP スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得

IP スイッチの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/IPSwitches/actions/changeManagedType
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

### ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• New</li><li>• Manage</li><li>• ignore</li><li>• MonitorOff</li></ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/IPSwitches/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/IPSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus": "Manage",
    "ids" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.11.4 IP スイッチの監視状態の変更

IP スイッチの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/IPSwitches/actions/changeManagedType/
invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• New</li><li>• Manage</li><li>• ignore</li><li>• MonitorOff</li></ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/IPSwitches/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 284
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/IPSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus" : "MonitorOff",
    "ids" : [ 50 ]
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",
  "updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.12 FC スイッチに関する API 一覧

FC スイッチへの操作を説明します。

### 2.12.1 FC スイッチの一覧の取得

FC スイッチの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/FCSwitches
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	FCSwitch のコレクション。FCSwitch の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## FCSwitch

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "wwn": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "...
}

```

## FCSwitch (Type: FCSwitch)

属性	データ型	説明
instanceID	long	FC スイッチを特定する ID
name	string	FC スイッチの名称
ipAddress	string	FC スイッチの IP アドレス
status	enum	FC スイッチの状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> </ul>

属性	データ型	説明
status	enum	<ul style="list-style-type: none"> <li>NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	FC スイッチの監視状態。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>New</li> <li>Manage</li> <li>ignore</li> <li>MonitorOff</li> </ul>
description	string	FC スイッチの詳細情報
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報の名称。
wwn	string	FC スイッチの WWN の値
thresholdProfileID	long	FC スイッチに割り当たっているしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	FC スイッチに割り当たっているしきい値プロファイルの名称
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>WBEM</li> <li>SNMP</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/FCSwitches HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
```

```
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:11:36 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 87d94e387ca516a82287ff4254ddac7f44e18bd4_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 5,
    "name" : "SANbox",
    "ipAddress" : "10.197.87.222",
    "status" : "Unknown",
    "monitorStatus" : "Manage",
    "description" : "FC Switch",
    "usedCredentialID" : 6,
    "usedCredentials" : "10.197.87.222",
    "wwn" : "10:00:00:C0:DD:0D:62:E4",
    "thresholdProfileID" : 8,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for FC Switch",
    "accessPointType" : "WBEM",
    "accessPointIpAddress" : "10.197.87.222",
    "accessPointUser" : "admin"
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.12.2 FC スイッチに対する操作一覧の取得

FC スイッチに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/FCSwitches/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/FCSwitches/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/FCSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
- 1.6 列挙型一覧

### 2.12.3 FC スイッチの監視状態変更に必要な情報の取得

FC スイッチの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/FCSwitches/actions/changeManagedType
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

#### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
```

```

    "type": "...",
    "parameters": ["...", ...]
}

```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForRes

```

{
    "newMonitorStatus": "...",
    "ids": ["...", ...]
}

```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/FCSwitches/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/FCSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus": "Manage",
    "ids" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.12.4 FC スイッチの監視状態の変更

FC スイッチの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/FCSwitches/actions/changeManagedType/
invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Job

```

{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}

```

Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されま す。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リ ソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/FCSwitches/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 284
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/FCSwitches/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus" : "MonitorOff",
    "ids" : [ 50 ]
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",
```

```
"updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
"completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
"state" : "success",  
"affectedResource" : [ ],  
"result" : [ ]  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.13 ストレージシステムに関する API 一覧

ストレージシステムへの操作を説明します。

### 2.13.1 ストレージシステムの一覧の取得

ストレージシステムの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/StorageSystems
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	StorageSystem のコレクション。StorageSystem の詳細は以下の表を参照ください。

属性	データ型	説明
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

### StorageSystem

```

{
  "instanceID": "...",
  "name": "...",
  "ipAddress": "...",
  "status": "...",
  "monitorStatus": "...",
  "description": "...",
  "usedCredentialID": "...",
  "usedCredentials": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "accessPointType": "...",
  "accessPointIpAddress": "...",
  "accessPointUser": "..."
}

```

### StorageSystem (Type: StorageSystem)

属性	データ型	説明
instanceID	long	ストレージシステムを特定する ID
name	string	ストレージシステムの名称
ipAddress	string	ストレージシステムの IP アドレス
status	enum	<p>ストレージシステムの状態 (指定可能な値は「列挙型一覧」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> </ul>

属性	データ型	説明
status	enum	<ul style="list-style-type: none"> <li>NotMonitored</li> </ul>
monitorStatus	enum	ストレージシステムの監視状態。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>New</li> <li>Manage</li> <li>ignore</li> <li>MonitorOff</li> </ul>
description	string	ストレージシステムの詳細情報
usedCredentialID	long	発見時に使用された認証情報の名称。
usedCredentials	string	発見時に使用された認証情報を特定する ID。
thresholdProfileID	long	ストレージシステムに割り当たっているしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	ストレージシステムに割り当たっているしきい値プロファイル名称
accessPointType	enum	発見時に使用された認証情報の種別。 (指定可能な値は「列挙型一覧」の ProtocolType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>WBEM</li> </ul>
accessPointIpAddress	string	監視対象への接続に使用した IP アドレス
accessPointUser	string	監視対象への接続に使用したユーザー ID

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/StorageSystems HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
```

Accept-Language: ja

[Response Header]

HTTP/1.1 200 OK

Date: Fri, 27 Nov 2015 07:11:36 GMT

Server: Cosminexus HTTP Server

Cache-Control: no-cache

WWW-Authenticate: HSSO 87d94e387ca516a82287ff4254ddac7f44e18bd4\_WVlGcHsLfg5ffg0I\_V0810

X-Frame-Options: SAMEORIGIN

Transfer-Encoding: chunked

Content-Type: application/json

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 6,
    "name" : "storage",
    "ipAddress" : "10.197.87.17, 192.168.20.54",
    "status" : "Unknown",
    "monitorStatus" : "Manage",
    "description" : "Storage Systems",
    "usedCredentialID" : 10,
    "usedCredentials" : "172.17.3.107",
    "thresholdProfileID" : 14,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for Storage (SMI-S WBEM)",
    "accessPointType" : "WBEM",
    "accessPointIpAddress" : "172.17.3.107",
    "accessPointUser" : "Administrator"
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.13.2 ストレージシステムに対する操作一覧の取得

ストレージシステムに対して実行できる操作の一覧を取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/StorageSystems/actions
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

### Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Action のコレクション。Action の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。
count	int	条件に合致したデータの個数

### pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Action

```
{
  "name":"...",
  "href":"...",
  "method":"...",
  "type":"...",
}
```

```
} "parameters":["...", ...]
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要なコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/StorageSystems/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja

[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json

[Response Body]
{
```

```
  "data" : [ {
    "name" : "changeManagedType",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/StorageSystems/actions/
changeManagedType/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
- 1.6 列挙型一覧

### 2.13.3 ストレージシステムの監視状態変更に必要な情報の取得

ストレージシステムの監視状態を変更するために必要な情報を取得します。

## 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/StorageSystems/actions/changeManagedType
```

## リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
}
```

```

    "parameters":["...", ...]
  }

```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

## ChangeManagedTypeParamForRes

```

{
  "newMonitorStatus":"...",
  "ids":["...", ...]
}

```

## ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/StorageSystems/actions/changeManagedType HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:19:21 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 5120405fb8a980d12331c748369039cf28af252_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/StorageSystems/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus": "Manage",
    "ids" : [ ]
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.13.4 ストレージシステムの監視状態の変更

ストレージシステムの監視状態を変更します。

### 権限

Admin, Modify

## API のバージョン

v1

## リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/StorageSystems/actions/changeManagedType/invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ChangeManagedTypeParamForRes のコレクション。 ChangeManagedTypeParamForRes の詳細は以下の表を参照ください。

### ChangeManagedTypeParamForRes

```
{
  "newMonitorStatus": "...",
  "ids": ["...", ...]
}
```

### ChangeManagedTypeParamForRes (Type: ChangeManagedTypeParamForRes)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	設定するリソースの管理状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。)

属性	データ型	説明
newMonitorStatus	enum	以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
ids	long[]	リソースの ID のリスト

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Job

```

{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}

```

Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されま す。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リ ソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果のコレクション。空欄です。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	更新権限がない
404	Not Found	リソースが存在しない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/StorageSystems/actions/changeManagedType/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 288
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "changeManagedType",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/StorageSystems/actions/
changeManagedType/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "newMonitorStatus" : "MonitorOff",
    "ids" : [ 50 ]
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "53b1e702-9750-4c1c-9857-d1a3a8d4cac7",
  "created" : "2015-11-27T18:22:28.528+09:00",
```

```
"updated" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
"completed" : "2015-11-27T18:22:28.647+09:00",  
"state" : "success",  
"affectedResource" : [ ],  
"result" : [ ]  
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.14 ボリュームに関する API 一覧

ボリュームへの操作を説明します。

### 2.14.1 ボリュームの一覧の取得

ボリュームの一覧を取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/objects/Volumes
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Collections

```
{
  "data":["...", ...],
  "pagination":{
    "page":"...",
    "pageSize":"...",
    "numPages":"...",
    "totalCount":"..."
  },
  "count":"..."
}
```

Collections (Type: Collections)

属性	データ型	説明
data	anyType[]	Volume のコレクション。Volume の詳細は以下の表を参照ください。
pagination	Pagination	ページ情報。リソースが存在しない場合、このパラメータは表示されません。

属性	データ型	説明
count	int	条件に合致したデータの個数

## pagination (Type: Pagination)

属性	データ型	説明
page	integer	ページ
pageSize	integer	ページサイズ
numPages	integer	ページの数
totalCount	integer	オブジェクトの数

## Volume

```

{
  "instanceID": "...",
  "status": "...",
  "ldev": "...",
  "storageSubsystemID": "...",
  "storageSubsystem": "...",
  "storageSubsystemMonitorStatus": "...",
  "parityGroup": "...",
  "storagePool": "...",
  "thresholdProfileID": "...",
  "thresholdProfileName": "...",
  "groupIDs": ["...", ...],
  "groupNames": ["...", ...],
  "gradeNames": ["...", ...],
  "gradeOrders": ["...", ...]
}

```

## Volume (Type: Volume)

属性	データ型	説明
instanceID	long	ボリュームをを特定する ID
status	enum	ボリュームの状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeStatusType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Normal</li> <li>• Warning</li> <li>• Error</li> <li>• Unreachable</li> <li>• Unknown</li> </ul>
ldev	string	ボリュームが属する LDEV の名称
storageSubsystemID	long	ボリュームが属するストレージシステムを特定する ID

属性	データ型	説明
storageSubsystem	string	ボリュームが属するストレージシステムの名称
storageSubsystemMonitor Status	enum	ボリュームが属するストレージシステムの監視状態 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の ManagementLevelType の表を参照してください。) 以下に示す値のみ指定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• New</li> <li>• Manage</li> <li>• ignore</li> <li>• MonitorOff</li> </ul>
parityGroup	string	ボリュームが属するパリティグループの名称
storagePool	string	ボリュームが属するストレージシステムプールの名称
thresholdProfileID	long	ボリュームに割りあっているしきい値プロファイルを特定する ID
thresholdProfileName	string	ボリュームに割りあっているしきい値プロファイルの名称
groupIDs	long[]	ボリュームが割り当たっているコンシューマーを特定する ID
groupNames	string[]	ボリュームが割り当たっているコンシューマーの名称
gradeNames	string[]	ボリュームが割り当たっているコンシューマーのグレード
gradeOrders	integer[]	ボリュームが割り当たっているコンシューマーのグレードの優先度

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	参照権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/objects/Volumes HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

```
[Response Header]
```

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 07:11:36 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 df3a7ac35f3b99a9b2afafd22d433167067da9_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "instanceID" : 540,
    "status" : "Unknown",
    "ldev" : "vol0 (LU NUM=699d3b60-18f9-11de-a169-00a09810f3f4)",
    "storageSubsystemID" : 6,
    "storageSubsystem" : "FAS2050A-2",
    "storageSubsystemMonitorStatus" : "Manage",
    "thresholdProfileID" : 21,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for Volume",
    "groupIDs" : [ 0 ],
    "groupNames" : [ "#Unassigned Resources" ],
    "gradeNames" : [ "" ],
    "gradeOrders" : [ -1 ]
  }, {
    "instanceID" : 534,
    "status" : "Unknown",
    "ldev" : "vol1 (LU NUM=7cb5b900-1c0e-11de-9f89-00a09810f3f4)",
    "storageSubsystemID" : 6,
    "storageSubsystem" : "FAS2050A-2",
    "storageSubsystemMonitorStatus" : "Manage",
    "thresholdProfileID" : 21,
    "thresholdProfileName" : "Default Profile for Volume",
    "groupIDs" : [ 0 ],
    "groupNames" : [ "#Unassigned Resources" ],
    "gradeNames" : [ "" ],
    "gradeOrders" : [ -1 ]
  } ],
  "count" : 2
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.15 イベント情報に関する API 一覧

イベントの情報を取得するための操作を説明します。

### 2.15.1 イベントの一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得

イベントの一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/Events/actions/getEventDataCSV
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

##### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

##### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。

属性	データ型	説明
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ListGetParam のコレクション。ListGetParam の詳細は以下の表を参照ください。

## ListGetParam

```
{
  "hqlFilter": "...",
  "hqlSort": "...",
  "page": "...",
  "pageSize": "...
}
```

## ListGetParam (Type: ListGetParam)

属性	データ型	説明
hqlFilter	string	フィルタ情報
hqlSort	string	ソート情報
page	integer	取得ページ
pageSize	integer	ページサイズ

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
```

```
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

```
[Response Body]
{
  "data": [{
    "name": "getNodesGraphDataCSV",
    "href": "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV/
invoke",
    "method": "POST",
    "type": "application/json",
    "parameters": [ {
      "hqlFilter": "",
      "hqlSort": "",
      "page": 1,
      "pageSize": 0
    } ],
    "count": 1
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.15.2 イベントの一覧を CSV で取得

イベントの一覧を CSV で取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/Events/actions/getEventDataCSV/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

## Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な ListGetParam のコレクション。 ListGetParam の詳細は以下の表を参照ください。

## ListGetParam

```
{
  "hqlFilter": "...",
  "hqlSort": "...",
  "page": "...",
  "pageSize": "..."
}
```

### ListGetParam (Type: ListGetParam)

属性	データ型	説明
hqlFilter	string	フィルタ情報
hqlSort	string	ソート情報
page	integer	取得ページ
pageSize	integer	ページサイズ

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
}
```

```

    "updated": "...",
    "completed": "...",
    "state": "...",
    "affectedResource": ["...", ...],
    "result": ["...", ...]
}

```

## Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果, 作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果の CsvData のコレクション。CsvData の詳細は以下の表を参照ください。

## CsvData

```

{
    "data": "...",
}

```

## CsvData (Type: CsvData)

属性	データ型	説明
data	string	CSV データが格納されます。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	実行権限がない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 296
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "getNodeGraphDataCSV",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/Events/actions/getEventDataCSV/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "hqlFilter" : "",
    "hqlSort" : "",
    "page" : 1,
    "pageSize" : 0
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ {
    "data": ""#JP1/Operations Analytics", "111000", "UTF-8 (BOM)"#n"#Event Information"#n..."
  } ]
}
```

```
} ]  
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
-

## 2.16 [E2E ビュー] 画面に関する API 一覧

指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を取得するための操作を説明します。

### 2.16.1 指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得

指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得するために必要な情報の取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。

属性	データ型	説明
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetNodesDataCSVParam のコレクション。 GetNodesDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

## GetNodesDataCSVParam

```
{
  "basePointNodes": [{
    "nodeID": "...",
    "nodeType": "...",
  },
  :
  ],
  "getType": "...",
}
```

## GetNodesDataCSVParam (Type: GetNodesDataCSVParam)

属性	データ型	説明
basePointNodes	E2ENodeKey[]	ベースポイントとして指定する、取得対象のノードのリスト
getType	enum	取得する情報の区分 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeInformationType の表を参照してください。)

## basePointNodes (Type: E2ENodeKey)

属性	データ型	説明
nodeID	long	ノードの ID
nodeType	enum	ノードの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の E2ENodeType の表を参照してください。)

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET http://127.0.0.1:22015/Analytics/v1/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 22 Nov 2016 02:43:37 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSSO
33659a74fcee4358dc272b34eca6ded1bf1131ec_YXZvNFIMehp3UB4jbmVyPGUgT3Q=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
X-XSS-Protection: 1; mode=block
X-Content-Type-Options: nosniff
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "name": "getNodesDataCSV",
  "href": "http://10.197.196.239:22015/Analytics/v1/services/E2EView/actions/
getNodesDataCSV/invoke",
  "method": "POST",
  "type": "application/json",
  "parameters": [
    {
      "basePointNodes": [{
        "nodeID": 1,
        "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
      }],
      "selectedNodes": [{
        "nodeID": 1,
        "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
      }],
      "highlightNodes": [{
        "nodeID": 1,
        "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
      }],
      "getType": "AllInformation"
    }
  ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.16.2 指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得

指定したリソースの情報や関連するリソース一覧を CSV で取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetNodesDataCSVParam のコレクション。 GetNodesDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

GetNodesDataCSVParam

```
{
  "basePointNodes": [{
    "nodeID": "...",
    "nodeType": "...",
  },
]
```

```

    :
  ],
  "getType": "... "
}

```

## GetNodesDataCSVParam (Type: GetNodesDataCSVParam)

属性	データ型	説明
basePointNodes	E2ENodeKey[]	ベースポイントとして指定する、取得対象のノードのリスト
getType	enum	取得する情報の区分 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の NodeInformationType の表を参照してください。)

## basePointNodes (Type: E2ENodeKey)

属性	データ型	説明
nodeID	long	ノードの ID
nodeType	enum	ノードの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の E2ENodeType の表を参照してください。)

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```

{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}

```

## Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。

属性	データ型	説明
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果, 作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果の CsvData のコレクション。CsvData の詳細は以下の表を参照ください。

## CsvData

```
{
  "data": "...
}
```

## CsvData (Type: CsvData)

属性	データ型	説明
data	string	CSV データが格納されます。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーが起動していない</li> <li>クエリパラメータしきい値超え</li> </ul>
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST http://127.0.0.1:22015/Analytics/v1/services/E2EView/actions/getNodesDataCSV/invoke
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json

[Request Body]
{
  "basePointNodes": [{
    "nodeID": 1,
```

```
    "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
  }],
  "selectedNodes": [{
    "nodeID": 1,
    "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
  }],
  "highlightNodes": [{
    "nodeID": 1,
    "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
  }],
  "getType": "AllInformation"
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 22 Nov 2016 02:43:37 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0
33659a74fcee4358dc272b34eca6ded1bf1131ec_YXZvNFIMehp3UB4jbmVyPGUgT3Q=_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
X-XSS-Protection: 1; mode=block
X-Content-Type-Options: nosniff
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ {
    "data": ""#JP1/Operations Analytics", "111000", "UTF-8 (BOM)"#n"#Resource
Information"#n..."
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

## 2.17 性能情報に関する API 一覧

性能情報を取得するための操作を説明します。

### 2.17.1 指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得するために必要な情報の取得

指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得するために必要な情報の取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/getGraphDataCSV
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

##### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

##### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。

属性	データ型	説明
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetGraphDataCSVParam のコレクション。 GetGraphDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

## GetGraphDataCSVParam

```
{
  "perfComponentIDs":["...", ...],
  "baseTime":"...",
  "pointTimeRange":"..."
}
```

## GetGraphDataCSVParam (Type: GetGraphDataCSVParam)

属性	データ型	説明
perfComponentIDs	long[]	PerfComponent の ID
baseTime	dateTime	性能情報を取得する基点の時刻。指定した時刻から pointTimeRange で指定した期間さかのぼった時刻までの性能情報を取得します。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。
pointTimeRange	long	性能情報を取得する期間 [ミリ秒]

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
GET /Analytics/v1/services/PerfComponents/actions HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

```
[Response Header]
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
```

```
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "data" : [ {
    "name" : "getGraphDataCSV",
    "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/
getGraphDataCSV/invoke",
    "method" : "POST",
    "type" : "application/json",
    "parameters" : [ {
      "perfComponentIDs" : [ ],
      "baseTime" : "2016-11-25T11:11:04.489+09:00",
      "pointTimeRange" : 86400000
    } ]
  } ],
  "count" : 1
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
- 

## 2.17.2 指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得

指定した性能情報の時系列での性能値を CSV で取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/getGraphDataCSV/
invoke
```

## リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

### Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetGraphDataCSVParam のコレクション。 GetGraphDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

### GetGraphDataCSVParam

```
{
  "perfComponentIDs": ["...", ...],
  "baseTime": "...",
  "pointTimeRange": "..."
}
```

### GetGraphDataCSVParam (Type: GetGraphDataCSVParam)

属性	データ型	説明
perfComponentIDs	long[]	PerfComponent の ID
baseTime	dateTime	性能情報を取得する基点の時刻。指定した時刻から pointTimeRange で指定した期間さかのぼった時刻までの性能情報を取得します。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。
pointTimeRange	long	性能情報を取得する期間 [ミリ秒]

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```
{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}
```

## Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果の CsvData のコレクション。CsvData の詳細は以下の表を参照ください。

## CsvData

```
{
  "data": "...
}
```

## CsvData (Type: CsvData)

属性	データ型	説明
data	string	CSV データが格納されます。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	実行権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
POST /Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/getGraphDataCSV/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVt0m1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 296
```

### [Request Body]

```
{
  "name" : "getGraphDataCSV",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/
getGraphDataCSV/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [ {
    "perfComponentIDs" : [ ],
    "baseTime" : "2016-11-25T11:11:04.489+09:00",
    "pointTimeRange" : 86400000
  } ]
}
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
```

```
"affectedResource" : [ ],
"result" : [ {
  "data": ""#JP1/Operations Analytics", "111000", "UTF-8 (BOM)"#n"#Time Series Performance
Information"#n..."
} ]
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
- [1.6 列挙型一覧](#)

## 2.17.3 指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得するために必要な情報の取得

指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得するために必要な情報の取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/
getNodeGraphDataCSV
```

### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{
  "name": "...",
  "href": "...",
  "method": "...",
  "type": "...",
  "parameters": ["...", ...]
}
```

## Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetNodesGraphDataCSVParam のコレクション。 GetNodesGraphDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

## GetNodesGraphDataCSVParam

```
{
  "basePointNodes": [{
    "nodeID": "...",
    "nodeType": "..."
  },
  :
  ],
  "baseTime": "..."
}
```

## GetNodesGraphDataCSVParam (Type: GetNodesGraphDataCSVParam)

属性	データ型	説明
basePointNodes	E2ENodeKey[]	ベースポイントとして指定する、取得対象のノードのリスト
baseTime	dateTime	性能情報を取得する基点の時刻。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。

## basePointNodes (Type: E2ENodeKey)

属性	データ型	説明
nodeID	long	ノードの ID
nodeType	enum	ノードの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の E2ENodeType の表を参照してください。)

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
401	Unauthorized	ログイン権限がない

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/getNodesGraphDataCSV HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:17:42 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 1e89694342cfad52de32bd8e1a2921a48b8d8_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "data": [{
    "name": "getNodesGraphDataCSV",
    "href": "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/getNodesGraphDataCSV/invoke",
    "method": "POST",
    "type": "application/json",
    "parameters": [{
      "basePointNodes": [{
        "nodeID": 1,
        "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
      }],
      "selectedNodes": [{
        "nodeID": 1,
        "nodeType": "VIRTUAL_MACHINE"
      }],
      "baseTime": "2016-11-28T16:03:02.592+09:00"
    }],
  }],
  "count": 1
}
```

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)

## 2.17.4 指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得

指定したリソースが持つ性能情報の最新値を CSV で取得します。

### 権限

Admin, Modify

### API のバージョン

v1

### リクエスト形式

```
POST http[s]://host:port/Analytics/version/services/PerfComponents/actions/  
getNodeGraphDataCSV/invoke
```

### リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Action

```
{  
  "name": "...",  
  "href": "...",  
  "method": "...",  
  "type": "...",  
  "parameters": ["...", ...]  
}
```

Action (Type: Action)

属性	データ型	説明
name	string	操作名です。
href	string	操作の実行先 URL です。
method	string	メソッド名です。
type	string	データのデータ形式です。
parameters	anyType[]	操作実行時に必要な GetNodesGraphDataCSVParam のコレクション。 GetNodesGraphDataCSVParam の詳細は以下の表を参照ください。

### GetNodesGraphDataCSVParam

```

{
  "basePointNodes": [{
    "nodeID": "...",
    "nodeType": "..."
  }],
  :
  ],
  "baseTime": "..."
}

```

### GetNodesGraphDataCSVParam (Type: GetNodesGraphDataCSVParam)

属性	データ型	説明
basePointNodes	E2ENodeKey[]	ベースポイントとして指定する、取得対象のノードのリスト
baseTime	dateTime	性能情報を取得する基点の時刻。省略した場合は、API を実行した時刻が基点として使用されます。

### basePointNodes (Type: E2ENodeKey)

属性	データ型	説明
nodeID	long	ノードの ID
nodeType	enum	ノードの種別 (指定可能な値は「 <a href="#">列挙型一覧</a> 」の E2ENodeType の表を参照してください。)

## レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

### Job

```

{
  "instanceID": "...",
  "created": "...",
  "updated": "...",
  "completed": "...",
  "state": "...",
  "affectedResource": ["...", ...],
  "result": ["...", ...]
}

```

### Job (Type: Job)

属性	データ型	説明
instanceID	string	インスタンスの ID を示します。
created	string	オブジェクトの生成日付を示します。ISO8601 形式です。

属性	データ型	説明
updated	string	オブジェクトが更新された時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
completed	string	処理が完了した時刻を示します。created と同時刻が設定されます。ISO8601 形式です。
state	string	以下の値が設定されます。 “failed”: 操作が正常終了しなかったことを示します。 “success”: 操作が正常終了したことを示します。
affectedResource	string[]	操作の結果、作成または更新された API のリソースの URL を示します。リソースが存在しない場合、このパラメータは空欄です。
result	anyType[]	実行結果の CsvData のコレクション。CsvData の詳細は以下の表を参照ください。

## CsvData

```
{
  "data": "..."}

```

## CsvData (Type: CsvData)

属性	データ型	説明
data	string	CSV データが格納されます。

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
400	Bad Request	リクエストボディ形式不正
401	Unauthorized	ログイン権限がない
403	Forbidden	実行権限がない
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

```
[Request Header]
POST /Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/getNodesGraphDataCSV/invoke HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
```

```
Accept: application/json
Content-Type: application/json
Accept-Language: ja
Content-Length: 296
```

[Request Body]

```
{
  "name" : "getNodesGraphDataCSV",
  "href" : "http://localhost:22015/Analytics/v1/services/PerfComponents/actions/
getNodesGraphDataCSV/invoke",
  "method" : "POST",
  "type" : "application/json",
  "parameters" : [{
    "basePointNodes" : [{
      "nodeID" : 1,
      "nodeType" : "VIRTUAL_MACHINE"
    }],
    "selectedNodes" : [{
      "nodeID" : 1,
      "nodeType" : "VIRTUAL_MACHINE"
    }],
    "baseTime" : "2016-11-28T16:03:02.592+09:00"
  } ]
}
```

[Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 27 Nov 2015 09:22:28 GMT
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 284045794595c1ed7a98d2184419b8656e48a15_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

[Response Body]

```
{
  "instanceID" : "0052a2e2-713c-4cfb-892c-e9aaefb32b50",
  "created" : "2016-11-22T11:53:42.188+09:00",
  "updated" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "completed" : "2016-11-22T11:53:42.354+09:00",
  "state" : "success",
  "affectedResource" : [ ],
  "result" : [ {
    "data" : ""#JP1/Operations Analytics", "111000", "UTF-8 (BOM)"¥n"¥n#Latest Performance
Information"¥n..."
  } ]
}
```

---

## 関連項目

- 1.3 リソースのメンバー
  - 1.6 列挙型一覧
-

## 2.18 情報管理に関する API 一覧

JP1/OA および API のバージョン情報を取得するための操作を説明します。

### 2.18.1 バージョン情報の取得

JP1/OA と API のバージョンを取得します。

#### 権限

Admin, Modify

#### API のバージョン

v1

#### リクエスト形式

```
GET http[s]://host:port/Analytics/version/configuration/version
```

#### リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

#### レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Version

```
{
  "productName": "...",
  "productVersion": "...",
  "apiVersion": "...
}
```

Version (Type: Version)

属性	データ型	説明
productName	string	製品名
productVersion	string	製品のバージョン情報
apiVersion	string	API のバージョン情報

## ステータスコード

HTTP ステータスコード	Reason phrase	説明
200	OK	正常終了
412	Precondition Failed	サーバーが起動していない
500	Internal Server Error	サーバーサイドエラー

## 使用例

### [Request Header]

```
GET /Analytics/v1/configuration/version HTTP/1.1
Authorization: Basic c3lzdGVtOm1hbmFnZXI=
User-Agent: curl/7.33.0
Host: localhost:22015
Accept: application/json
Accept-Language: ja
```

### [Response Header]

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Mon, 30 Nov 2015 09:11:45 GMT
289
Server: Cosminexus HTTP Server
Cache-Control: no-cache
WWW-Authenticate: HSS0 184593e47ca3e5ff4e150cc8dc32f4f756218e_WVlGcHsLfg5ffg0I_V0810
X-Frame-Options: SAMEORIGIN
Transfer-Encoding: chunked
Content-Type: application/json
```

### [Response Body]

```
{
  "productName" : "JP1/Operations Analytics",
  "productVersion" : "11.00.01",
  "apiVersion" : "01.00.00"
}
```

---

## 関連項目

- [1.3 リソースのメンバー](#)
  - [1.6 列挙型一覧](#)
-

# 付録

### 付録 A.1 11-50 の変更内容

- 探索範囲 (IPAddrRange リソース) のメンバーに deviceClassificationLabel を追加した。
- コレクター (Collectors リソース) のメンバーに productName, providerName および refreshDateForApp を追加した。
- ホスト (Hosts リソース) のメンバーに deviceClassificationLabel を追加した。
- アプリケーション (Applications リソース) のメンバーについて、次のとおり追加または削除した。
  - applicationDetailType および applicationHosts を追加した。
  - resourceID および resourceType を削除した。
- アプリケーションのリソース情報 (ApplicationHost リソース) のメンバーについての説明を追加した。
- 列挙型一覧に CUSTOM および APPLICATION\_CUSTOM を追加した。
- 次に示す API の IPAddrRange (Type: IPAddrRange) オブジェクトに deviceClassificationLabel 属性を追加した。
  - 探索範囲の一覧の取得
  - 探索範囲の情報取得
  - 探索範囲の作成
  - 探索範囲の更新
- 次に示す API のステータスコード 400 についての説明を変更した。
  - コレクターの作成
  - コレクターの更新
- 次に示す API にステータスコード 400 を追加した。
  - コレクターの削除
- 次に示す API の Application (Type: Application) オブジェクトに applicationDetailType 属性を追加した。
  - アプリケーションの一覧の取得
- 次に示す API の Host (Type: Host) オブジェクトに deviceClassificationLabel 属性を追加した。
  - ホストの一覧の取得

# 索引

## A

- API の概要 14
- API による JP1/OA の操作 65
- API の記述形式 64
- API の共通仕様 15

## E

- [E2E ビュー] 画面に関する API 一覧 353

## F

- FC スイッチに関する API 一覧 316

## I

- IP スイッチに関する API 一覧 303

## あ

- アプリケーションに関する API 一覧 256

## い

- イベント情報に関する API 一覧 346

## か

- 仮想マシンに関する API 一覧 262
- 管理対象探索に関する API 一覧 104

## こ

- コレクターに関する API 一覧 131
- コンシューマーに関する API 一覧 217

## し

- システムプロファイルに関する API 一覧 187
- 情報管理に関する API 一覧 373

## す

- ストレージシステムに関する API 一覧 329

## せ

- 性能情報に関する API 一覧 360

## に

- 認証情報に関する API 一覧 80

## は

- ハイパーバイザーに関する API 一覧 276

## ほ

- ホストに関する API 一覧 290
- ボリュームに関する API 一覧 342

## ゆ

- ユーザープロファイルに関する API 一覧 156

## り

- リソースのメンバー 28

---

 株式会社 日立製作所

〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

---